HTX-D2000/HTX-D4000

取扱説明書

HYTEC INTER Co., Ltd.

第 4.2 版

管理番号:TEC-22MA0281-04.2

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、弊社（ハイテクインター株式会社）の所有するものであり、弊社の同意なしに、全体または一部を複写または転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

電波障害自主規制について

この装置は，クラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。　　ＶＣＣＩ－Ａ

改版履歴

第 1 版	2018 年 11 月 16 日	新規作成
第 1.1 版	2018 年 12 月 14 日	新機能追加
第 2 版	2019 年 08 月 09 日	新機能追加
第 3 版	2019 年 09 月 05 日	HTX-D2000 追加
第 3.1 版	2019 年 09 月 17 日	誤記修正
第 3.2 版	2021 年 01 月 08 日	V1.80 に対応　新機能追加、製品仕様の変更
第 3.3 版	2021 年 04 月 02 日	V1.88 に対応　新機能追加
第 4 版	2021 年 07 月 29 日	HTX-D4000 製品写真の変更
第 4.1 版	2022 年 07 月 20 日	RTSP Transport Mode 機能について追記
第 4.2 版	2023 年 04 月 03 日	LED　RUN/ACT について変更

ご使用上の注意事項

- 本製品及び付属品をご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品及び付属品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本製品及び付属品を直射日光の当たる場所や、温度の高い場所で使用しないでください。本体内部の温度が上がり、故障や火災の原因になることがあります。
- 本製品及び付属品を暖房器具などのそばに置かないでください。ケーブルの被覆が溶けて感電や故障、火災の原因になることがあります。
- 本製品及び付属品をほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気のあたる場所で使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。
- 本製品及び付属品を重ねて使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。
- 通気口をふさがないでください。本体内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 通気口の隙間などから液体、金属などの異物を入れないでください。感電や故障の原因になることがあります。
- 付属のACアダプタは本製品専用となります。他の機器には接続しないでください。
  また、付属品以外のACアダプタを本製品に接続しないでください。
- 本製品及び付属品の故障、誤動作、不具合、あるいは天災、停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品及び付属品は、改良のため予告なしに仕様が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。

目次

1. 製品概要 7

2. 梱包物一覧 7

3. 製品外観 8

3.1. 前面 8
3.2. 背面 9

4. インストレーション 10

5. WebGUI による設定 11

5.1. 設定画面へのログイン 11
5.2. 基本設定 13
5.2.1. IP アドレスの変更 13
5.2.2. 出力インタフェースの設定 14
5.2.3. URL Settings 15
5.2.4. Playlist Settings 17
5.2.5. Windows Access Settings 20
5.2.6. ストリームのデコード 22
5.2.7. ポート開放の設定 24
5.3. Audio/Video Out 25
5.3.1. Video Output Settings 26
5.3.2. Audio Output Settings（HTX-D4000） 29
5.3.3. Audio Output Settings（HTX-D2000） 29
5.3.4. OSD Settings 30
5.3.5. Window Component Settings 31
5.4. Streaming Access 32
5.4.1. Basic Settings 33
5.4.2. URL Settings 33
5.4.3. Playlist Settings 34
5.4.4. Window Access Settings 35
5.4.5. Advanced Settings 36
5.5. Screenshot 37

5.5.1. Screenshot Setting 38
5.5.2. Screen Loop Settings 39
5.5.3. Enabled Screen Settings 40
5.6. Network 41
5.6.1. LAN Port Settings 42
5.6.2. USB Port Settings 42
5.6.3. DNS Settings 42
5.6.4. NTP Settings 43
5.7. Advanced 44
5.7.1. General Settings 45
5.7.2. User Management 45
5.7.3. Serial Port Settings 46
5.7.4. Trans Serial Settings 46
5.7.5. Daily Scheduler Settings 47
5.8. About 48
5.8.1. System Information 49
5.8.2. System Upgrade 49
5.8.3. Settings Backup 50
5.9. Logout 51

6. Local 設定 52

6.1. Live View 52
6.1.1. Live View メニュー 53
6.1.2. Login 54
6.1.3. Maintain 55
6.1.4. Playback 57
6.1.5. Exit 60

7. Main メニュー設定 61

7.1. Video Out 61
7.1.1. Video Output Settings 62
7.1.2. Video Image Settings 63
7.1.3. OSD Settings 64
7.1.4. Window Display Settings 65
7.2. Streaming 66
7.2.1. Window URL 67
7.2.2. Added stream URL 69
7.2.3. Added playlist 72

7.3. Screenshot 75
7.3.1. Enabled screen 76
7.3.2. Screen shot settings 77
7.3.3. Added Screen loop 80
7.4. Network 83
7.4.1. Basic 84
7.4.2. NTP 85
7.5. System 86
7.5.1. Common Settings 87
7.5.2. Serial Port Settings 88
7.5.3. User Manage 89
7.5.4. Daily Scheduler 91
7.5.5. Audio Output Settings 92
7.5.6. Reset Default 93
7.6. About 94
7.6.1. System Information 95
7.6.2. System Upgrade 95
7.6.3. System Backup 95
8. Log 設定 96
8.1. ログの取得方法 96
8.2. Log の表記 97
9. 製品仕様 99
10. 困ったときには 101
11. 製品保証 102

1. 製品概要

HTX-D2000/HTX-D4000 は、H.265/H.264/MPEG2 の動画圧縮規格に対応した HDMI/CVBS ビデオデコーダです。

2. 梱包物一覧

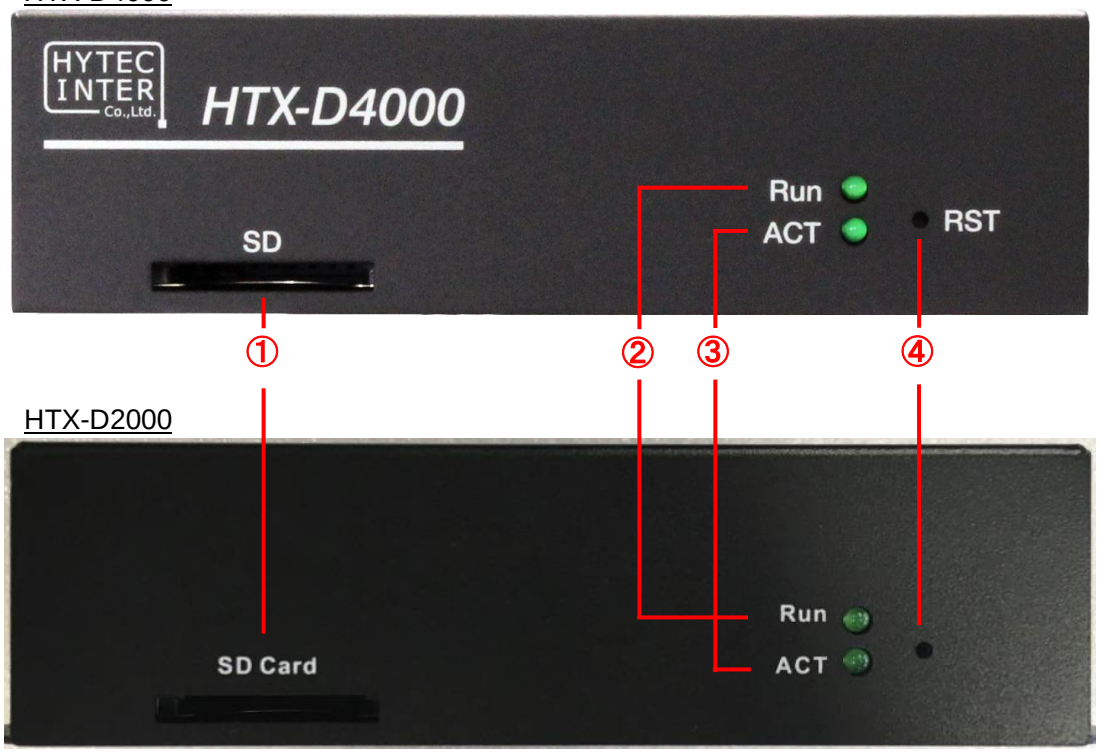
ご使用いただく前に本体と付属品を確認してください。万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

名　称	数 量
本体	1 台
AC アダプタ	1 個
ゴム足	4 個

3. 製品外観

3.1. 前面

HTX-D4000



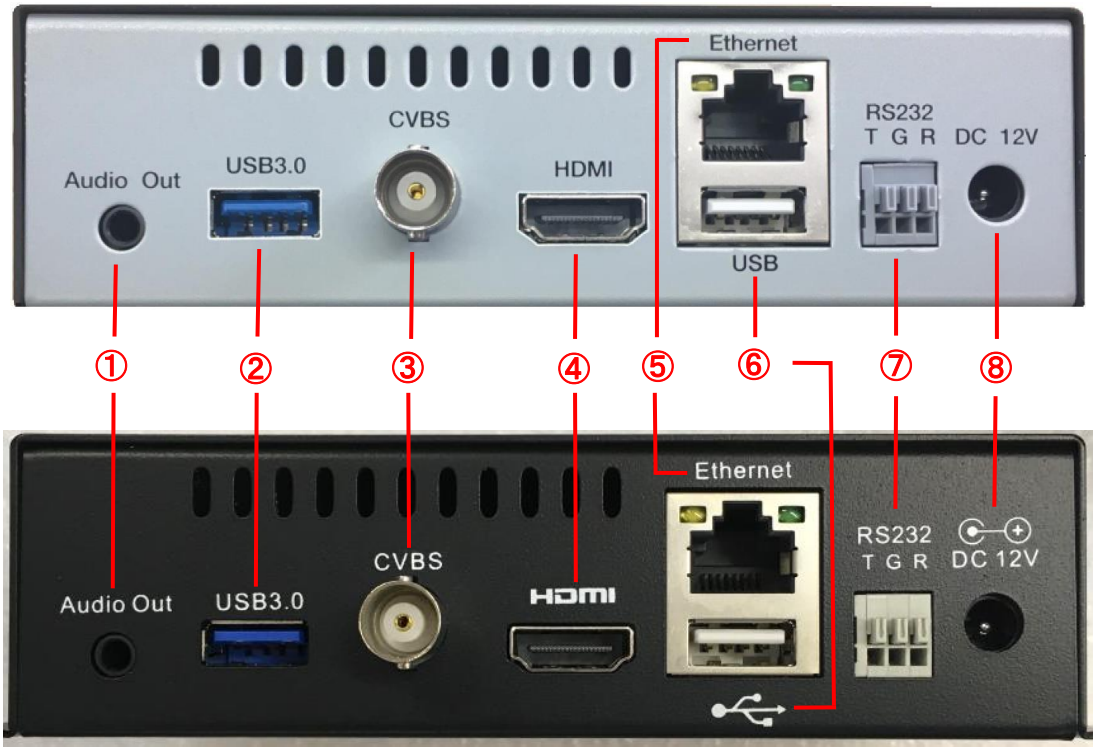
#	表示	説明
①	SD	メモリカードをスロットに挿入します。(ファイル再生用)
②	LED	電源の ON/OFF、映像ストリームを正しく受信しているかを示します。
③		
④	RST	デフォルト設定を復元します。 リセットボタンを 5 秒以上押し続けます。

LED の状態

#	名称	状態	説明
②	Run	消灯	電源が入っていません。
		緑点灯	起動中です。
		緑点滅	システムが正常に稼働しています。
③	ACT	消灯	電源が入っていません。
		緑点灯	電源が入っています。

3.2. 背面

HTX-D4000

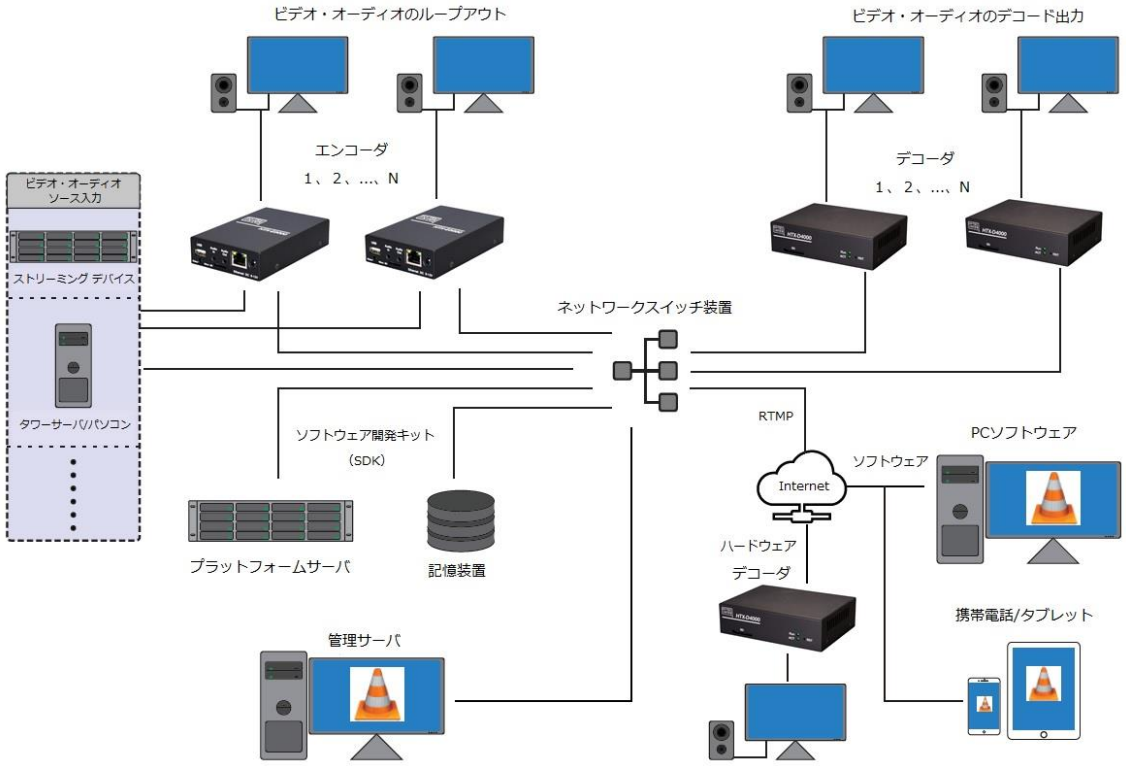


HTX-D2000

#	表示	説明
①	Audio Out	φ3.5mm ステレオミニジャックの LINE 出力ポートです。
②	USB3.0	マウスやキーボード、ハブなどの USB デバイスを接続します。
③	CVBS	アナログ(コンポジット)信号を出力します。
④	HDMI	HDMI 信号を出力します。
⑤	Ethernet	本機をネットワークに接続します。(10Mbps/100Mbps)
⑥	USB	マウスやキーボード、ハブなどの USB デバイスを接続します。
⑦	RS232 TGR	RS232 のポートです。
⑧	DC 12V	DC12V を入力します。(付属 AC アダプタを使用してください)

4. インストレーション

以下に接続例を示します。



5. WebGUI による設定

5.1. 設定画面へのログイン

WEB ブラウザを使用して、HTX-D2000/D4000 の設定を行います。

- 推奨ブラウザ

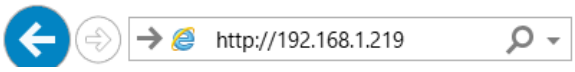
Google Chrome、Microsoft Edge、Internet Explorer

- ログイン初期設定

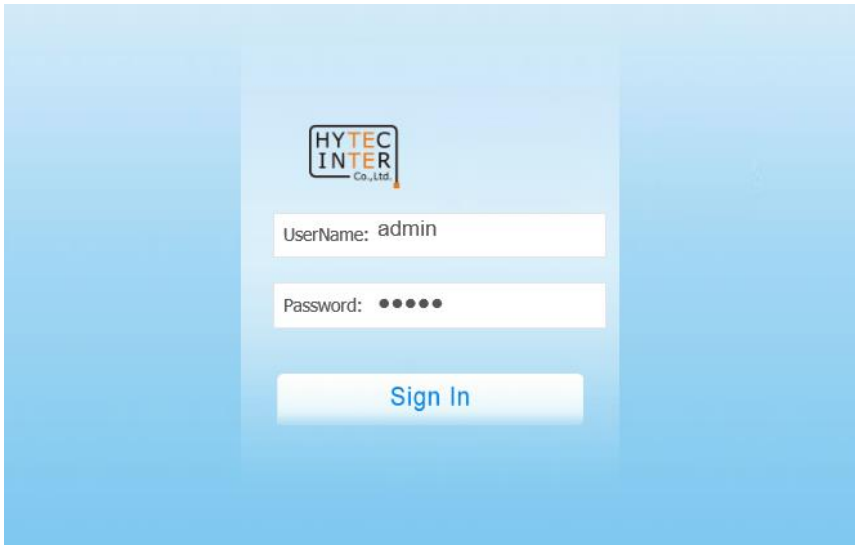
IP アドレス　　：192.168.80.219/24
ユーザ名　　：admin
パスワード　　：admin

- ログイン手順

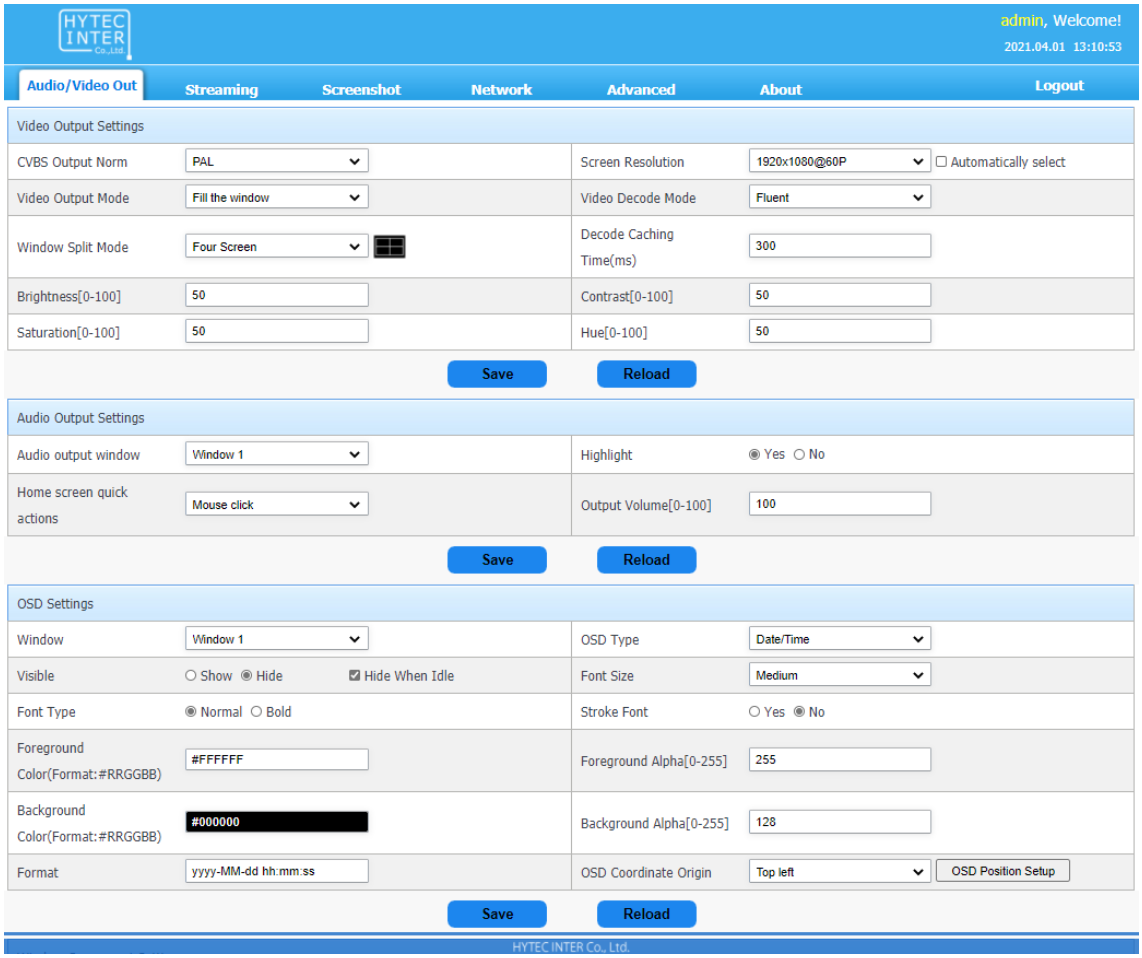
1) ブラウザのアドレスバーに”192.168.80.219”を入力して接続します。



2) ユーザ名とパスワードを入力して、”Sign In”をクリックします。



3)　ログインに成功すると、下図のような設定画面が表示されます。

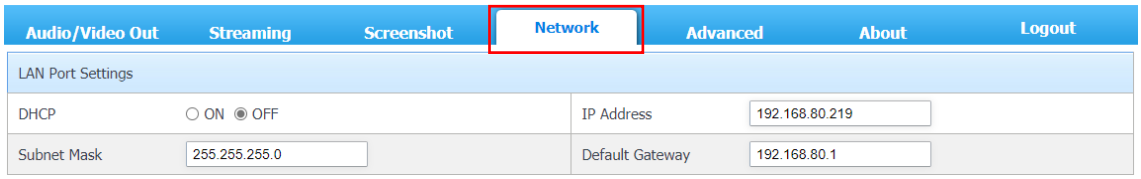


5.2.　基本設定

5.2.1.　IP アドレスの変更

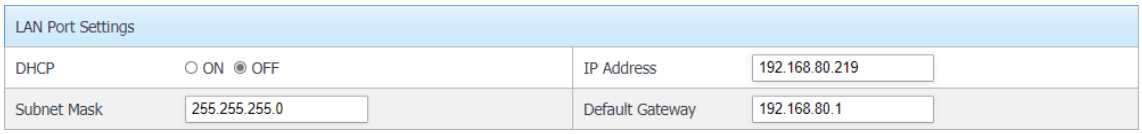
IP アドレスの変更方法を記載します。

1)　Network　タブを開きます。

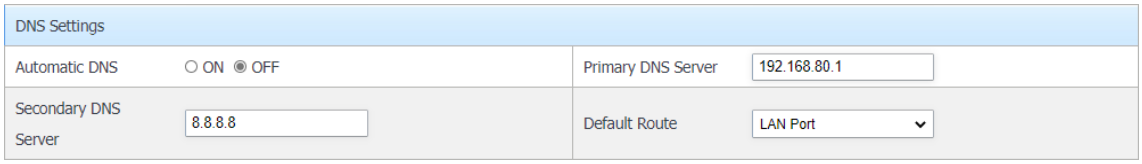


2)　LAN Port Setting の DHCP を OFF に設定します。 ※初期設定は OFF

IP Address、Subnet Mask、Default Gateway を変更します。



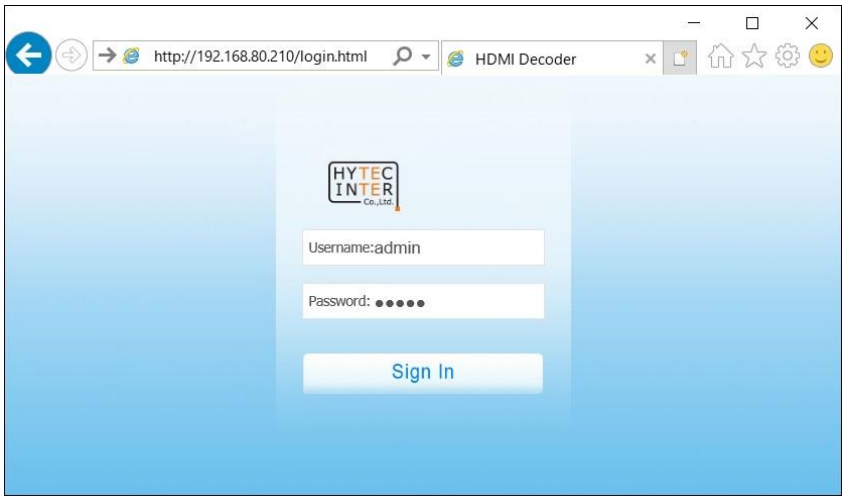
3)　DNS Settings の Automatic DNS を OFF に設定し、各値を設定します。 ※初期設定は OFF



4)　画面下にある

をクリックし、設定を反映させます。

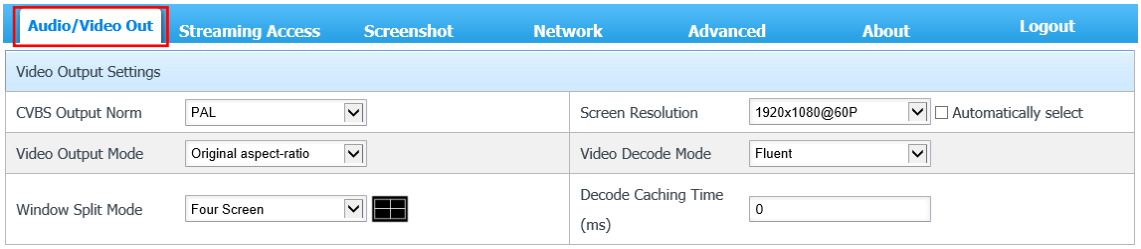
5)　ブラウザのアドレスバーに新しい IP アドレスを入力し、ログイン画面へ移動します。



5.2.2.　出力インタフェースの設定

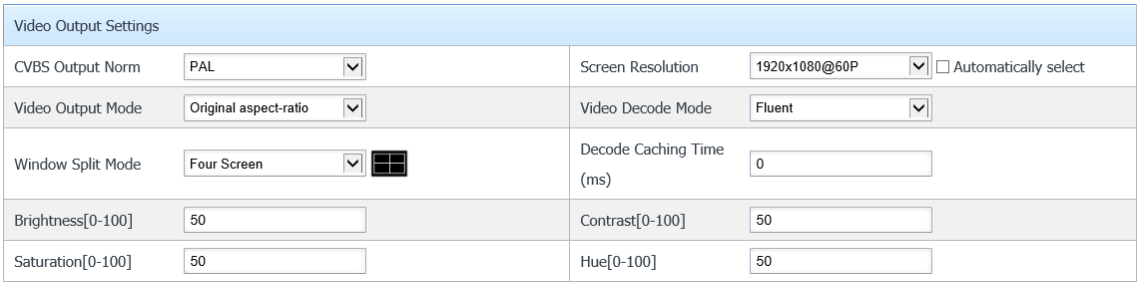
Video と Audio 出力

1)　Audio/Video Out タブをクリックします。



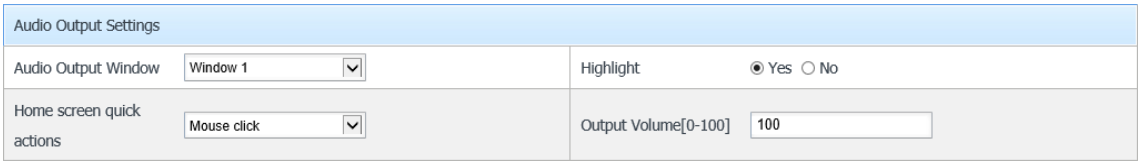
※HTX-D2000 には分割表示機能が無いため、Window Split Mode の項目はありません

2)　Video Output Setting より、CVBS Output Norm で Composite の出力形式を選択、Screen Resolution で HDMI の出力解像度を設定します。
また、出力する映像の表示形式や色合いの設定も行います。



3)　一度 Save をクリックし、設定を反映させます。

4)　Audio Output Settings より、オーディオ出力を行うウィンドウを選択します。



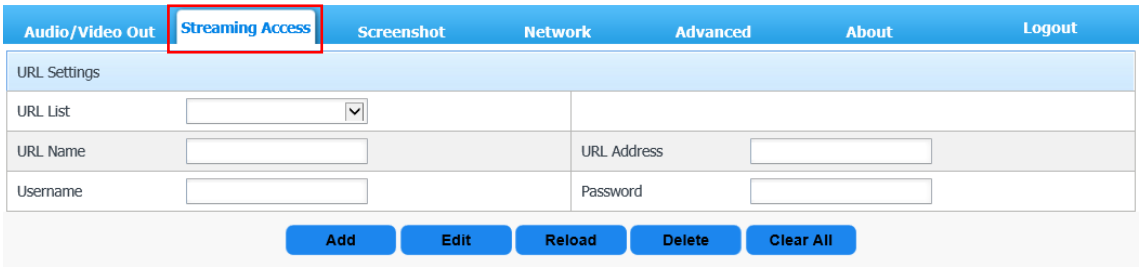
※HTX-D2000 には Audio Output Windows、Highlight の項目はありません。

5)　Save クリックし、設定を反映させます。

5.2.3.　URL Settings

ストリーム URL の追加、変更、削除の方法を記載します。

1)　Streaming Access タブをクリックします。

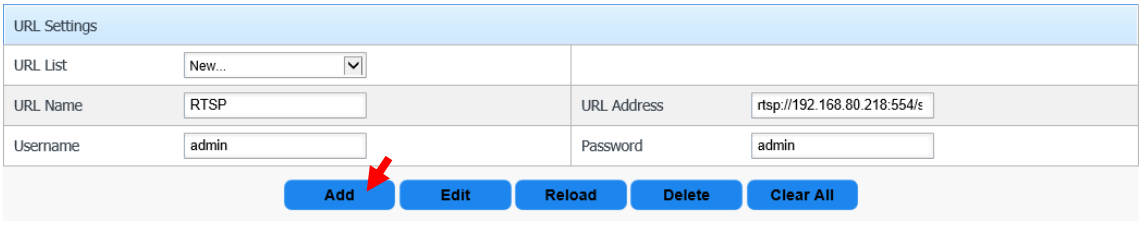


※HTX-D2000 のストリーム登録数は1つのみのため、URL List の項目はありません

2)　URL の追加を行います。

URL List から「New...」を選択します。

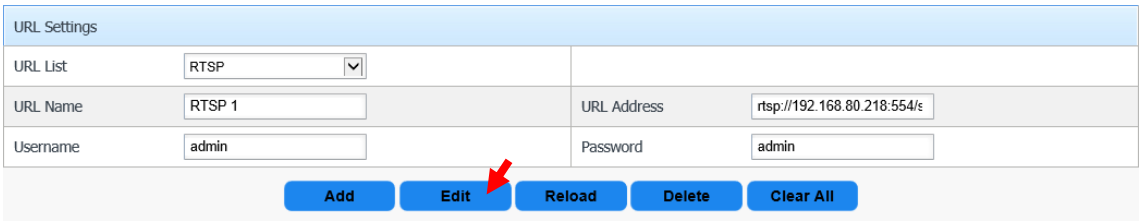
URL Name、URL Address、Username、Password を入力し、Add をクリックします。



※ソース側の認証設定が OFF の場合、Username、Password は空白のままでも構いません

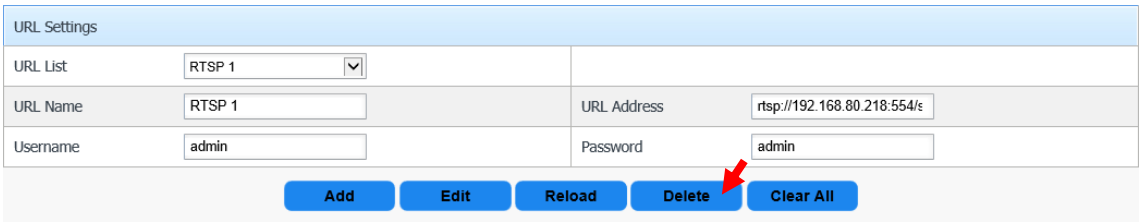
3)　URL の変更を行います。

URL List から URL を選択し、URL Name などの変更を行い Edit をクリックします。

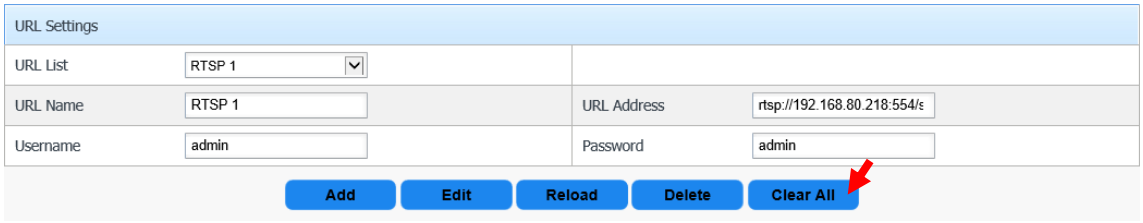


4)　URL の削除を行います。

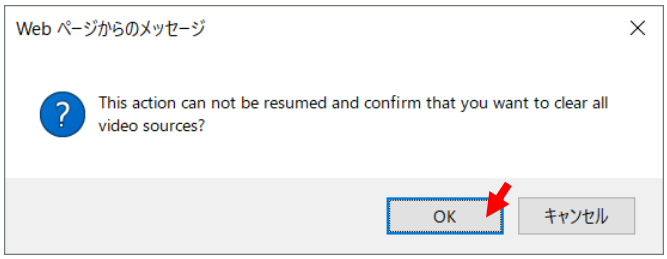
URL List から削除する URL を選択し、Delete をクリックします。



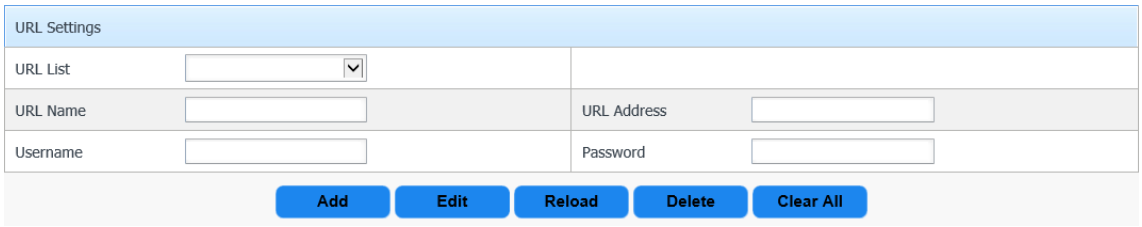
5)　Clear All をクリックし、すべての URL を削除します。



削除確認のメッセージが表示されるので、OK をクリックします。



すべて削除されます。



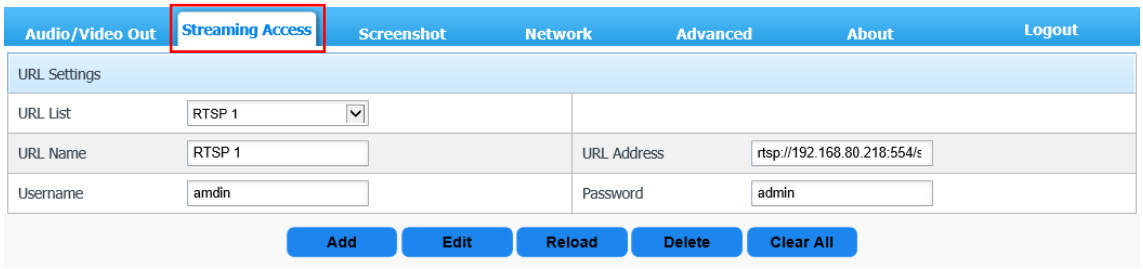
5.2.4.　Playlist Settings

プレイリストの追加、変更、削除の方法を記載します。

※HTX-D2000 には本機能はありません

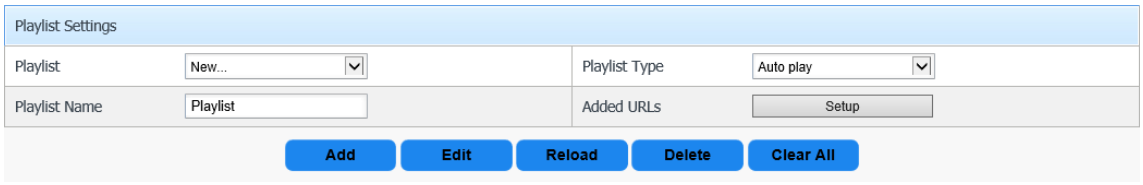
- プレイリストの作成　：　Add Playlist

1)　Streaming Access タブをクリックします。



2)　Playlist から「New...」を選択します。

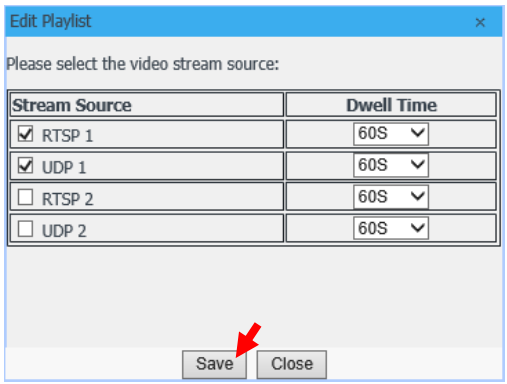
Playlist Type を選択し、Playlist Name を入力します。



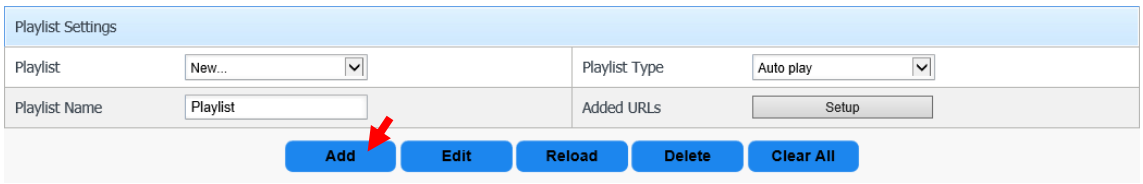
3)　Add URLs の Setup をクリックし、Stream Source（URL Settings で作成）を選択します。

複数選択した場合は、ローテーションして再生するため、それぞれの再生時間を設定します。

Save　をクリックするとプレイリストが作成されます。

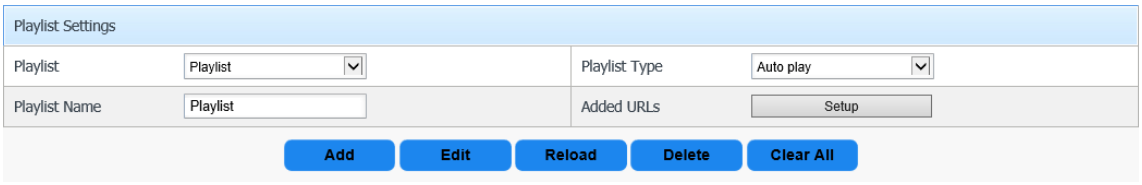


4)　Add　をクリックし、プレイリスストを追加します。

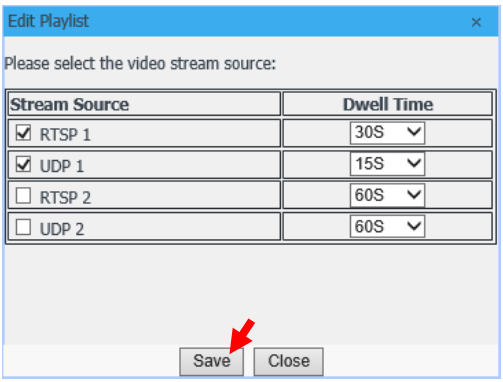


- プレイリストの変更　：　Edit Playlist

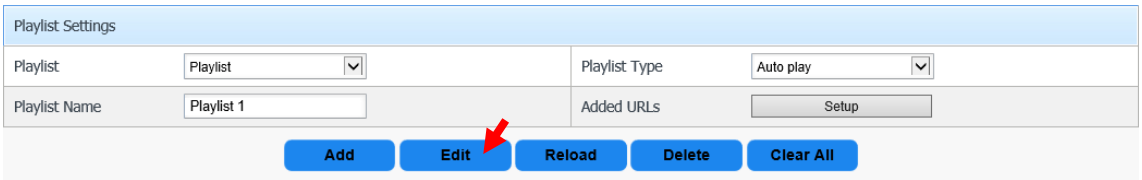
1）　Playlist から変更を行うプレイリストを選択し、Playlist Name などの変更を行います。



2）　Added URLs の Setup をクリックし、Stream Source や Duration を変更し、Save します。

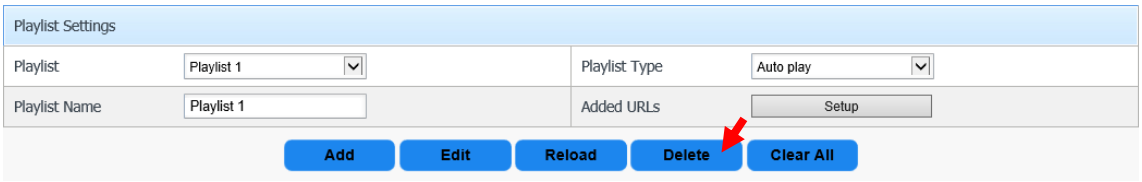


3）　変更内容の入力後、Edit をクリックします。

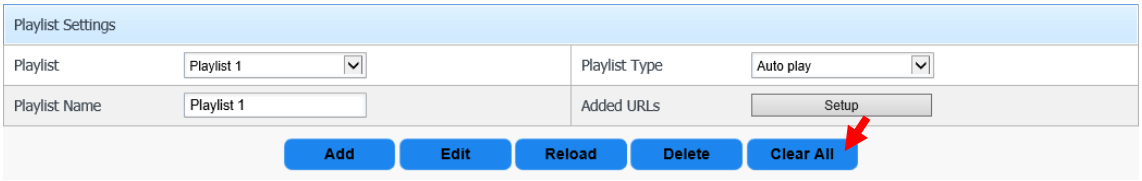


- プレイリストの削除 ： Delete / Clear All

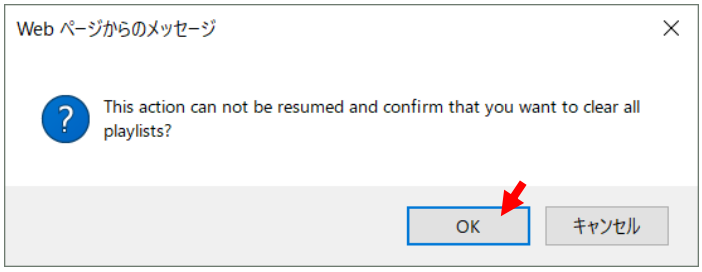
1) Playlist から削除するプレイリストを選択し、Delete をクリックします。



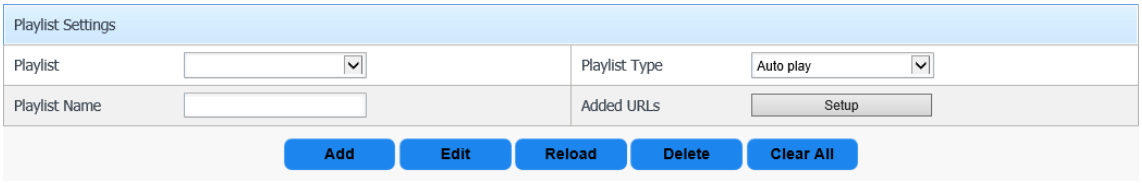
2) Clear All をクリックし、全てのプレイリストを削除します。



3) 削除確認メッセージが表示されるので、OK をクリックします。



4) すべて削除されます。

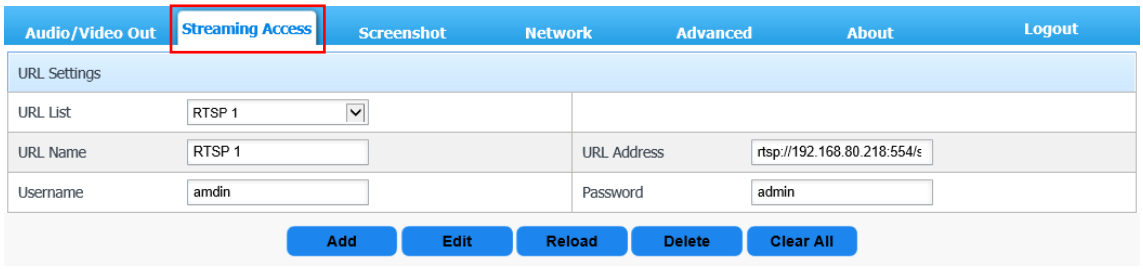


5.2.5.　Windows Access Settings

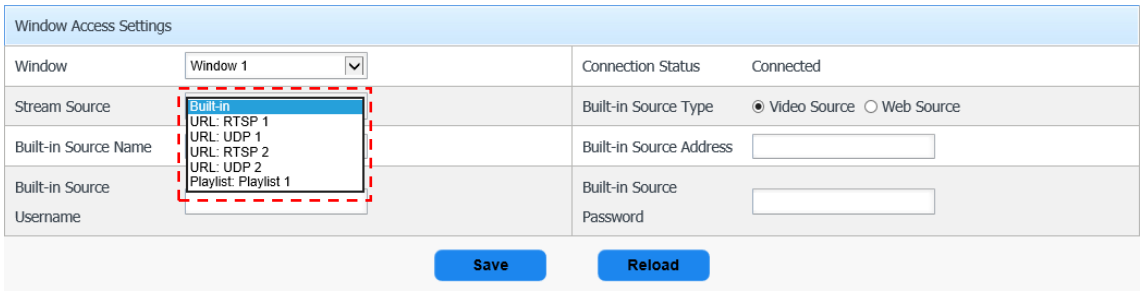
各 Window で再生するストリームの設定方法を記載します。

※HTX-D2000 には本機能はありません

1)　Streaming Access タブをクリックします。

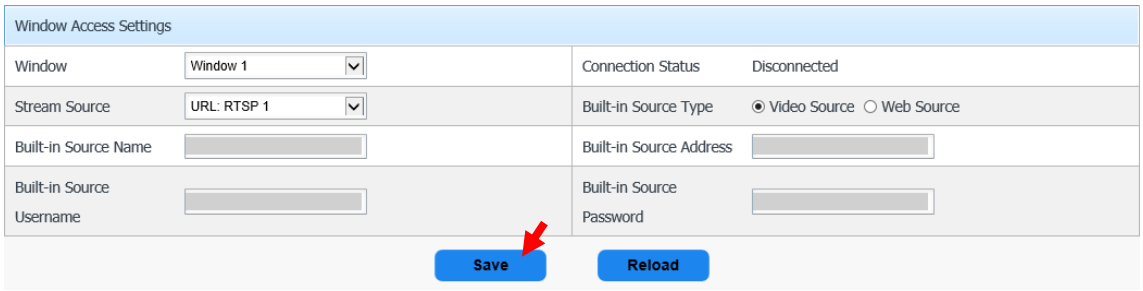


2)　Stream Source を、URL、Playlist、Built-in から選択します。



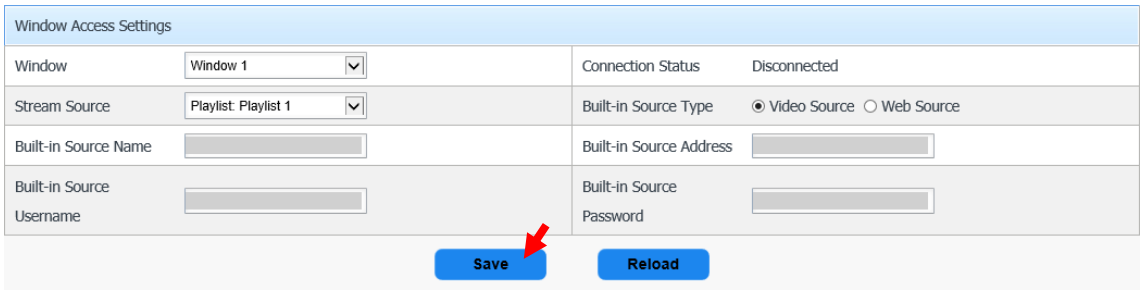
3)　URL を選択する場合、URL Settings で事前に登録したストリームから選択できます。

Source Type を選択し、Save をクリックすると再生します。

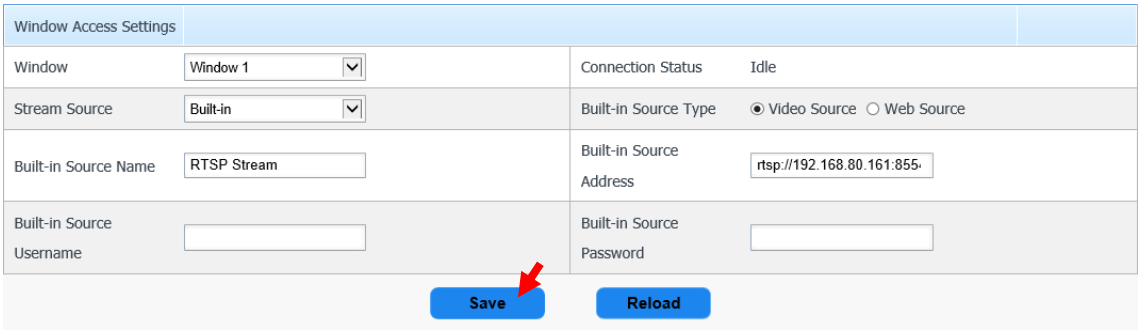


4)　Playlist を選択する場合、Playlist Settings で事前に登録したプレイリストから選択できます。

Source Type を選択し、Save をクリックすると再生します。



5)　Built-in を選択した場合、ストリーム URL の直接入力ができます。
Source Type を選択、Source Name、Source Address、Source Username、Source Password を入力します。 Save をクリックすると再生します。

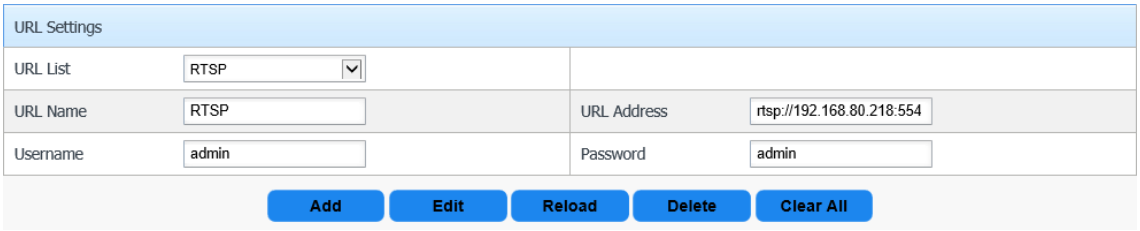


5.2.6.　ストリームのデコード

RTSP、UDP（ユニキャスト/マルチキャスト）、HLS、SRT（Caller/Listen）ストリーミングのデコード例を記載します。

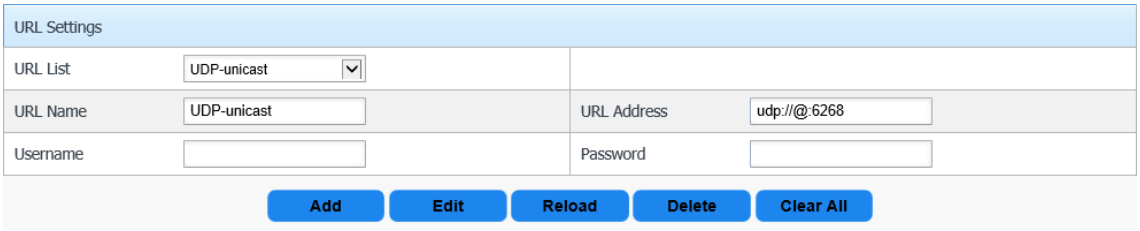
- RTSP

URL Address 入力例：rtsp://192.168.80.218:554/stream0



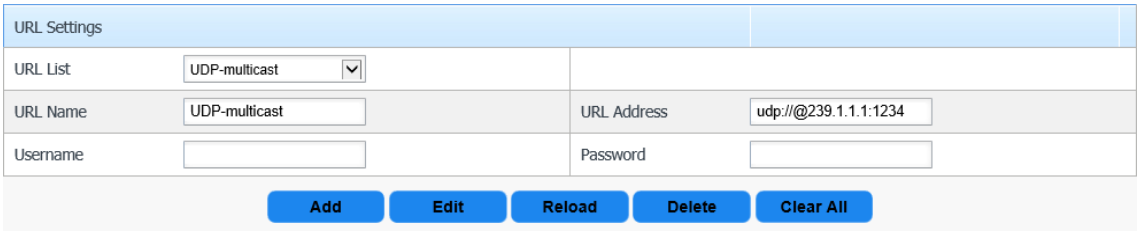
- UDP（ユニキャスト）

URL Address 入力例：udp://@:6268



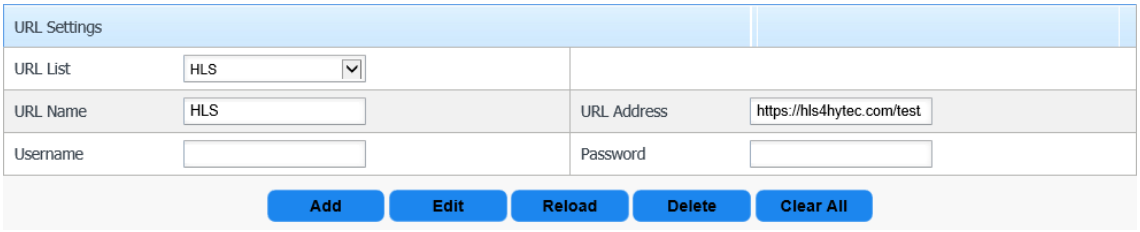
- UDP（マルチキャスト）

URL Address 入力例：udp://@239.1.1.1:1234



- HLS（HTTP Live Streaming）

URL Address 入力例：https://hls4hytec.com/test/sample/cam9/playlist.m3u8

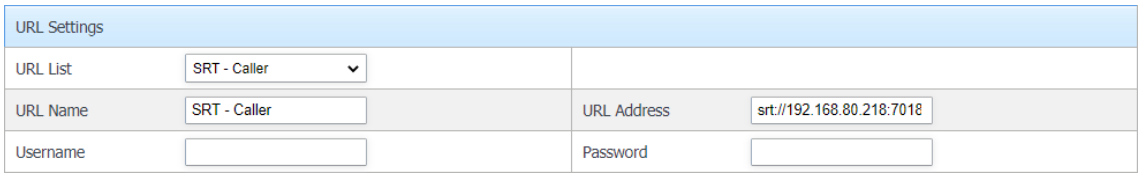


※　Audio/Video Out > Video Output Settings > Video Decode Mode で、Fluent を選択して下さい。

※　HLS 再生の対応ファームウェアバージョンは、V1.61 以降

➢ SRT（Caller の場合）

URL Address 入力例：srt://192.168.80.218:7018

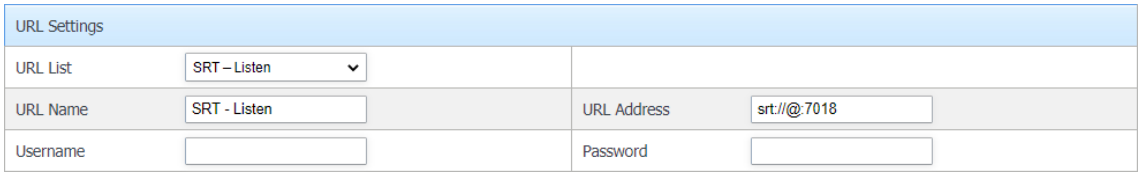


※ エンコーダは、Listen である必要があります。

※ SRT 再生の対応ファームウェアバージョンは、V1.87 以降

➢ SRT（Listen の場合）

URL Address 入力例：srt://@:7018



※ エンコーダは、Caller である必要があります。

※ SRT 再生の対応ファームウェアバージョンは、V1.87 以降

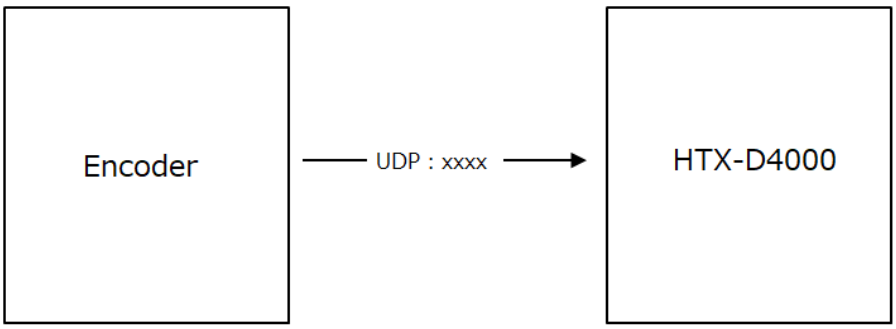
5.2.7. ポート開放の設定

WAN 経由で通信を行う場合は、ルータでポートフォワーディングの設定を行う必要があります。

- UDP (Encoder→HTX-D4000)

  ・UDP Port xxxx :Encoder ← HTX-D4000

  デコーダ側のルータで、指定した UDP ポートをポートフォワーディングします。

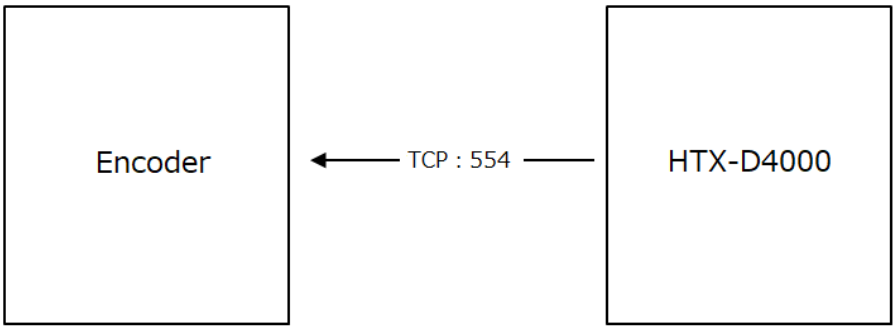


※ WAN 経由の場合、Media Protocol では UDP を選択して下さい。

- RTSP (Encoder→HTX-D4000)

  ・TCP Port 554 :Encoder ← HTX-D4000

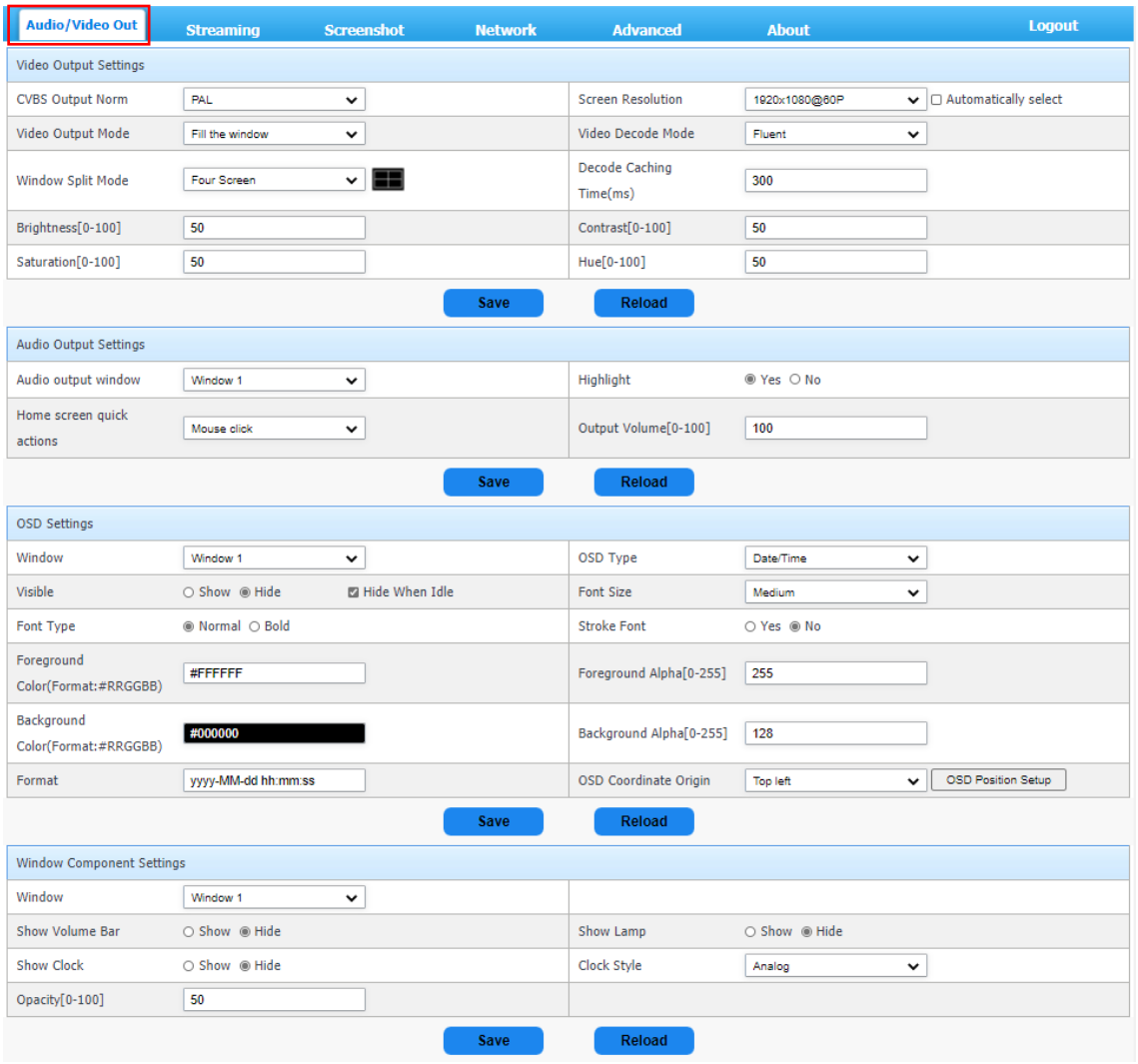
  エンコーダ側のルータで、TCP:554 をポートフォワーディングします。



※ WAN 経由の場合、Media Protocol では TCP を選択して下さい。

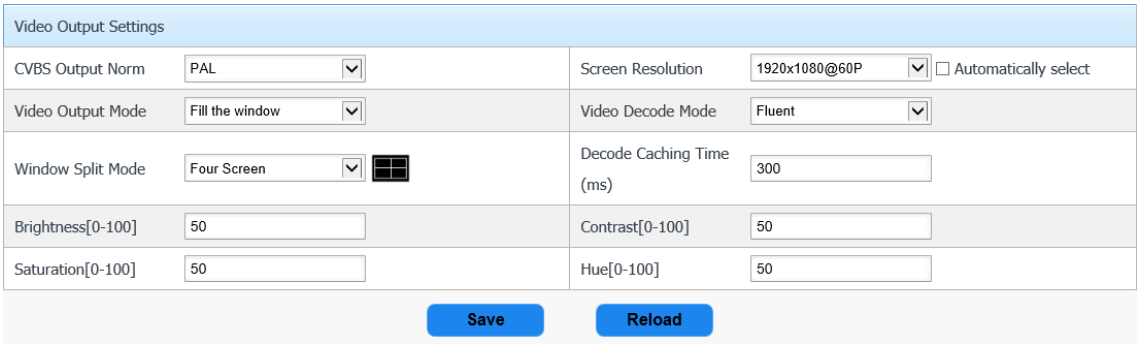
5.3. Audio/Video Out

”Audio/Video Out”タブをクリックします。



5.3.1. Video Output Settings

解像度や画面の色合いなど、映像の出力設定を行います。



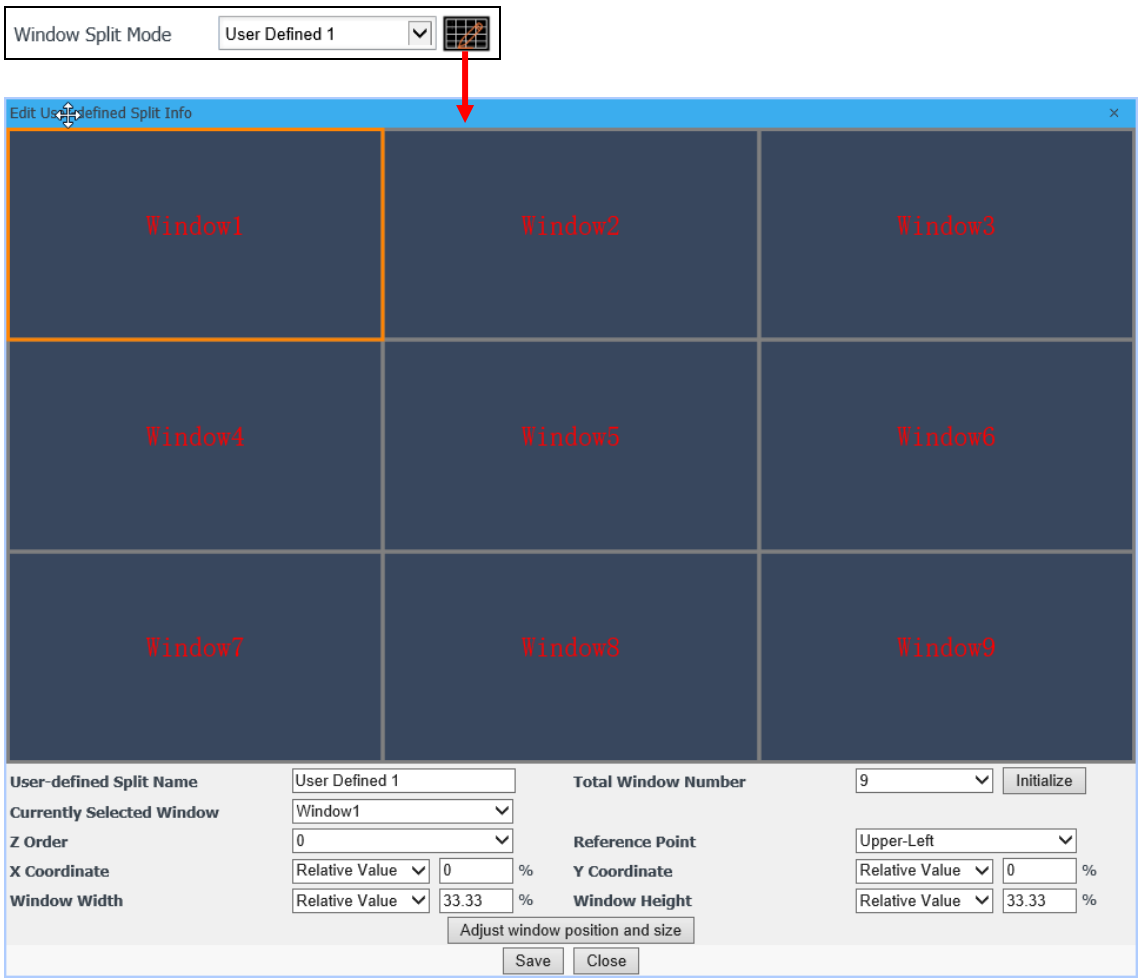
表示	説明
CVBS Output Norm	PAL または NTSC を選択します。(変更すると再起動を行います。)
Screen Resolution	HDMI 出力の解像度を設定します。(変更すると再起動を行います。) Automatically select にチェックを入れると、ディスプレイの EDID を読み取り、最適な解像度を選択します。
Video Output Mode	Fill the window(フルウィンドウ)または Original aspect-ratio(アスペクト比の維持)から、映像出力モードを選択します。
Video Decode Mode	デコード再生モードを選択します。 Fluent:流暢再生モードです。このモードで長時間再生した場合、遅延が発生することがあります。 Live:低遅延ライブ再生モードです。 Live-Only-Decode-I/P-Frame:I/P フレームのみをデコードするため、Live モードより更に低遅延モードです。H.265 では、このモードは使えません。 ※低遅延モード(Live)を使用すると AV 同期を行えないため、音がずれる可能性があります。音声を使用する場合は、Fluent モードの使用を推奨します。
Window Split Mode	分割表示モードを以下から選択します。 [1-16 分割、Picture in Picture、User Defined1-4] User Defined の操作方法は次ページに記載しています。 ※HTX-D4000 のみ
Decode Caching Time(ms)	デコードするときにキャッシュをどれくらい入れるのか設定します。
Brightness	画面の明るさを調節します。数値が大きいほど明るくなります。
Contrast	明るいところと暗いところの差を調節します。数値が高いほど明暗の差は大きくなり、メリハリのあるくっきりとした映像になります。
Saturation	色の鮮やかさの度合いを調節します。数値が高いほど鮮やかな色になり、

	低いほどくすんだ色になります。
Hue	赤色や青色などの色合いを調節します。

User Defined

User Defind は、Window の表示位置を自由に設定することができます。最大で 4 つ設定できます。
※初期化（Factory Reset）を行った場合でも、この設定は保持されます。

User Defined 1-4 のどれかを選択、右横の をクリックし、設定画面（Edit User-defined Split Info）を開きます。

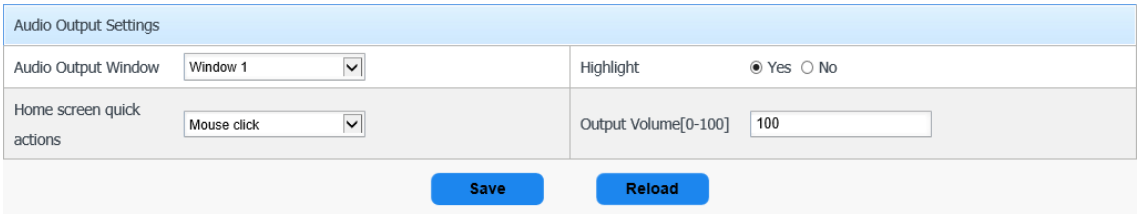


表示	説明
User-defined Split Name	User-defined の名前を変更することができます。
Total Window Number	ここに表示させる Window の数を選択します。[1-16] 選択後は Initialize をクリックし、上図に反映させます。
Currently Selected Window	以下の設定を行う Window を選択します。 選択中の Window はオレンジ色の枠で囲われています。

Z Order	未サポートのため、本機能はご使用になれません。
Reference Point	Window の基準点（X 軸,Y 軸が 0 であるときの開始位置）を決めます。 ➢Upper-Left ： X=0, Y=0 のとき、左上が開始位置となります。 ➢Upper-Right ： X=0, Y=0 のとき、右上が開始位置となります。 ➢Bottom-Left ： X=0, Y=0 のとき、左下が開始位置となります。 ➢Bottom-Right ： X=0, Y=0 のとき、右下が開始位置となります。 【設定例】 Upper-Left を選択した場合の Window の動き X は右方向[0→100]、Y は下方向[0↓100]に移動します。
X Coordinate	X 軸（横方向）の位置を指定します。 ➢Absolute Value ： 出力解像度を基準に指定します。FullHD の場合は[0-1920]の間で数値を指定します。 ➢Relative Value ： X 軸の端から端までを 100%と基準をおいた時、Window の位置がどのあたりかを比率で指定します。[0-100%]
Y Coordinate	Y 軸（縦方向）の位置を指定します。 ➢Absolute Value ： 出力解像度を基準に指定します。FullHD の場合は[0-1080]の間で数値を指定します。 ➢Relative Value ： Y 軸の端から端までを 100%と基準をおいた時、Window の位置がどのあたりかを比率で指定します。[0-100%]
Window Width	Window の横幅を指定します。 ➢Absolute Value ： 出力解像度を基準に指定します。FullHD の場合は[0-1080]の間で数値を指定します。 ➢Relative Value ： Winodow の横幅（最大）を 100%とした時、Window の横幅（設定値）がどれくらいなのか比率で指定します。[0-100%]
Window Height	Window の高さを指定します。 ➢Absolute Value ： 出力解像度を基準に指定します。FullHD の場合は[0-1920]の間で数値を指定します。 ➢Relative Value ： Winodow の高さ（最大）を 100%とした時、Window の高さ（設定値）がどれくらいなのか比率で指定します。[0-100%]
Adjust window position and size	Window の位置とサイズの設定が完了した場合、Winodow ごとにボタンを押す必要があります。
Save	Edit User-defined Split Info の設定を保存します。

5.3.2. Audio Output Settings(HTX-D4000)

HTX-D4000 のオーディオ出力の設定を行います。



表示	説明
Audio output window	オーディオ出力を行うウィンドウを選択します。
Highlight	Local の Live 画面で、オーディオ出力のウィンドウを緑色の枠で囲みます。
Home screen quick actions	Local の Live 画面でオーディオ出力する Window の選択方法を指定します。 Disable:Live 画面では変更不可となります。 Mouse click:オーディオ出力する Window をマウスでクリックします。 Double click:オーディオ出力する Window をマウスでダブルクリックします。 Key press:オーディオ出力する Window をキーボードの←→で選択し、Enter を押します。 All Above:全ての方法で Window を選択できます。
Output Volume	オーディオ出力の音量調節を行います。

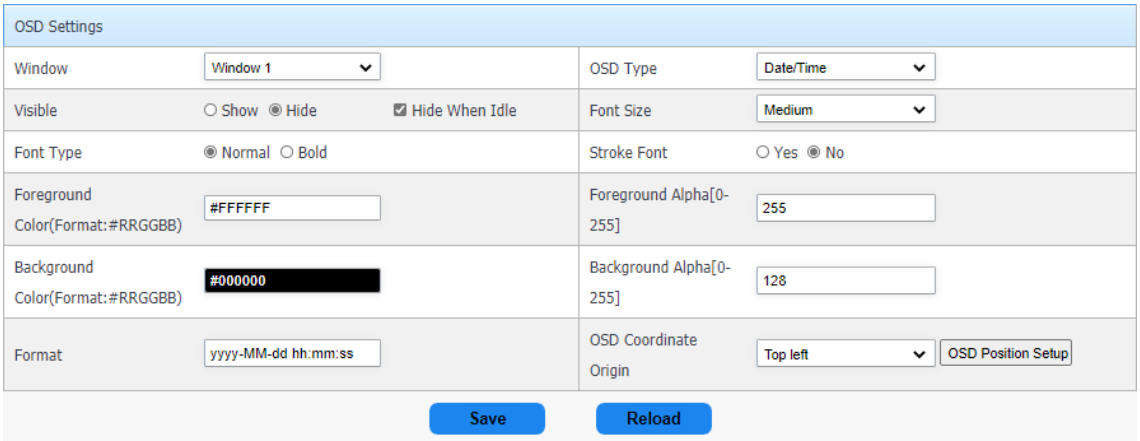
5.3.3. Audio Output Settings(HTX-D2000)

HTX-D2000 のオーディオ出力の設定を行います。

表示	説明
Enable Audio output	オーディオ出力の有効(Enable)または無効(Disable)を設定します。
Output Volume	オーディオ出力の音量調節を行います。

5.3.4. OSD Settings

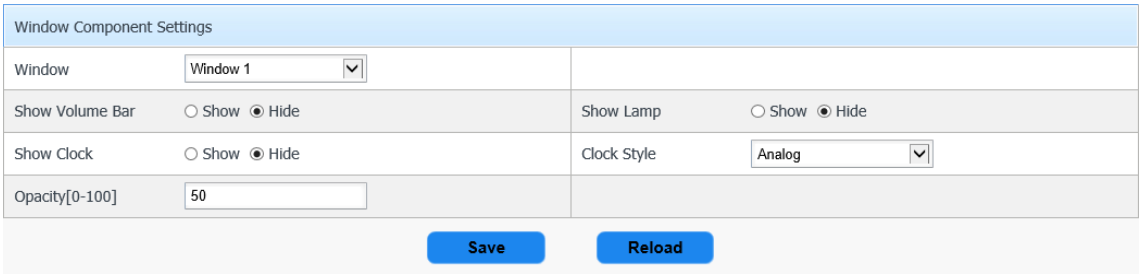
OSD（On Screen Display）の設定を行います。



表示	説明
Window	OSD の設定を行うウィンドウを選択します。 ※HTX-D4000 のみ
OSD Type	OSD のタイプを DateTime（日時）、Title（タイトル）、Text（テキスト）、Remark（リマーク）、URL Node（URL ノード）から選択します。
Visible	OSD の表示（Show）または非表示（Hide）を選択します。 Hide When Idle にチェックを入れると、Connection Status が Idle の時は OSD を表示させません。
Font Size	文字の大きさを設定します。
Font Type	文字のタイプを Normal（普通）または Bold（太字）から選択します。
Stroke Font	Yes を選択すると文字の縁取り、No を選択すると文字の背景になります。
Foreground Color	文字の色を設定します。
Foreground Alpha	文字の透明度を設定します。値が小さいほど、透明度が高くなります。
Background Color	文字のバックの色を設定します。
Background Alpha	バックの透明度を設定します。値が小さいほど、透明度が高くなります。
Format	OSD Type で DateTime を選択した場合、日時の表示形式を設定します。
Content	OSD Type で Title/Text/Remark を選択した場合、文字列を入力します。
Prefix	OSD Type で URL Node を選択した場合、Window Access Settings で選択した URL Name もしくは Built-in Source Name を表示します。 Prefix に文字列を入力すると、URL 名の前に文字列が表示されます。
OSD Coordinate Origin	Top left/Top right/Bottom left/Bottom right から表示位置を決めます。 OSD Position Setup をクリックし、OSD の表示場所を変更します。

5.3.5.　Window Component Settings

ウィンドウのディスプレイ設定を行います。

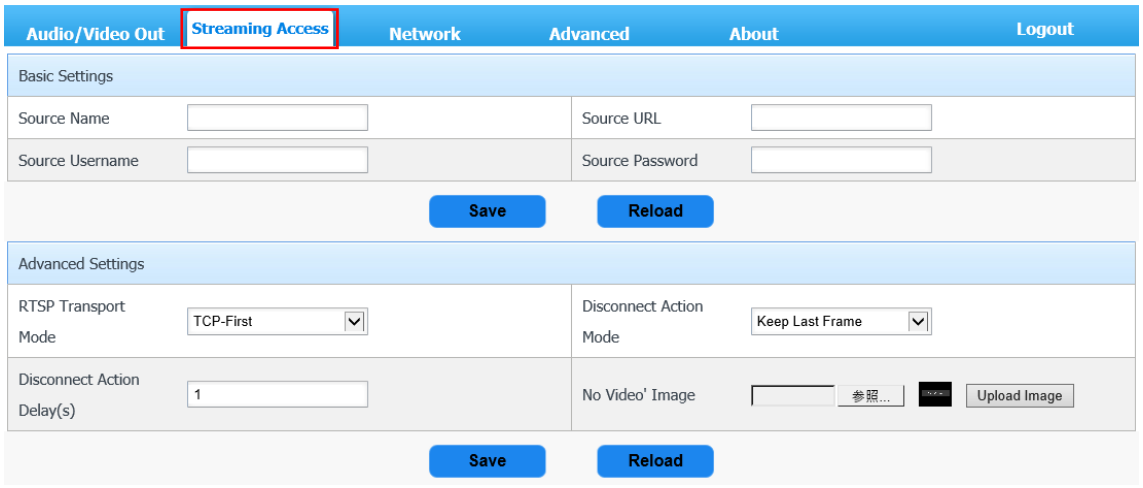


表示	説明
Window	ウィンドウを選択します。 ※HTX-D4000 のみ
Show Volume Bar	ボリュームバーの表示（Show）または非表示（Hide）を選択します。
Show Lamp	ステータスランプの表示（Show）または非表示（Hide）を選択します。
Show Clock	時計の表示（Show）または非表示（Hide）を選択します。
Clock Style	時計スタイルをアナログまたはデジタルから選択します。
Opacity	ボリュームバーとステータスランプの透明度を設定します。 数値が高いほど透明度が高くなります。

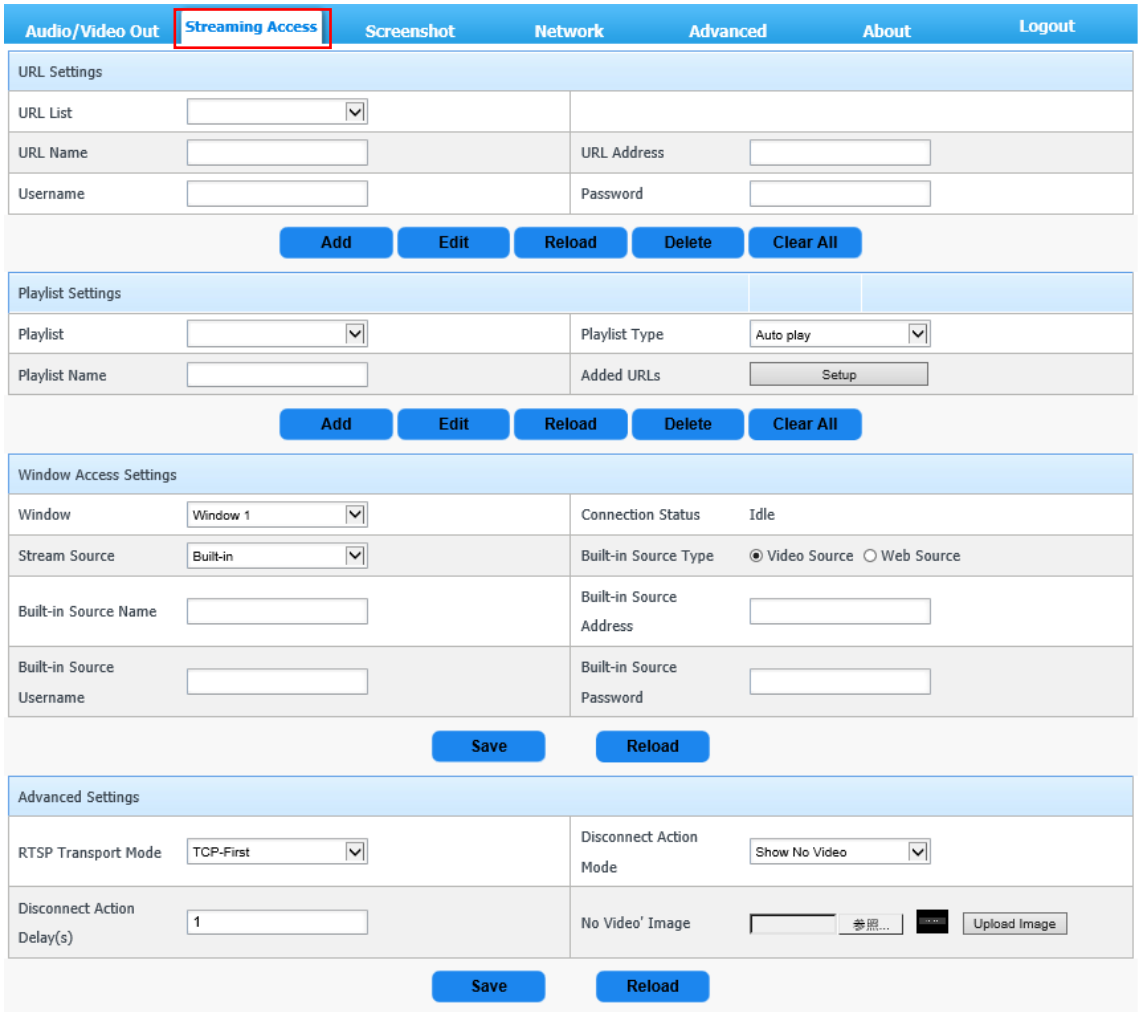
5.4. Streaming Access

”Streaming Access”タブをクリックします。

HTX-D2000



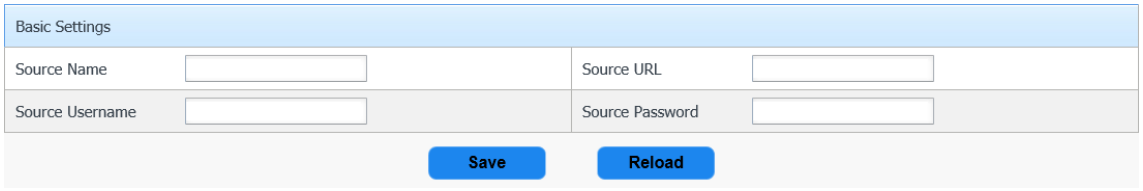
HTX-D4000



5.4.1. Basic Settings

再生するストリームの設定を行います。(HTX-D2000)

HTX-D2000 のストリーム登録数は1つのみとなります。

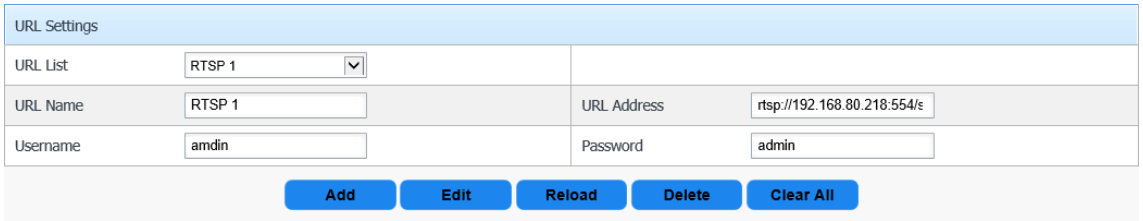


表示	説明
Source Name	ソース名を設定します。
Source URL	ソースアドレス(URL)を入力します。
Source Username	ユーザ名を設定します。(任意)
Source Password	パスワードを設定します。(任意)

5.4.2. URL Settings

URL の設定を行います。(HTX-D4000)

詳しい設定方法は、5.2.3. URL Settings をご参照ください。

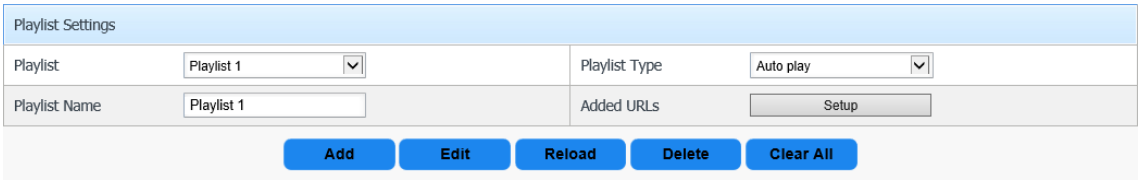


表示	説明
URL List	URL リストを表示します。
URL Name	URL の名前を設定します。
URL Address	URL のアドレスを入力します。
Username	ユーザ名を設定します。(任意)
Password	パスワードを設定します。(任意)
Add	URL 名やアドレスなどの入力後、Add をクリックし追加を行います。
Edit	URL 名やアドレスなどの変更後、Edit をクリックし変更を行います。
Reload	URL Settings を更新します。
Delete	URL List から削除する URL を選択し、Delete をクリックします。
Clear All	Clear All をクリックし、すべての URL を削除します。

5.4.3. Playlist Settings

プレイリストの設定を行います。

詳しい設定方法は、5.2.4. Playlist Settings をご参照ください。



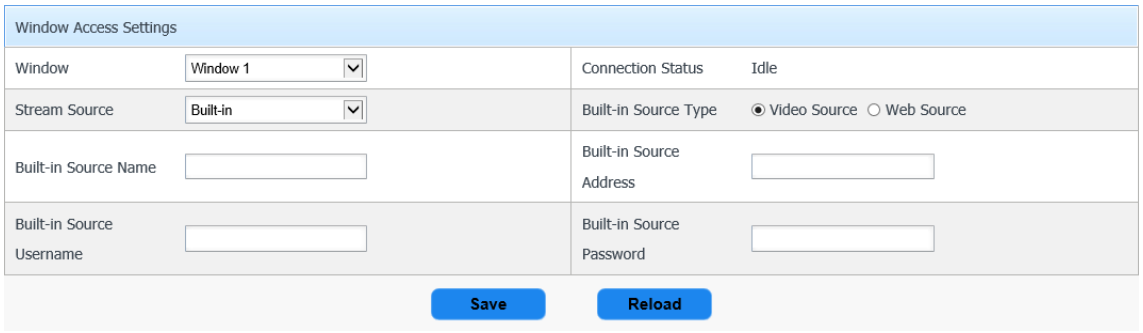
表示	説明
Playlist	追加したプレイリストを表示します。
Playlist Type	プレイリストの再生方法を選択します。 Auto Play：Added URLs の設定に従って自動再生します。 Manual switch：付属のリモコンにて、表示モードや各ウィンドウ内の映像を切り替えることができます。
Playlist Name	プレイリストの名前を設定します。
Added URLs	Setup ボタンをクリックし、URL Settings で作成した URL を選択します。 複数選択した場合、URL はローテーションで再生を行います。各 URL の再生時間を設定します。
Add	プレイリストの再生方法や名前、Added URLs より設定を行い、Add をクリックします。
Edit	プレイリストの名前の変更や、Added URLs より変更を行い、Edit をクリックします。
Reload	入力内容のリセットを行います。
Delete	Playlist から削除するプレイリストを選択し、Delete をクリックします。
Clear All	Clear All をクリックし、すべての URL を削除します。

※HTX-D4000 のみ

5.4.4. Window Access Settings

ウィンドウ毎に再生するストリームを設定します。

詳しい設定方法は、5.2.5. Window Access Settings をご参照ください。

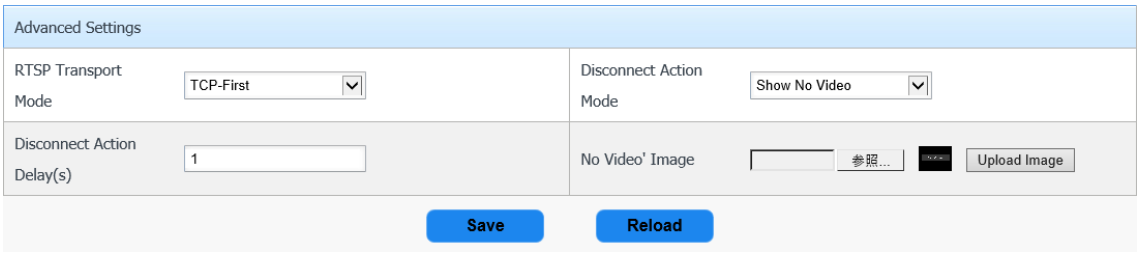


表示	説明
Window	ストリーム再生を行うウィンドウを選択します。
Connection Status	接続状態を表示します。
Stream Source	ストリームソースを、URL リストまたはプレイリストから選択します。 Built-in を選択した場合は、各 Window に URL を直接入力・再生できます。
Built-in Source Type	Video Source：映像ストリームをデコードして表示します。 Web Source：指定した URL の Web ページを表示します。
Built-in Source Name	Stream Source で Built-in を選択した場合、ソース名を入力します。
Built-in Source Address	Stream Source で Built-in を選択した場合、ソースアドレスを入力します。
Built-in Source Username	Stream Source で Built-in を選択した場合、ユーザ名を入力します。
Built-in Source Password	Stream Source で Built-in を選択した場合、パスワードを入力します。

※HTX-D4000 のみ

5.4.5.　Advanced Settings

ウィンドウ毎に再生するストリームを設定します。

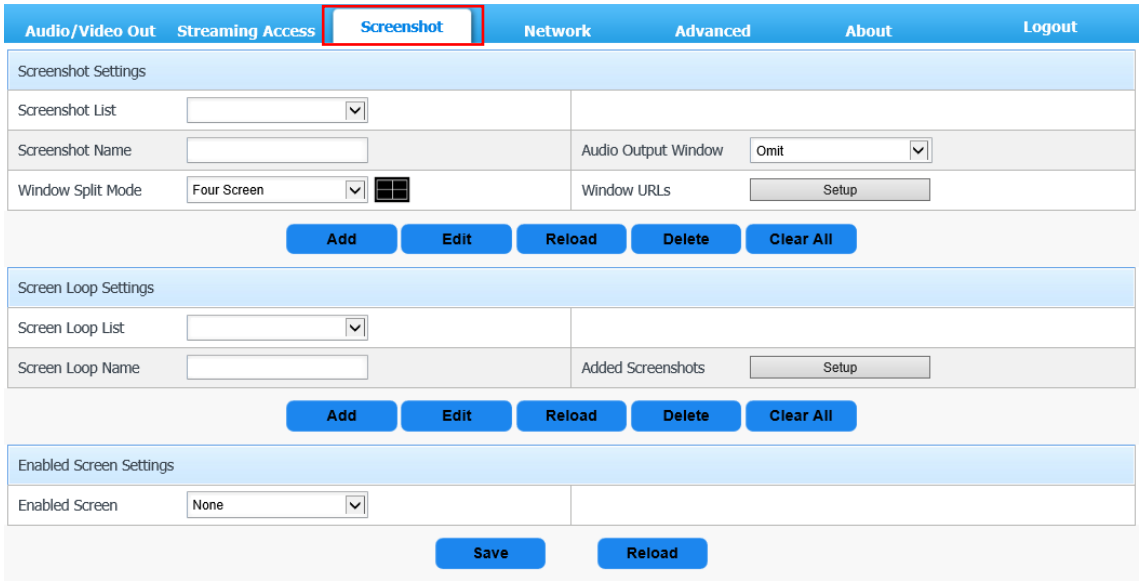


表示	説明
RTSP Transport Mode	RTSP 時の RTP/TCP、RTP/UDP のモード切り替えを行います。 ・TCP-First　：TCP で配信要求を行い、応答がない場合は UDP で配信要求を行います ・UDP-First　：UDP で配信要求を行い、応答がない場合は TCP で配信要求を行います ・TCP-Only　：TCP 配信のみを要求します ・UDP-Only　：UDP 配信のみを要求します ※本設定を変更した際は、機器の再起動を行ってください
Disconnect Action Mode	Disconnect になったときの、画面の状態を選択します。 Keep Last Frame：映像の最後のフレームを表示させます。 Show No Video：No Video’ Image に設定されている画像を表示させます。
Disconnect Action Delay（s）	Disconnect になってから、No Video’ Image の画像を表示するまでの時間を設定します。
No Video’ Image	Disconnect Action Mode で「Show No Video」を選択したときに表示させる画像を設定します。 参照をクリックし画像を選択します。Upload Image ボタンをクリックして、画像をアップロードします。

5.5. Screenshot

”Screenshot”タブをクリックします。

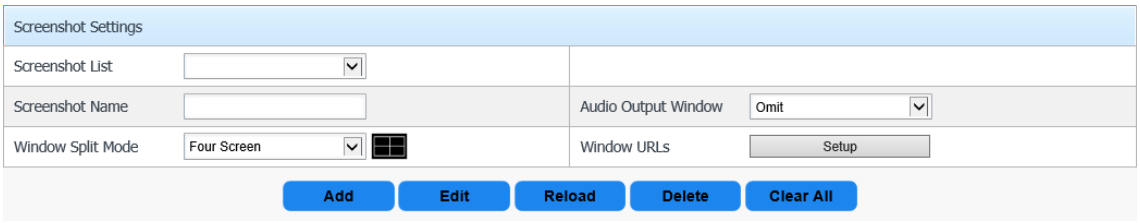
この機能は、分割数やオーディオ出力、ウィンドウごとに再生するストリーミング等を設定し、再生画面自体を事前に作成することができます。Enable Screen で作成した再生画面を選択すると、瞬時に画面ごと切り替えることができます。



※HTX-D4000 のみ

5.5.1. Screenshot Setting

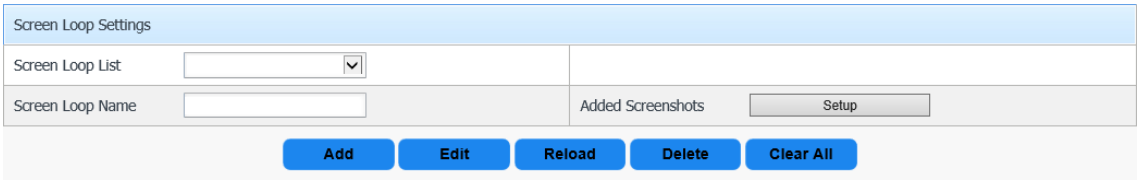
スクリーンショットの設定を行います。



表示	説明
Screenshot List	スクリーンショットリスト表示します。
Screenshot Name	スクリーンショットの名前を設定します。
Audio Output Window	オーディオ出力を行うウィンドウを選択します。 None：オーディオ出力を無効にします。 Omit：この設定を省きます。
Window Split Mode	分割表示の設定を行います。
Window URLs	Setup ボタンをクリックし、Edit Window URLs を開きます。 Window ごとにストリームを割り当てます。（詳細は 5.4.3. Window Access Settings をご参照ください。）
Add	スクリーンショット名やオーディオ出力などの設定後、Add をクリックし追加を行います。
Edit	スクリーンショット名やオーディオ出力などの設定変更後、Edit をクリックし変更を行います。
Reload	Screenshot Settings を更新します。
Delete	Screenshot List から削除するスクリーンショットを選択し、Delete をクリックします。
Clear All	Clear All をクリックし、すべてのスクリーンショットを削除します。

5.5.2. Screen Loop Settings

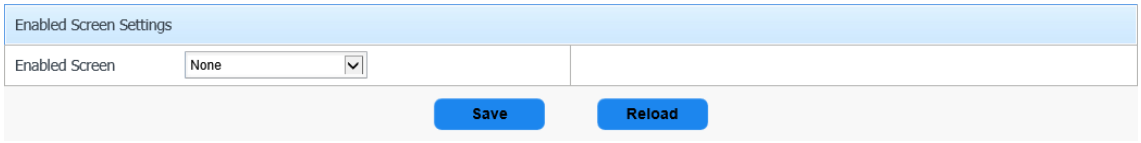
スクリーンループの設定を行います。



表示	説明
Screen Loop List	スクリーンループリストを表示します。
Screen Loop Name	スクリーンループ名を設定します。
Added Screenshots	Setup ボタンをクリックし、Screenshot Settings で作成したスクリーンショットを選択します。 複数選択した場合、スクリーンショットはローテーションで再生を行います。 各スクリーンショットの再生時間を設定します。
Add	スクリーンショットループ名や Added Screenshots より設定を行い、Add をクリックします。
Edit	スクリーンショットループ名や、Added Screenshots より変更を行い、Edit をクリックします。
Reload	Screen Loop Settings を更新します。
Delete	Screen Loop List から削除するスクリーンループリストを選択し、Delete をクリックします。
Clear All	Clear All をクリックし、すべてのスクリーンループリストを削除します。

5.5.3. Enabled Screen Settings

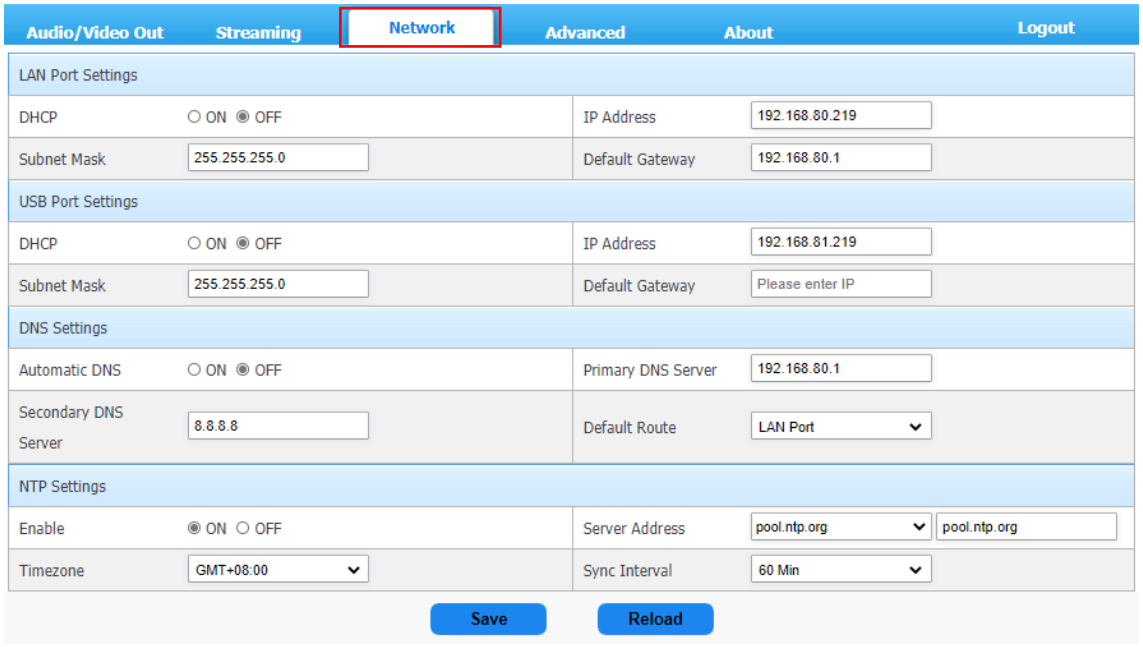
表示するスクリーンショット設定を行います。



表示	説明
Enabled Screen	ディスプレイに表示するスクリーンショットまたはスクリーンループを選択します。

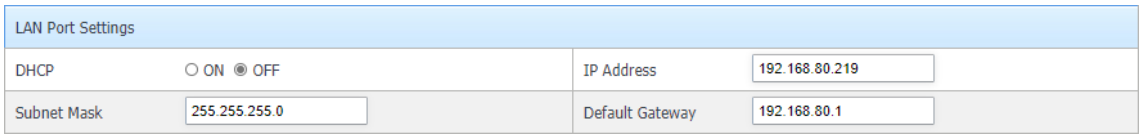
5.6. Network

”Network”タブをクリックします。



5.6.1. LAN Port Settings

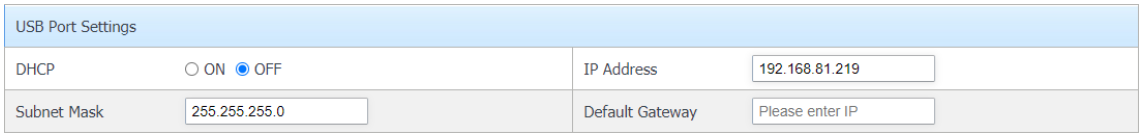
デバイスの IP アドレス取得方法を選択し、設定を行います。



表示	説明
DHCP	DHCP の有効（ON）または無効（OFF）を選択します。 有効の場合、IP アドレスが自動取得されます。 無効の場合、以下を設定します。
IP Address	IP アドレスを設定します。
Subnet Mask	サブネットマスクを設定します。
Default Gateway	デフォルトゲートウェイを設定します。
Primary/Secondary DNS Server	DNS サーバを設定します。

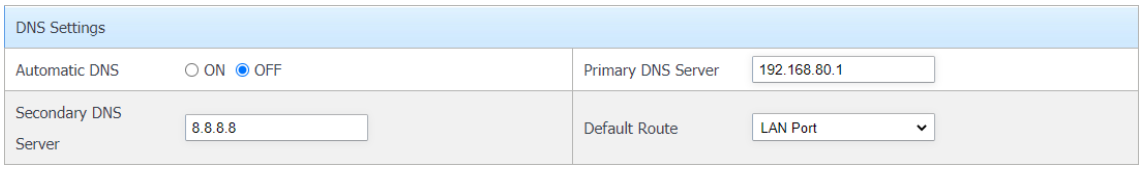
5.6.2. USB Port Settings

未サポートのため、本機能はご使用になれません。



5.6.3. DNS Settings

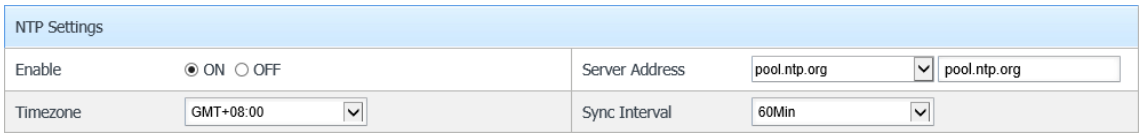
DNS サーバの設定を行います。



表示	説明
Automatic DNS	DNS サーバの自動取得の有効（ON）または無効（OFF）を選択します。 有効の場合、DNS サーバの IP アドレスが自動取得されます。 無効の場合、以下を設定します。
Primary/Secondary DNS Server	DNS サーバを設定します。
Default Route	LAN Port を選択してください。

5.6.4. NTP Settings

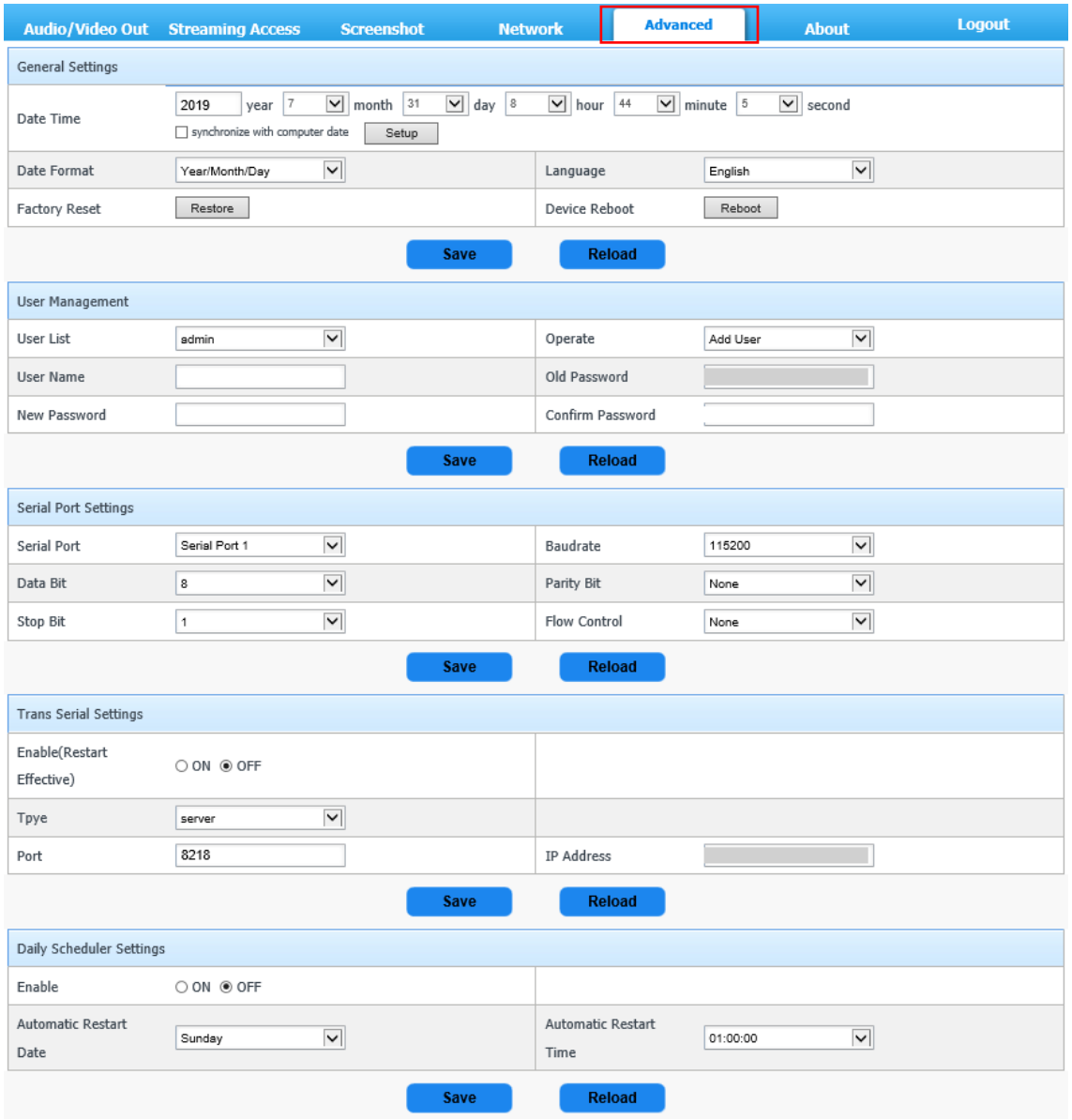
NTP の設定を行います。



表示	説明
Enable	NTP の有効（ON）または無効（OFF）を選択します。
Server Address	NTP サーバを選択します。 選択しにサーバがない場合、「Please enter...」を選択して右横の欄にサーバアドレスを入力します。
Time Zone	タイムゾーンを設定します。日本のタイムゾーンは、GMT +09:00 です。
Sync Interval	NTP サーバとの同期間隔を設定します。

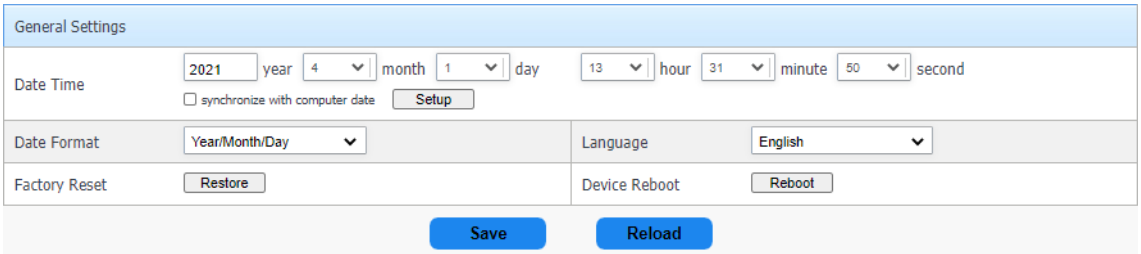
5.7. Advanced

”Advanced”タブをクリックします。



5.7.1. General Settings

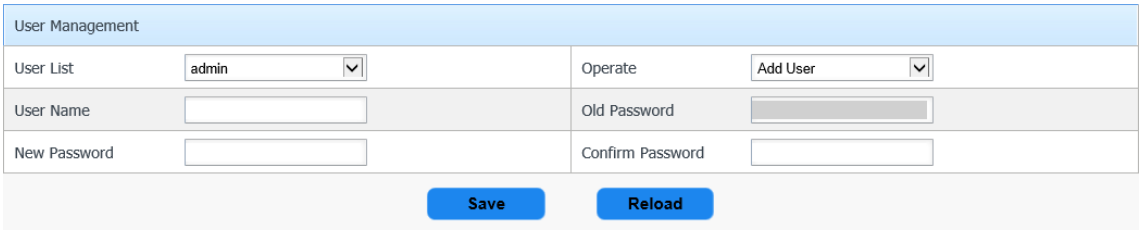
デバイスの日時や言語の設定、初期化や再起動を行います。



表示	説明
Date Time	日時の設定を手動で行います。 「synchronize with computer date」にチェックを入れると、コンピュータの日時と同期を行います。 Setup をクリックすると、設定が反映されます。
Date Format	日付の表示形式を選択します。
Language	言語の設定を行います。
Factory Reset	Restore をクリックし、デバイスの初期化を行います。
Device Reboot	Reboot をクリックし、デバイスの再起動を行います。

5.7.2. User Management

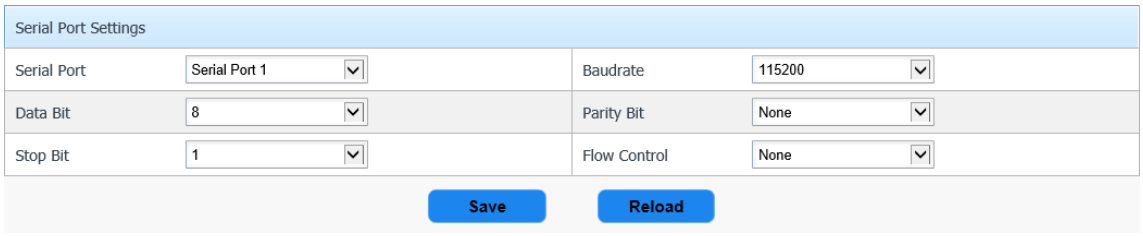
ユーザアカウントの管理を行います。設定変更ができるのは admin のアカウントのみです。



表示	説明
User List	ユーザのリストを表示します。
Operate	ユーザの追加（Add User）、ユーザの削除（Delete User）、パスワードの変更（Modify Password）から選択します。
User Name	ユーザ名を設定します。
Old Password	現在使用しているパスワードを入力します。
New Password	新しく設定するパスワードを入力します。
Confirm Password	新しいパスワードを再度入力します。

5.7.3. Serial Port Settings

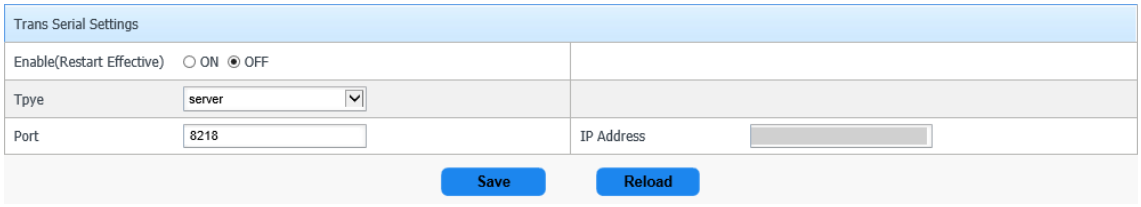
シリアルポートの設定を行います。



表示	説明
Serial Port	シリアルポートを選択します。
Buadrate	ビット転送速度を設定します。
Data Bit	データビットを設定します。
Parity Bit	パリティビットを設定します。誤り検出を行います。
Stop Bit	ストップビットを設定します。
Flow Control	フロー制御を行います。

5.7.4. Trans Serial Settings

RS232 通信の設定を行います。



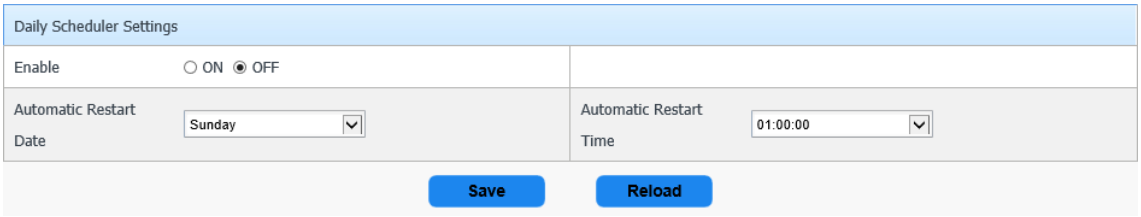
表示	説明
Enable (Restart Effective)	有効（ON）または無効（OFF）を選択します。
Type	Server または Client を選択します。デコーダは Client を推奨します。
Port	Server と Client で共通のポート番号を設定します。
IP Address	Client を選択した場合、Server の IP アドレスを入力します。

※設定変更後は、必ず再起動を行う必要があります。

※対応ファームウェアバージョンは、V1.61 以降

5.7.5. Daily Scheduler Settings

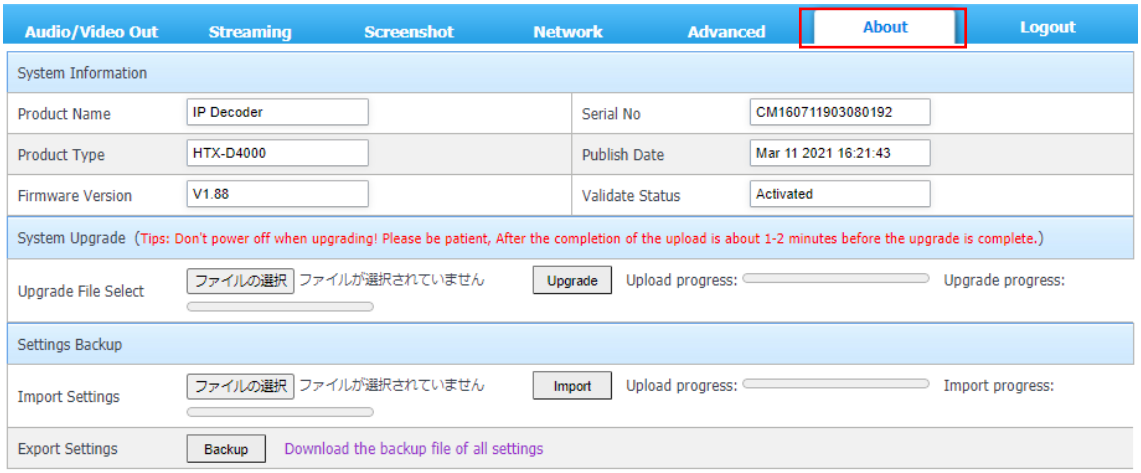
自動メンテナンス(再起動)の設定を行います。



表示	説明
Enable	自動メンテナンスを行います。指定した時刻に再起動を行います。 有効(ON)または無効(OFF)を選択します。
Automatic Restart Date	自動メンテナンス(再起動)を行う曜日を選択します。
Automatic Restart Time	自動メンテナンス(再起動)を行う時間帯を設定します。

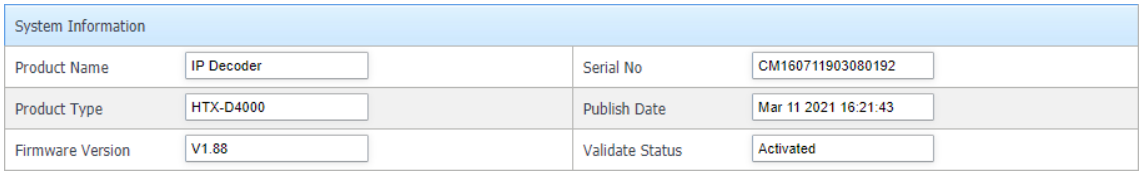
5.8. About

”About”タブをクリックします。



5.8.1. System Information

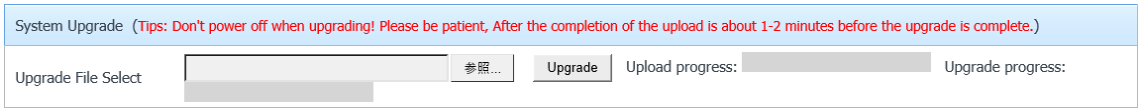
デバイスのシステム情報を表示します。



表示	説明
Product Name	製品名を表示します。
Serial No	デバイスのシリアル番号を表示します。
Product Type	製品タイプを表示します。
Publish Date	現在のファームウェアバージョンのリリース日時を表示します。
Firmware Version	ファームウェアバージョンを表示します。
Validate Status	ステータスを表示します。

5.8.2. System Upgrade

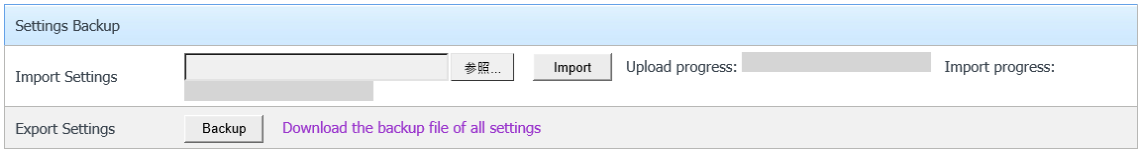
ファームウェアアップグレードを行います。



表示	説明
Upgrade File Select	ファームアップを行います。 参照をクリックして、ファームウェアを選択します。 Upgrade ボタンをクリックして、ファームアップを行います。 ※ ファームアップ完了後、自動的に再起動を行います。

5.8.3. Settings Backup

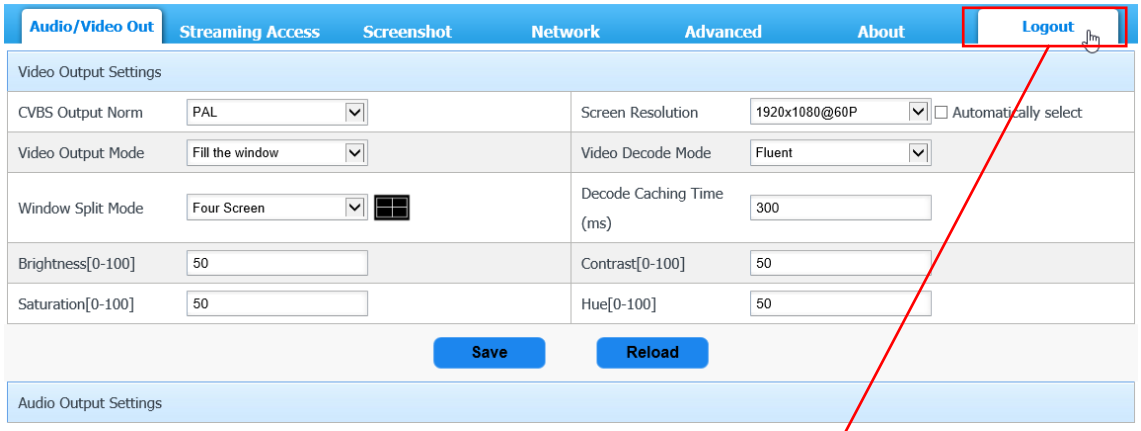
設定のバックアップと復元を行います。

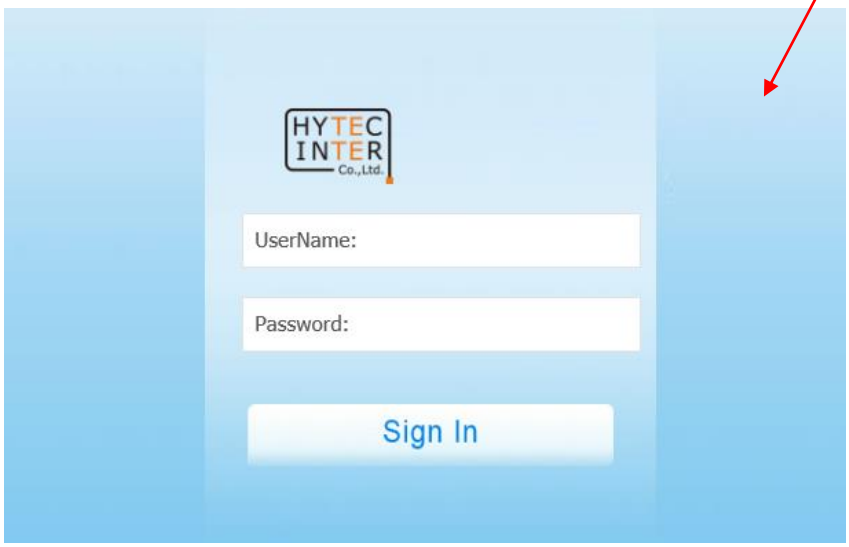


表示	説明
Import Settings	バックアップファイルの復元を行います。 参照をクリックして、バックアップファイルを選択します。 Import ボタンをクリックして、設定の復元を行います。 ※ 復元完了後、自動的に再起動を行います。
Export Settings	設定のバックアップを行います。 Backup ボタンをクリックすると、バックアップファイルを作成できます。 バックアップ成功のメッセージが表示されましたら、ボタン横の「Download the backup file of all settings」をクリックし、バックアップファイルを PC にダウンロードします。

5.9. Logout

”Logout”タブをクリックすると、設定画面からログアウトし、ログイン画面へ移動します。



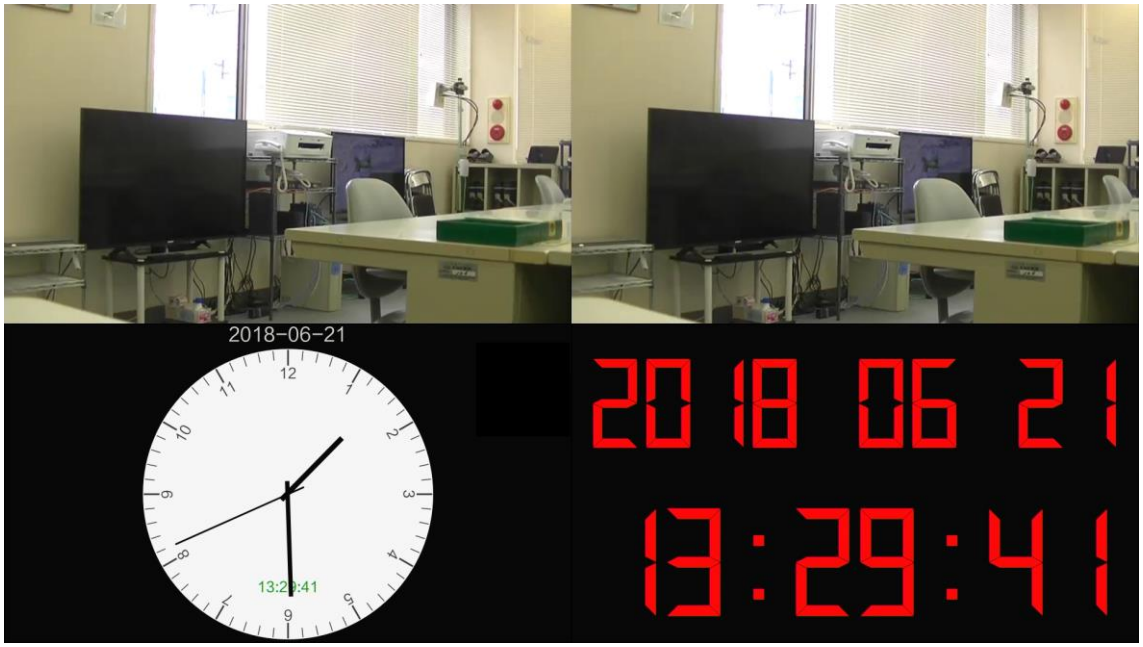


6. Local 設定

ローカルクライアント側の操作と管理について説明します。

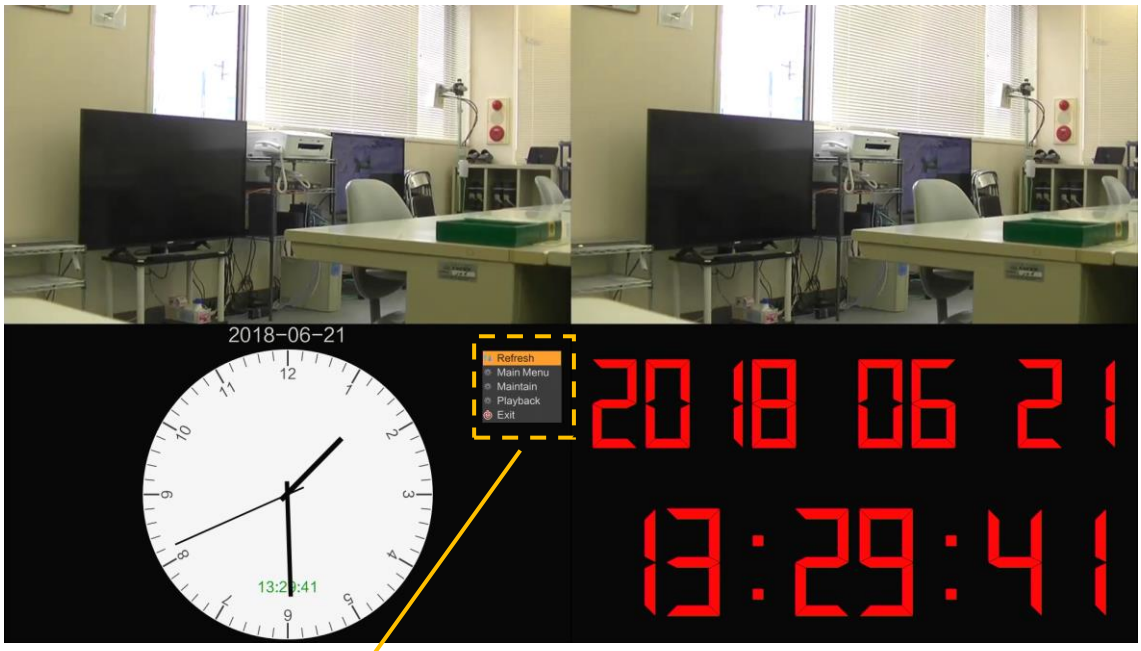
6.1. Live View

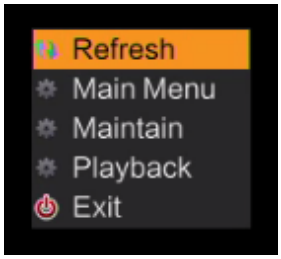
Live 画面を表示します。



6.1.1.　Live View メニュー

Live 画面上でマウスを右クリックすると、メニューが表示されます。



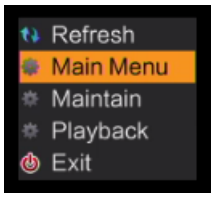


表示	説明
Refresh	再接続を行います。
Main Manu	メインメニュー画面へ移動します。
Maintain	メンテナンスを行います。
Playback	プレイバックを行います。
Exit	ログアウト、再起動、シャットダウンを行います。

6.1.2. Login

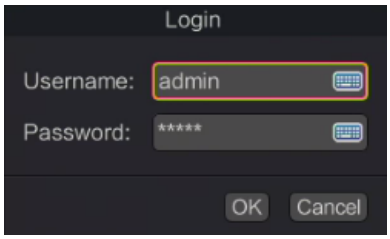
ログインを行います。

1)　Live 画面上で右クリックをして、“Main Menu”を選択します。



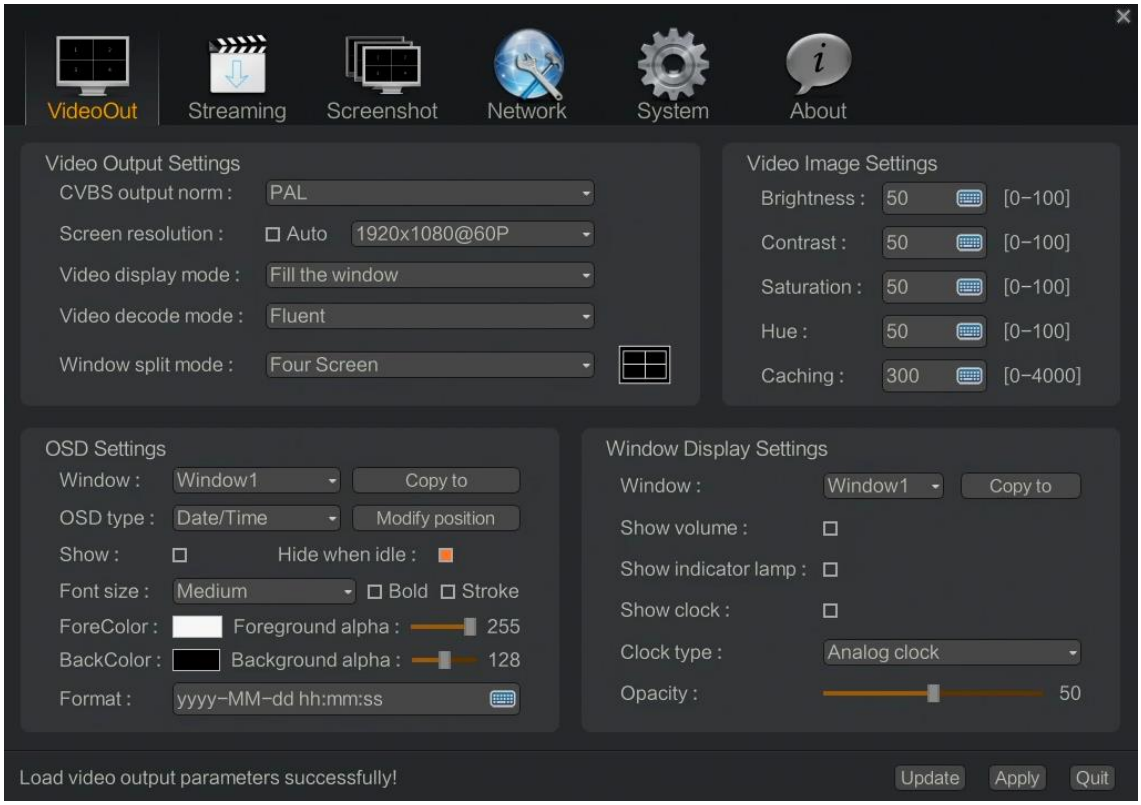
※ Maintain、Playback、Exit も同様にログインが必要です。

2)　Username に admin、Password に admin を入力し、OK をクリックします。



※キーボードマーク をクリックすると、オンスクリーンキーボードが表示されます。
　オンスクリーンキーボードのキーをマウスでクリックし、文字や数字を入力します。

3)　Main メニュー画面を開いたら、ログイン成功です。



6.1.3. Maintain

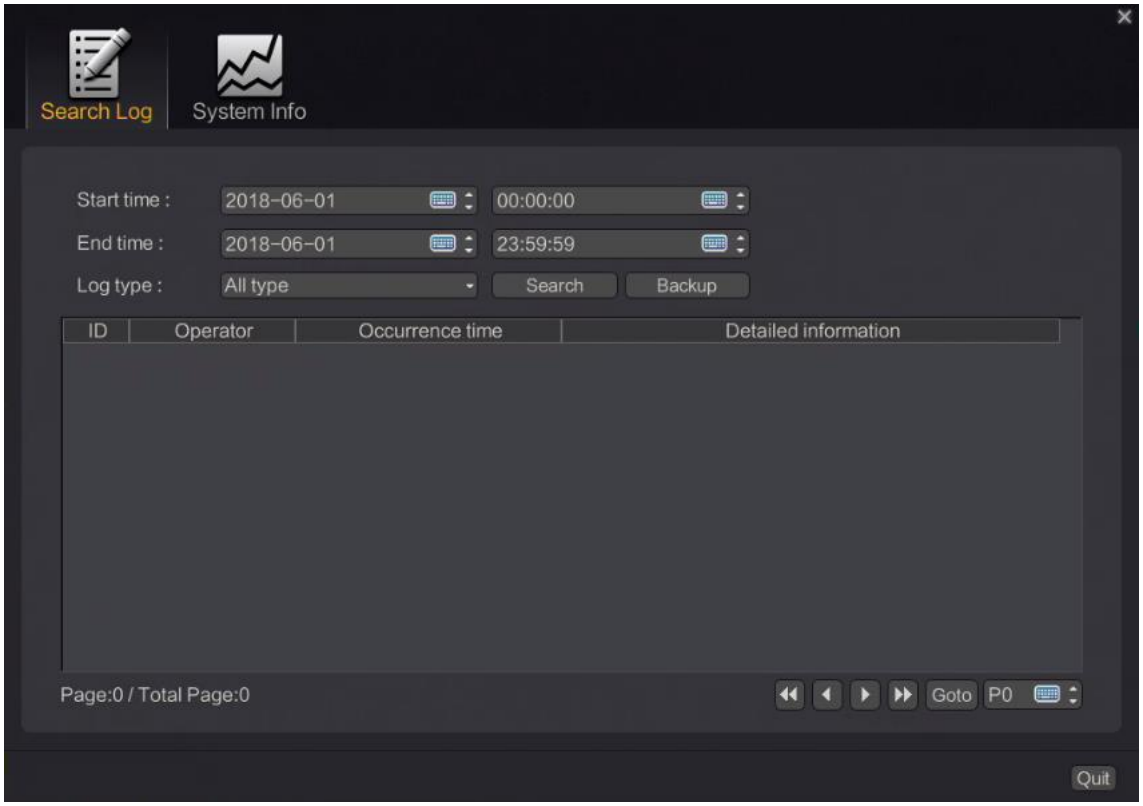
メンテナンスを行います。

- Search Log

ログの確認を行います。

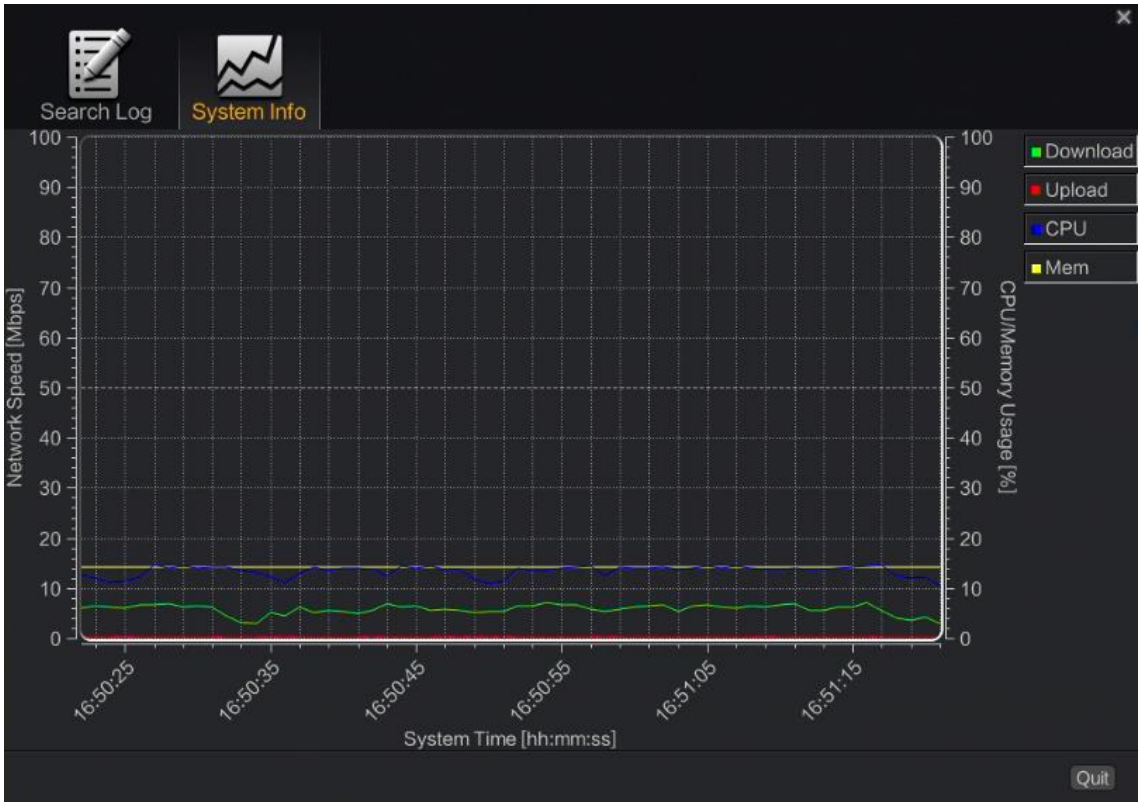
ログの開始日時と終了日時を設定、ログのタイプを選択し、Search をクリックします。

また、Backup をクリックすると、ログの保存を行います。



- System Info

CPU 使用率やネットワーク速度を表示します。

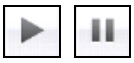
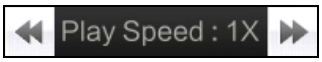
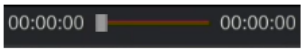


6.1.4. Playback

SD カードに録画されているビデオを再生します。

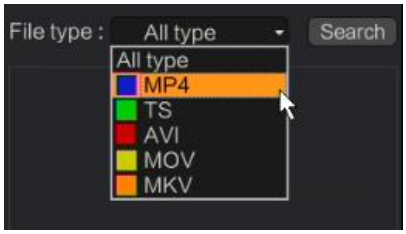
※ Live View 画面に戻る時は、画面上で右クリックします。

- Icon

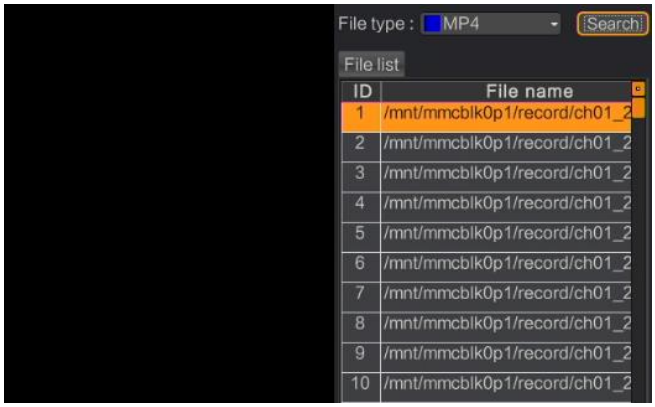
#	表示	説明
①		再生または一時停止します。
②		停止します。
③		再生速度を設定します。 1/16、1/8、1/4、/1/2、1、2、4、8、16 倍速から選択します。
④		前の録画または次の録画に移動します。
⑤		すべてリピート、上から順番に再生、繰り返し再生、1 回再生から再生モードを選択します。
⑥		現在の再生時間と総録画時間を表示します。
⑦		フルスクリーン表示またはフルスクリーン解除を行います。

- 再生方法

1) 右上の File type を選択し、Search をクリックします。



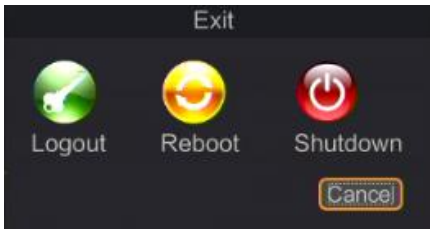
2) File List が表示されるので、録画ファイルを選択します。



3) 再生ボタンをクリックすると、録画映像が流れます。

6.1.5. Exit

ログアウト、再起動、シャットダウンを行います。



- Logout

アカウントのログアウトを行います。

Live 画面は閉じませんが、メニューを開くときにログインが必要になります。

- Reboot

再起動を行います。

- Shutdown

シャットダウンを行います。

7. Main メニュー設定

メインメニューの設定を行います。

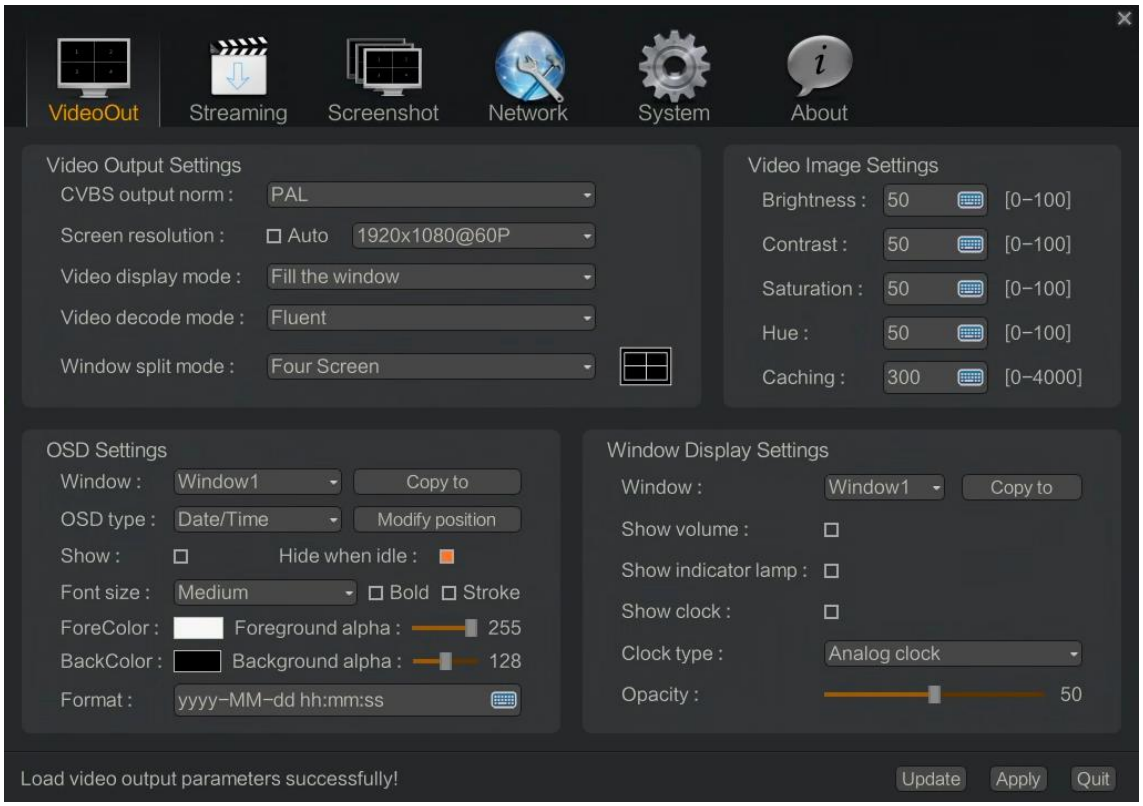
設定変更後、Apply をクリックして設定を保存します。

Update をクリックして設定画面を更新します。

Quit をクリックして Main Manu 画面を閉じます。

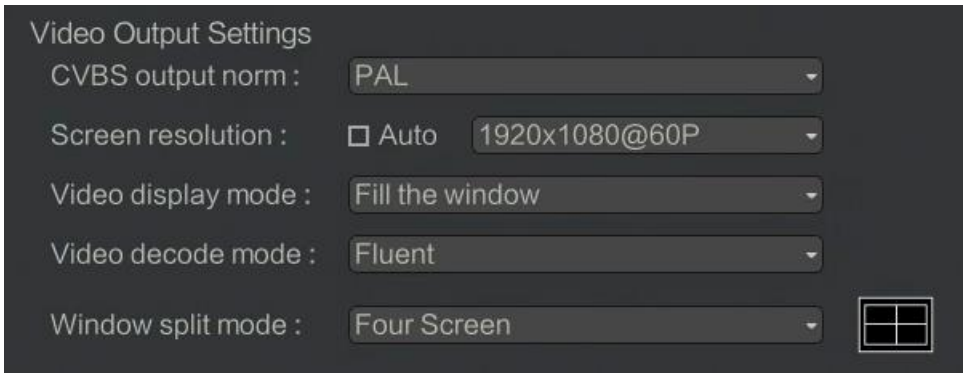
7.1. Video Out

ビデオ出力の設定を行います。



7.1.1. Video Output Settings

解像度や分割数など、映像の出力設定を行います。



表示	説明
CVBS output norm	Composite 出力の放送規格を NTSC または PAL から選択します。 （変更すると再起動を行います。）
Screen resolution	HDMI 出力の解像度を設定します。（変更すると再起動を行います。） Auto にチェックを入れると、ディスプレイの EDID を読み取り、最適な解像度を選択します。
Video display mode	Fill the window（フルウィンドウ）または Keep aspect ratio（アスペクト比の維持）から、映像出力モードを選択します。
Video decode mode	デコード再生モードを選択します。 Fluent：流暢再生モードです。このモードで長時間再生した場合、遅延が発生することがあります。 Live：低遅延ライブ再生モードです。 Live-Only-Decode-I/P-Frame：I/P フレームのみをデコードするため、Live モードよりも更に遅延の少ないモードになります。H.265 は、このモードでは使えません。 ※低遅延モードを使用すると AV 同期を行えないため、音がずれる可能性があります。音声を使用する場合は、Fluent モードの使用を推奨します。
Window split mode	分割表示モードを以下から選択します。 [1-16 分割、Picture in Picture、User Defined1-4] ※User Defined の設定（作成）は Local 上では出来ないので、Web ブラウザで設定してください。

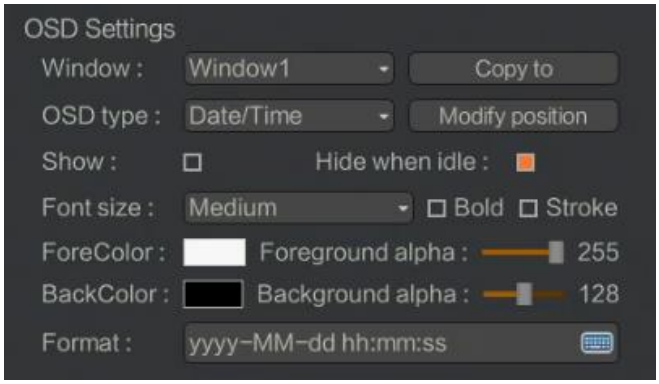
7.1.2. Video Image Settings

ディスプレイの色合い調節、キャッシュの設定を行います。

表示	説明
Brightness	画面の明るさを調節します。数値が大きいほど明るくなります。
Contrast	明るいところと暗いところの差を調節します。数値が高いほど明暗の差は大きくなり、メリハリのあるくっきりとした映像になります。
Saturation	色の鮮やかさの度合いを調節します。数値が高いほど鮮やかな色になり、低いほどくすんだ色になります。
Hue	赤色や青色などの色合いを調節します。
Caching	デコードするときにキャッシュをどれくらい入れるのか設定します。

7.1.3. OSD Settings

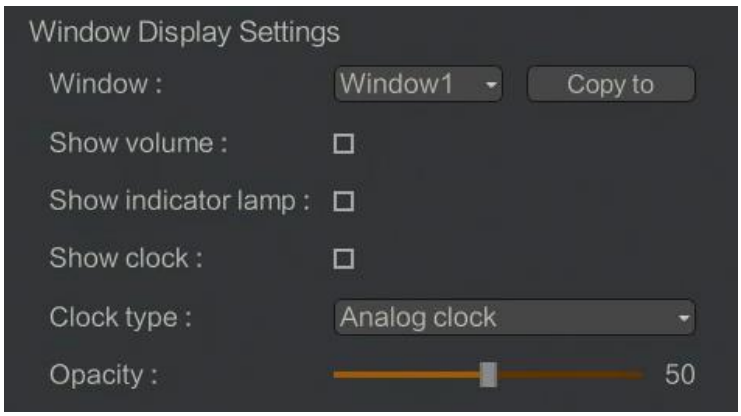
OSD の設定を行います。



表示	説明
Window	OSD の設定を行うウィンドウを選択します。 Copy to をクリックし、OSD 設定を他の Window にコピーします。
OSD type	OSD タイプを Date/Time、Title、Text、Remark、URL Node から選択します。 Modify position をクリックし、OSD の表示位置を設定します。
Show	OSD Type で選択した項目を表示する場合は選択します。(オレンジ)
Hide when idle	選択すると、Connection Status が Idle の時は OSD を表示させません。
Font size	文字の大きさを設定します。 Bold を選択すると太字になり、未選択時は普通サイズになります。 Stroke を選択すると文字の縁取り、未選択時は文字の背景になります。
Fore Color	文字の色を設定します。
Foreground alpha	文字の透明度を設定します。値が小さいほど、透明度が高くなります。
Back Color	文字のバックの色を設定します。
Background alpha	バックの透明度を設定します。値が小さいほど透明度は高くなります。
Format	OSD Type で Date/Time を選択した場合、日時の表示形式を設定します。
Content	OSD Type で Title、Text、Remark を選択した場合、文字列を入力します。
Prefix	OSD Type で URL Node を選択した場合、Stream Receive で選択した URL Name もしく User-Defined の Name を表示します。 Prefix に文字列を入力すると、URL 名の前に文字列が表示されます。

7.1.4. Window Display Settings

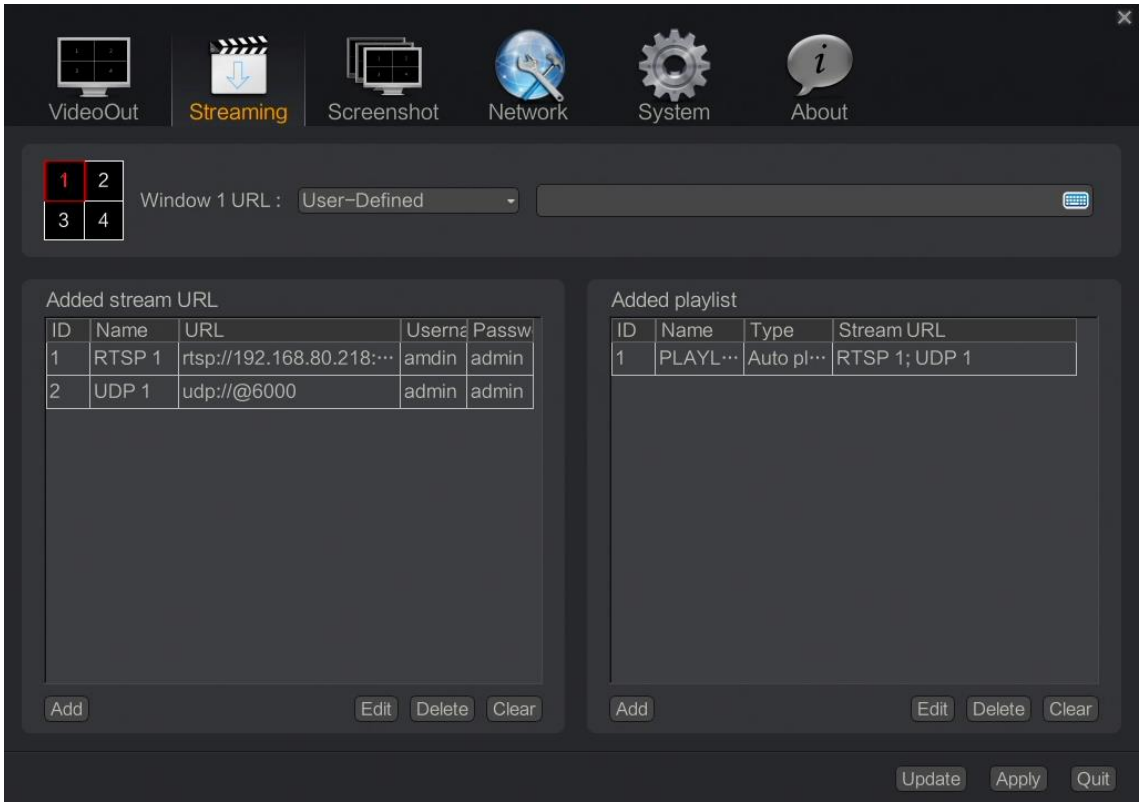
ウィンドウのディスプレイ設定を行います。



表示	説明
Window	ウィンドウを選択します。 Copy to をクリックしディスプレイ設定を他の Window にコピーします。
Show volume	ボリュームバーを表示させる場合はチェックを入れます。
Show indicator lamp	ステータスランプを表示させる場合はチェックを入れます。
Show clock	時計を表示させる場合はチェックを入れます。
Clock type	時計のタイプをアナログもしくはデジタルから選択します。
Opacity	ボリュームバーとステータスランプの透明度を設定します。 数値が高いほど透明度が高くなります。

7.2. Streaming

ストリーム受信の設定を行います。

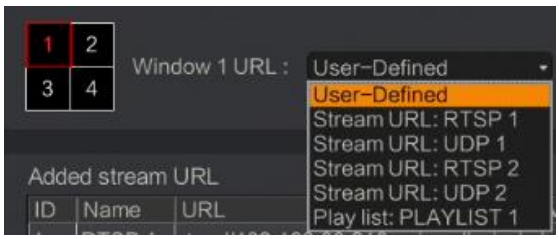


7.2.1. Window URL

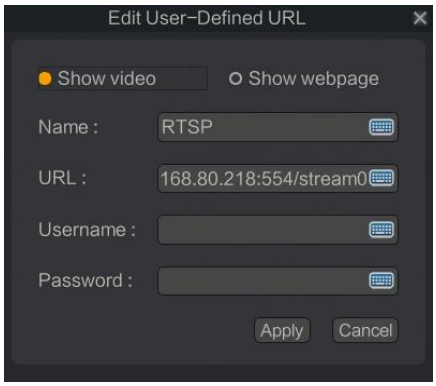
ウィンドウ毎にソースアドレスを設定します。

1) ウィンドウを選択します。赤色の枠が現在選択されているウィンドウです。

2) ドロップダウンメニューから、Window1 で再生する URL またはプレイリストを選択します。

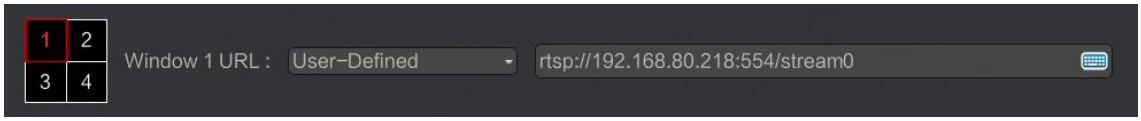


3) User-Defined を選択した場合、URL 名や URL アドレスを入力し、Apply をクリックします。



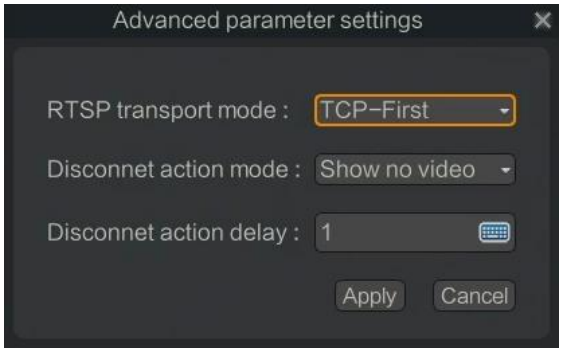
4) 右下の Apply ボタンをクリックして、設定を反映させます。

5) Window 1 Source address に、再生されるリストやアドレスが表示されます。



Advanced parameters settings

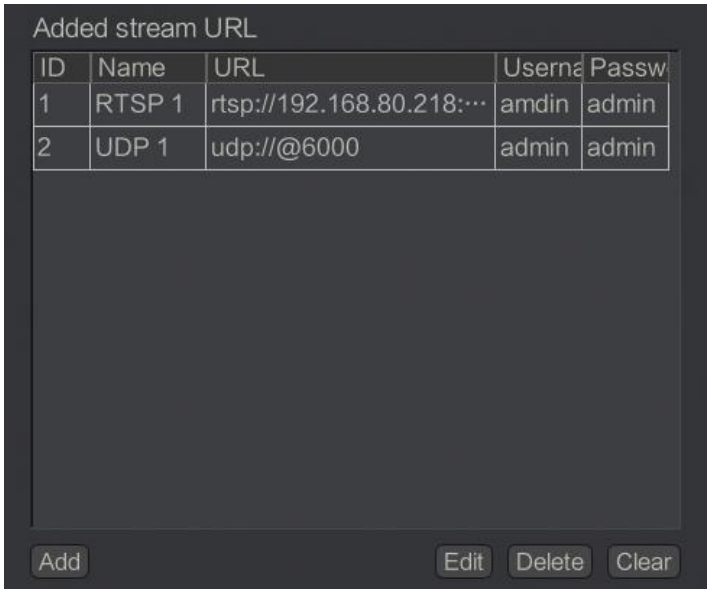
Advanced parameters をクリックし、Advanced parameters settings を開きます。



表示	説明
RTSP transport mode	RTSP 時の RTP/TCP、RTP/UDP のモード切り替えを行います。
Disconnect action mode	Disconnect になったときの、画面の状態を選択します。 Keep Last Frame：映像の最後のフレームを表示させます。 Show No Video：Web ブラウザの No Video’ Image に設定されている画像を表示させます。Local では画像の設定はできません。
Disconnect action delay	Disconnect になってから、No Video’ Image の画像を表示するまでの時間を設定します。

7.2.2. Added stream URL

ストリーム URL の追加・変更・削除を行います。

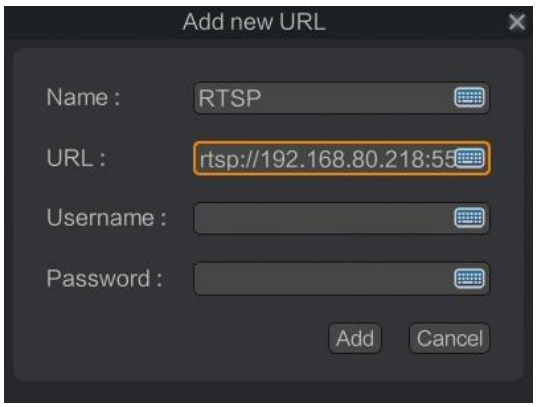


◆ Add new URL

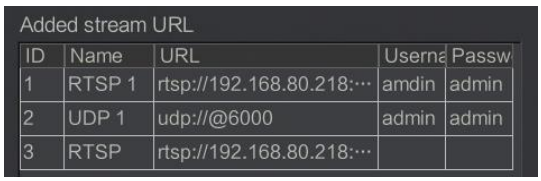
Add をクリックします。

URL の名前（Name）とストリーム URL を入力します。

Username と Password も入力（任意）し、Add をクリックします。

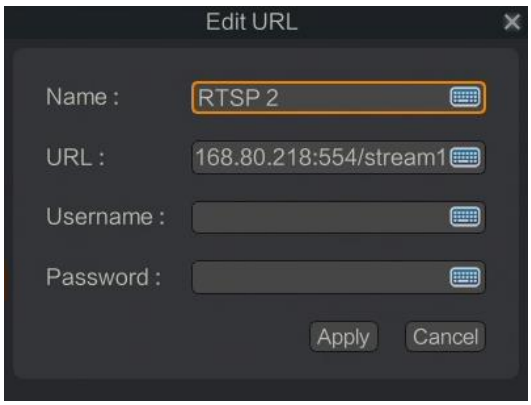


ID：3 の URL が追加されます。



◆ Edit URL

変更する URL を選択（オレンジ色）してから、Edit をクリックします。

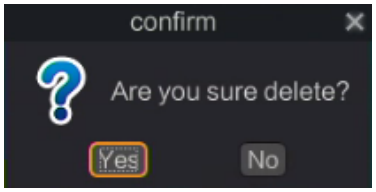


変更を行い、Apply をクリックします。

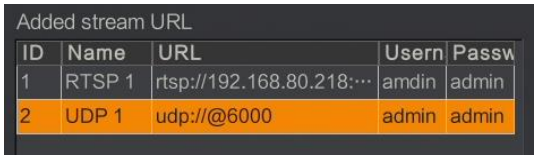
◆　Delete URL

削除する URL を選択（オレンジ色）してから、Delete をクリックします。

削除の確認メッセージがくるので、Yes をクリックします。



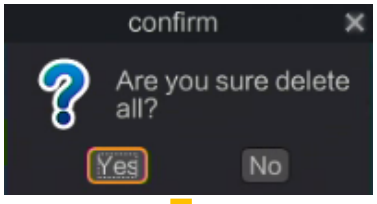
ID：3 の URL は削除されます。



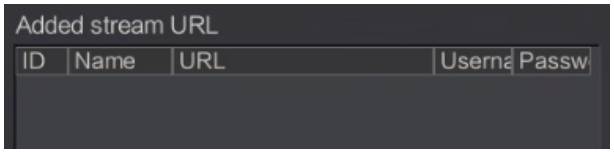
◆　Clear URL

全てのストリーム URL を削除する場合、Clear をクリックします。

下図のような削除確認メッセージがくるので、Yes をクリックします。

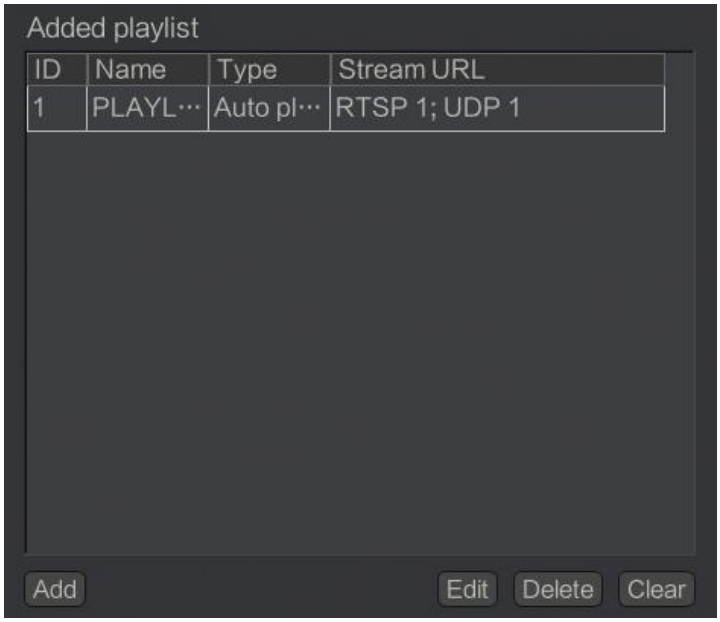


全てのストリーム URL が削除されます。



7.2.3. Added playlist

プレイリストの追加・変更・削除を行います。



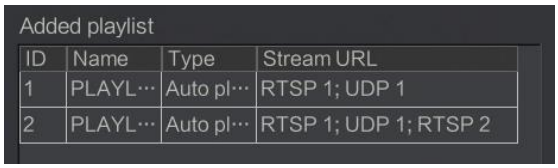
◆　Add new playlist

Add をクリックします。

プレイリストの名前（Name）を入力し、プレイリストに追加する URL を選択します。（複数可）

複数選択した場合、ローテーション時の再生時間（Duration）を設定し、Apply をクリックします。

ID：2 がプレイリストに追加されます。



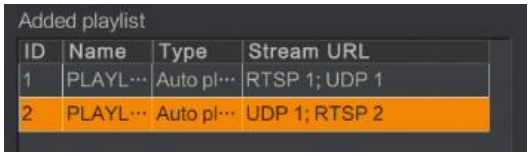
◆　Edit playlist

変更するプレイリストを選択（オレンジ色）してから、Edit をクリックします。

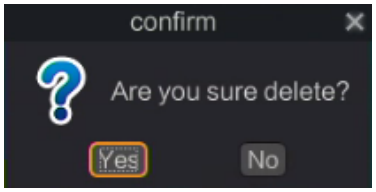
変更を行い、Apply をクリックします。

◆　Delete playlist

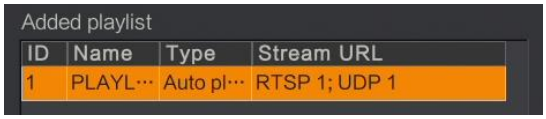
削除するプレイリストを選択（オレンジ色）してから、Delete をクリックします。



削除の確認メッセージがくるので、Yes をクリックします。



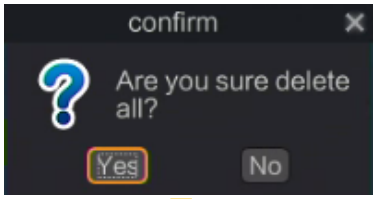
ID：2 のプレイリストは削除されます。



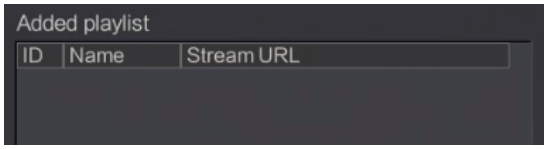
◆　Clear playlist

全てのプレイリストを削除する場合、Clear をクリックします。

下図のような削除確認メッセージがくるので、Yes をクリックします。

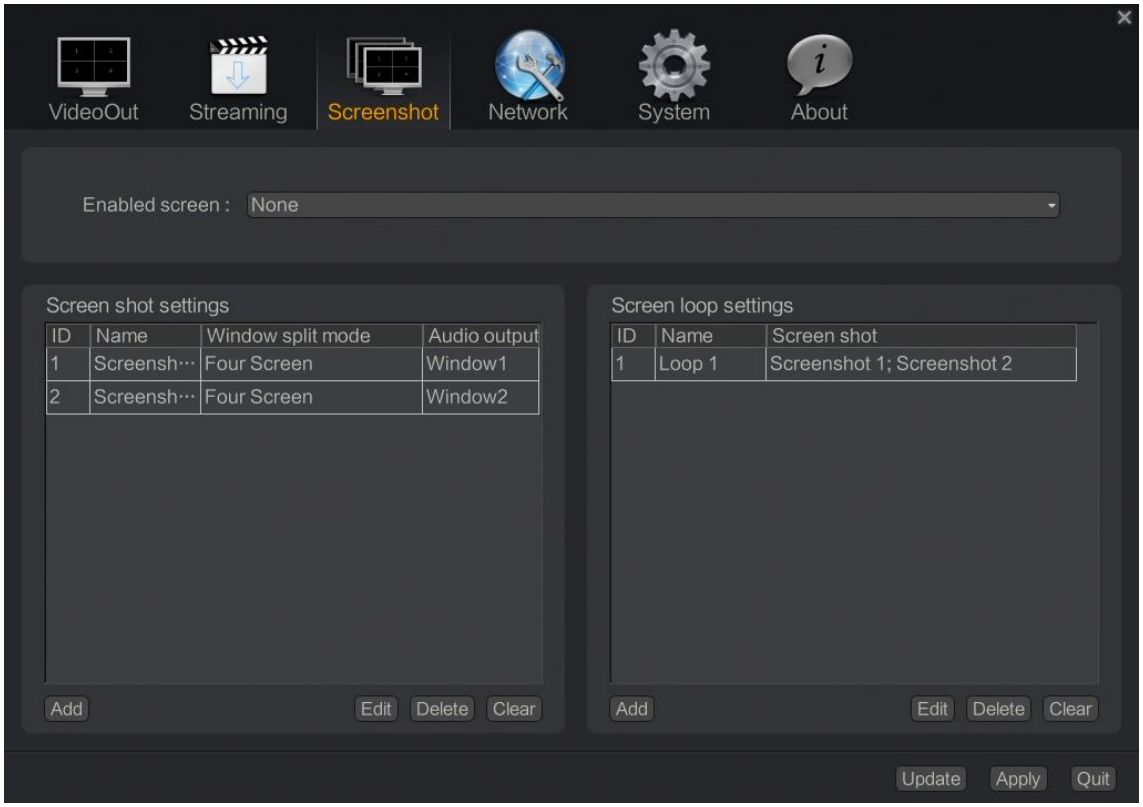


全てのプレイリストが削除されます。



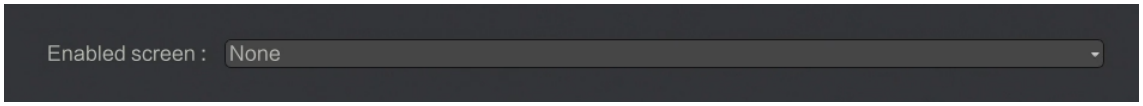
7.3. Screenshot

ディスプレイに表示するスクリーンショットの設定を行います。

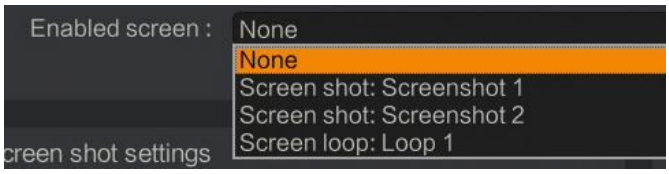


7.3.1. Enabled screen

ディスプレイに表示するスクリーンショットまたはスクリーンループを選択します。

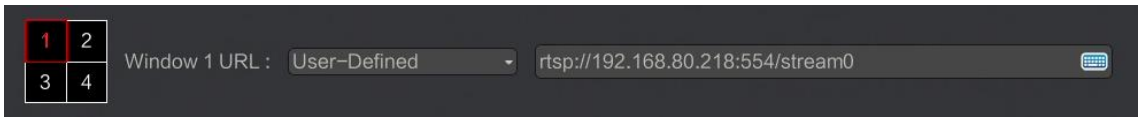


1) ドロップダウンメニューから、ディスプレイに表示する Screenshot または Screenshot Loop を選択します。None は Screenshot 機能が無効の状態です。



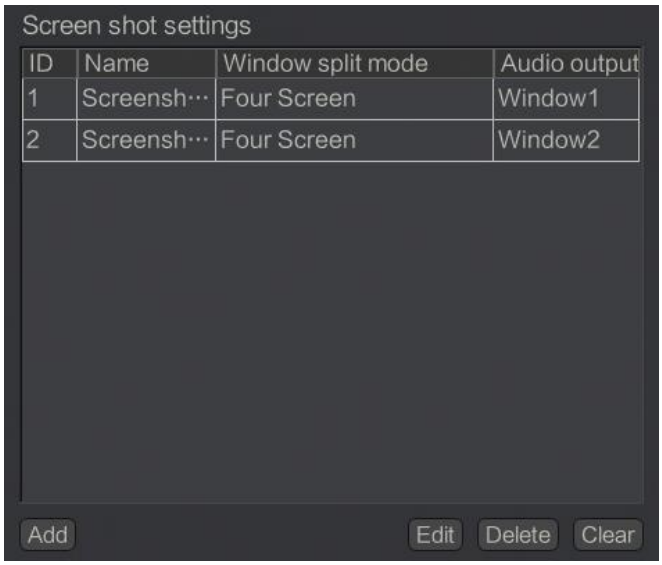
2) 右下の Apply ボタンをクリックして、設定を反映させます。

3) Enabled screen に、ディスプレイに表示するスクリーン名が表示されます。



7.3.2. Screen shot settings

スクリーンショットの追加・変更・削除を行います。

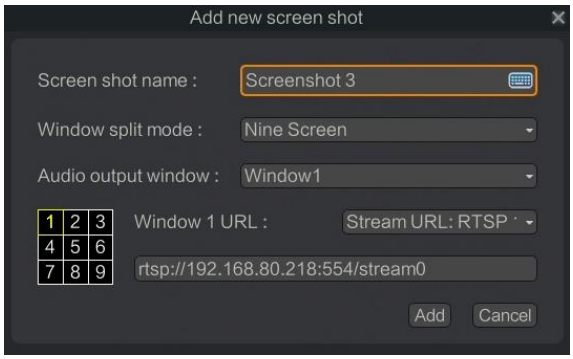


◆　Add new screen shot

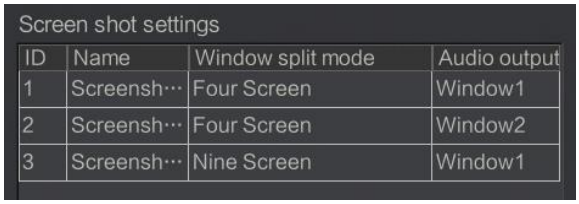
Add をクリックします。

スクリーンショット名を入力し、分割数やオーディオ出力ウィンドウを選択します。

各ウィンドウにストリームを割り当て、Add をクリックします。

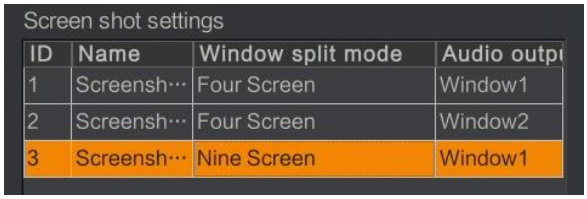


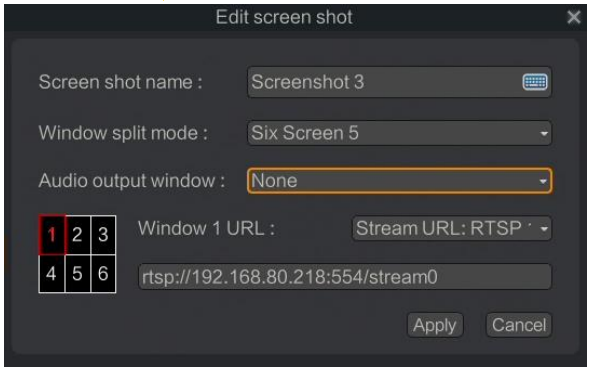
ID：3 のスクリーンショットが追加されます。



◆　Edit screen shot

変更するスクリーンショットを選択（オレンジ色）してから、Edit をクリックします。

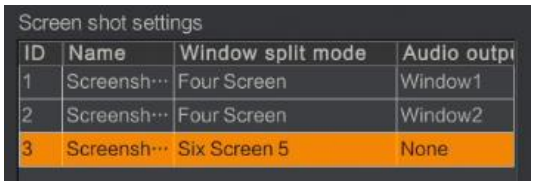




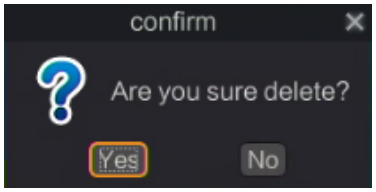
変更を行い、Apply をクリックします。

◆　Delete Screen shot

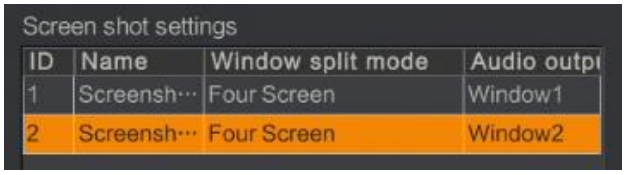
削除するスクリーンショットを選択（オレンジ色）してから、Delete をクリックします。



削除の確認メッセージがくるので、Yes をクリックします。



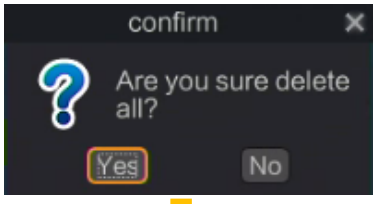
ID：3 のスクリーンショットは削除されます。



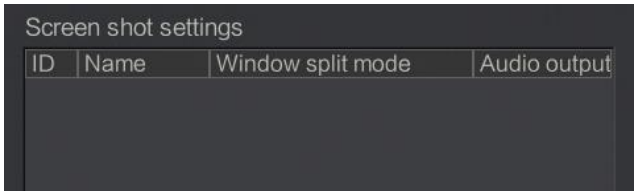
◆　Clear Screen shot

全てのスクリーンショットを削除する場合、Clear をクリックします。

下図のような削除確認メッセージがくるので、Yes をクリックします。



全てのスクリーンショットが削除されます。



7.3.3. Added Screen loop

スクリーンループの追加・変更・削除を行います。

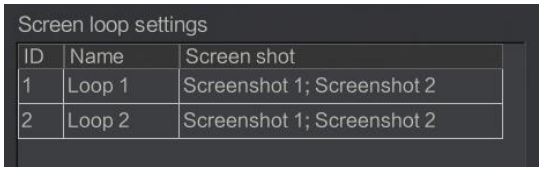
◆　Add new screen loop

Add をクリックします。

スクリーンループ名を入力し、ループリストに追加するスクリーンショットを選択します。(複数可)

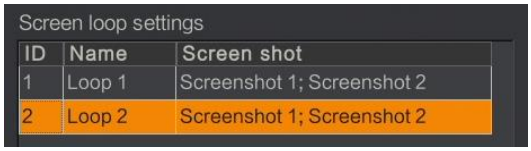
複数選択した場合、ローテーション時の再生時間(Duration)を設定し、Apply をクリックします。

ID:2 がループリストに追加されます。



◆　Edit screen loop

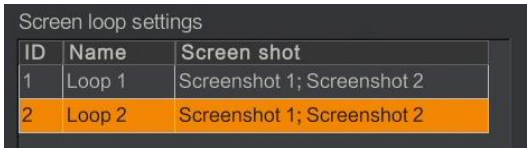
変更するスクリーンループを選択(オレンジ色)してから、Edit をクリックします。



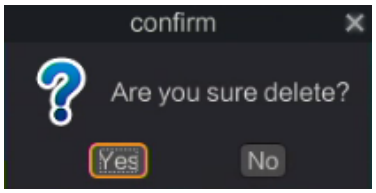
変更を行い、Apply をクリックします。

◆ Delete screen loop

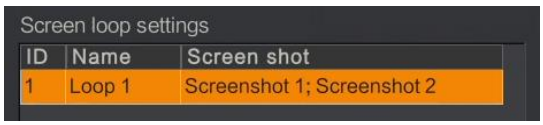
削除するスクリーンループを選択(オレンジ色)してから、Delete をクリックします。



削除の確認メッセージがくるので、Yes をクリックします。



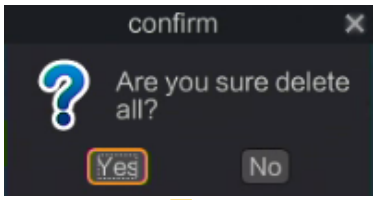
ID:2 のスクリーンループは削除されます。



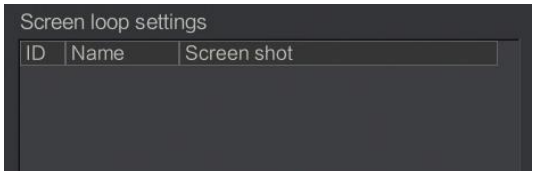
◆ Clear screen loop

全てのスクリーンループを削除する場合、Clear をクリックします。

下図のような削除確認メッセージがくるので、Yes をクリックします。

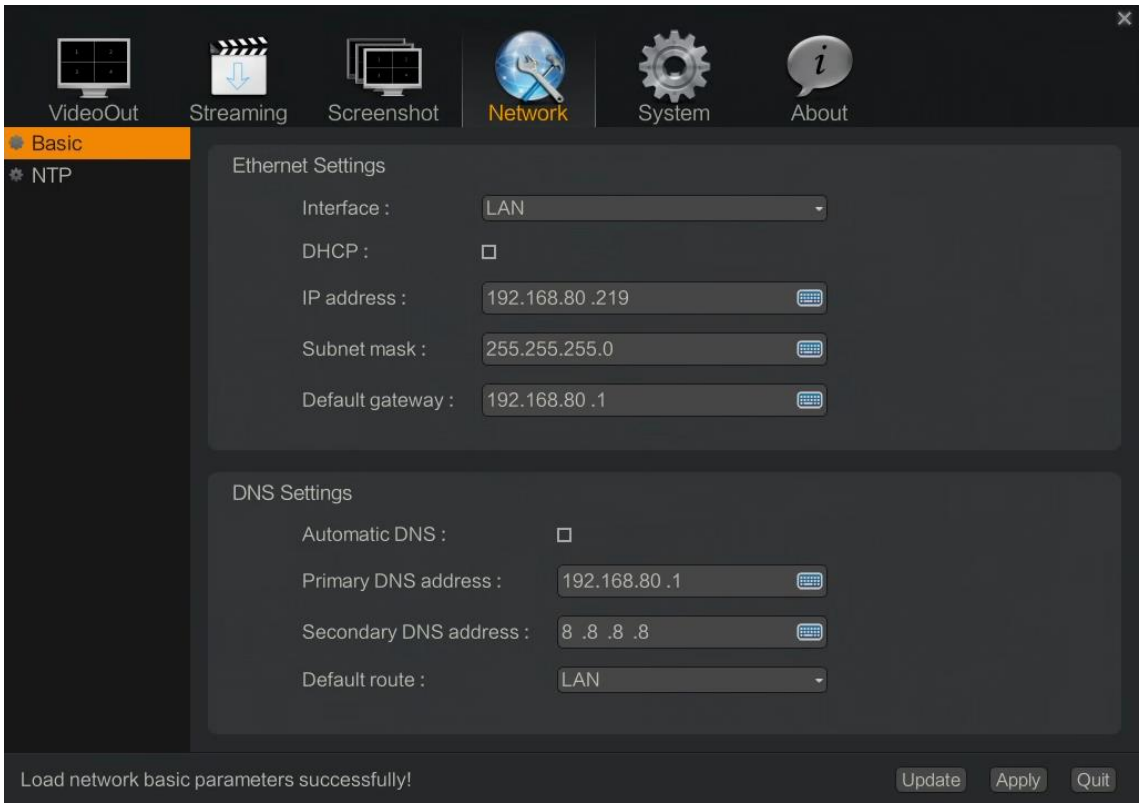


全てのスクリーンループが削除されます。



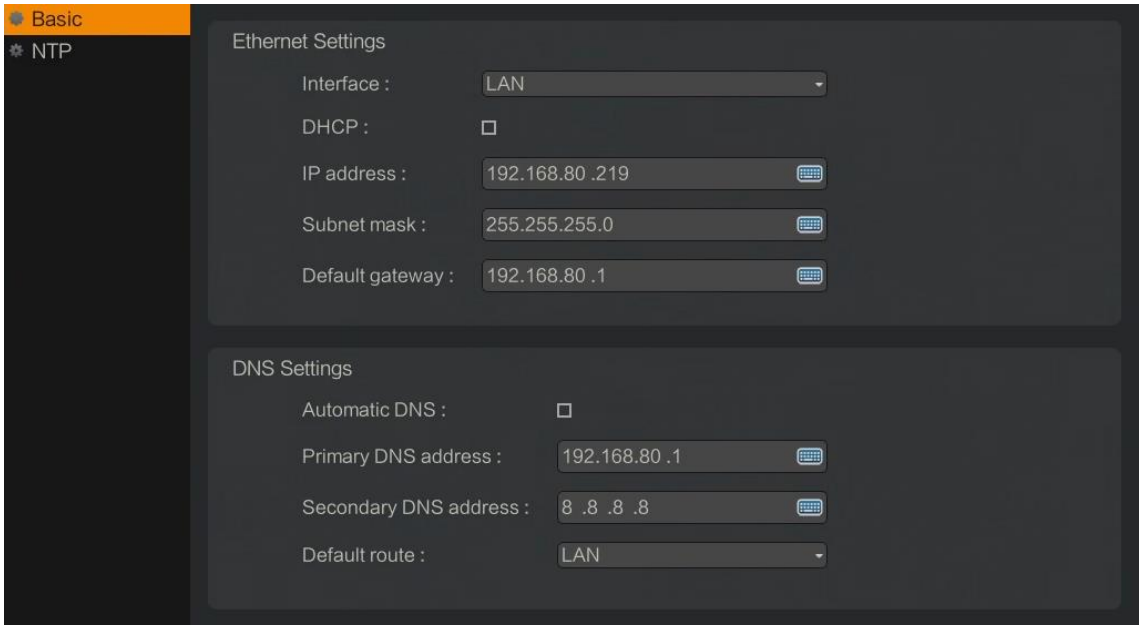
7.4. Network

ネットワーク設定を行います。



7.4.1. Basic

IP アドレスの設定を行います。



[Ethernet Settings]

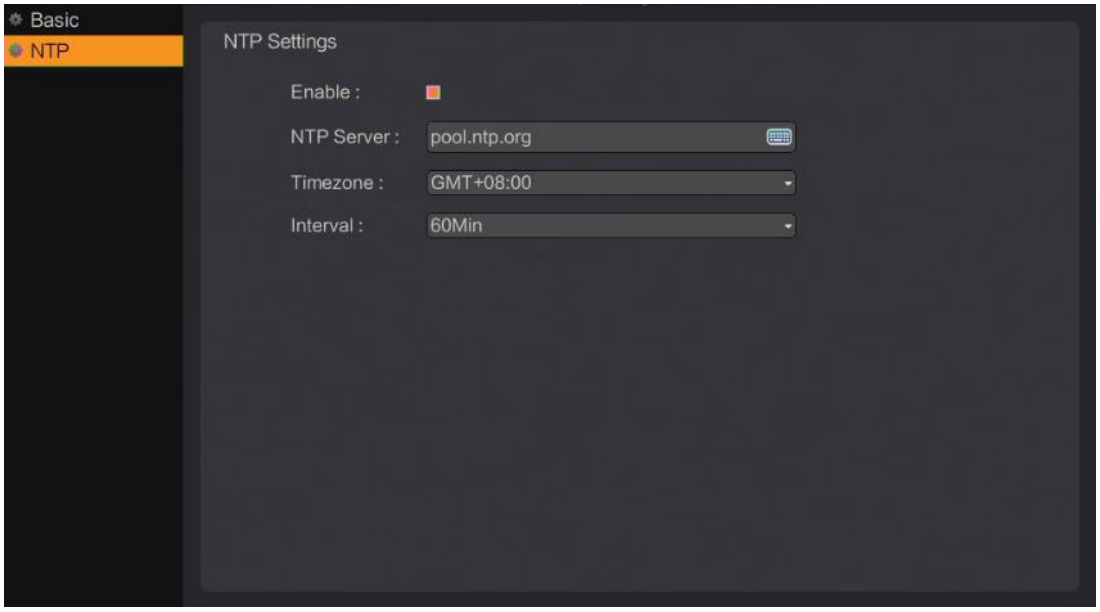
表示	説明
Interface	インタフェースは LAN を選択してください。
DHCP	DHCP を有効にする場合はチェックを入れます。 無効の場合、以下を設定します。
IP address	IP アドレスを設定します。
Subnet mask	サブネットマスクを設定します。
Default gateway	デフォルトゲートウェイを設定します。

[DNS Settings]

表示	説明
Automatic DNS	DNS サーバの IP アドレスを自動取得する場合はチェックを入れます。 無効の場合、以下を設定します。
Primary/Secondary DNS address	DNS サーバを設定します。
Default route	LAN を選択してください。

7.4.2. NTP

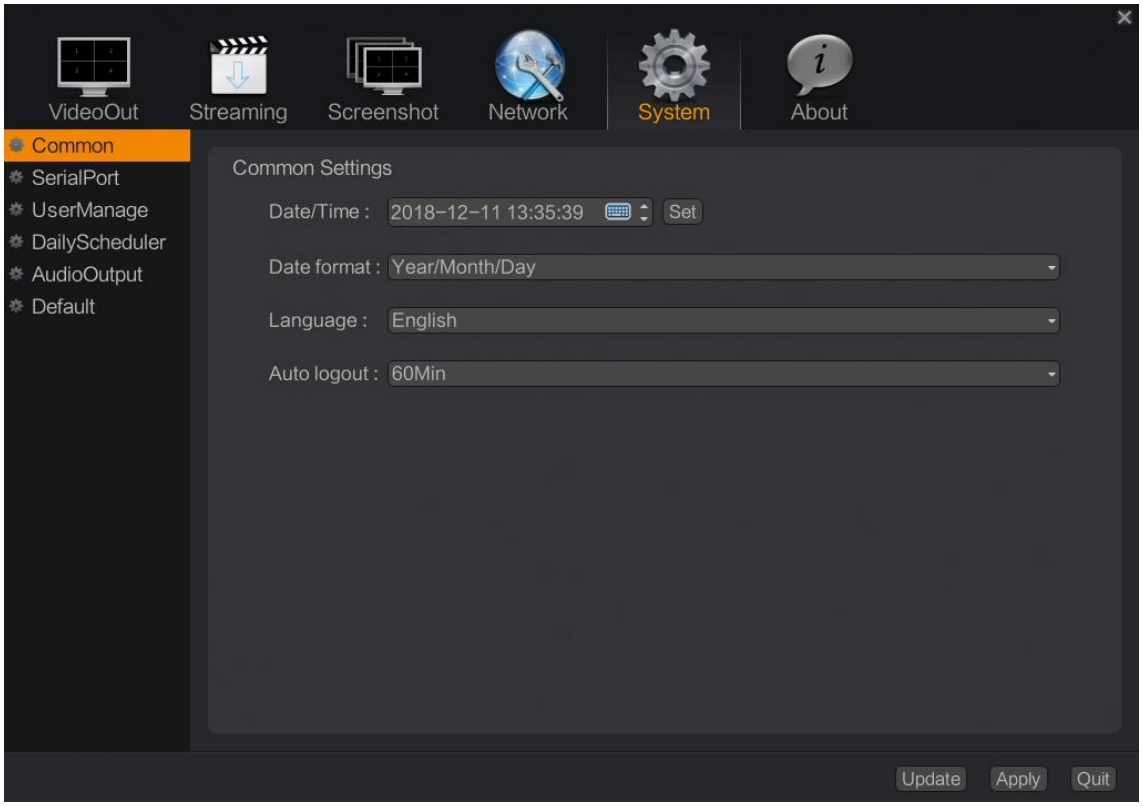
NTP の設定を行います。



表示	説明
Enable	NTP を有効にする場合はチェックを入れます。
NTP Server	NTP サーバを入力します。
Timezone	タイムゾーンを選択します。日本のタイムゾーンは、GMT +09:00 です。
Interval	NTP サーバとの同期間隔を設定します。

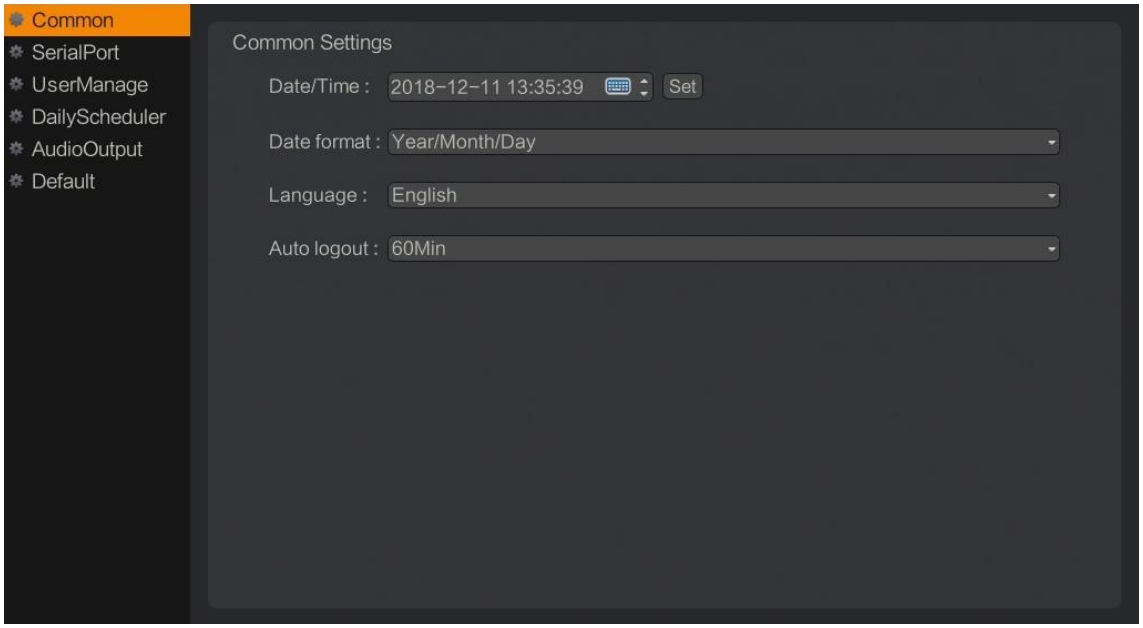
7.5. System

システム設定を行います。



7.5.1. Common Settings

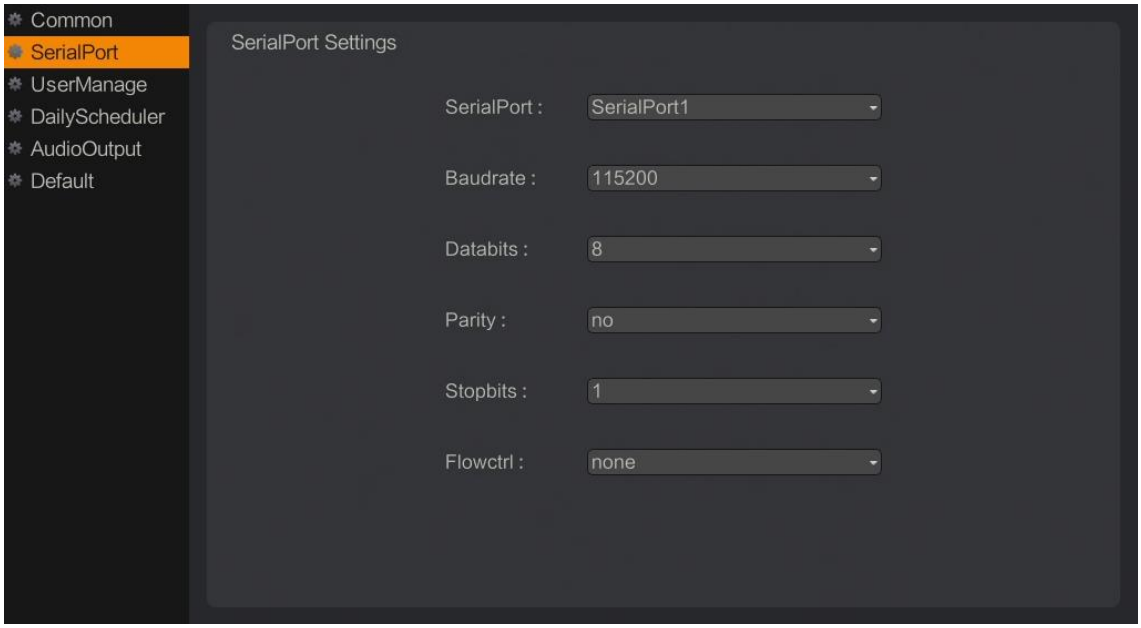
日時や言語の設定を行います。



表示	説明
Date/Time	現在日時を手動で変更します。 変更箇所をクリックし、キーボード または矢印 で調整し、Set します。
Date format	日にちの表示形式を選択します。
Language	言語の設定を行います。
Auto logout	自動的にログアウトを行う時間を選択します。

7.5.2. Serial Port Settings

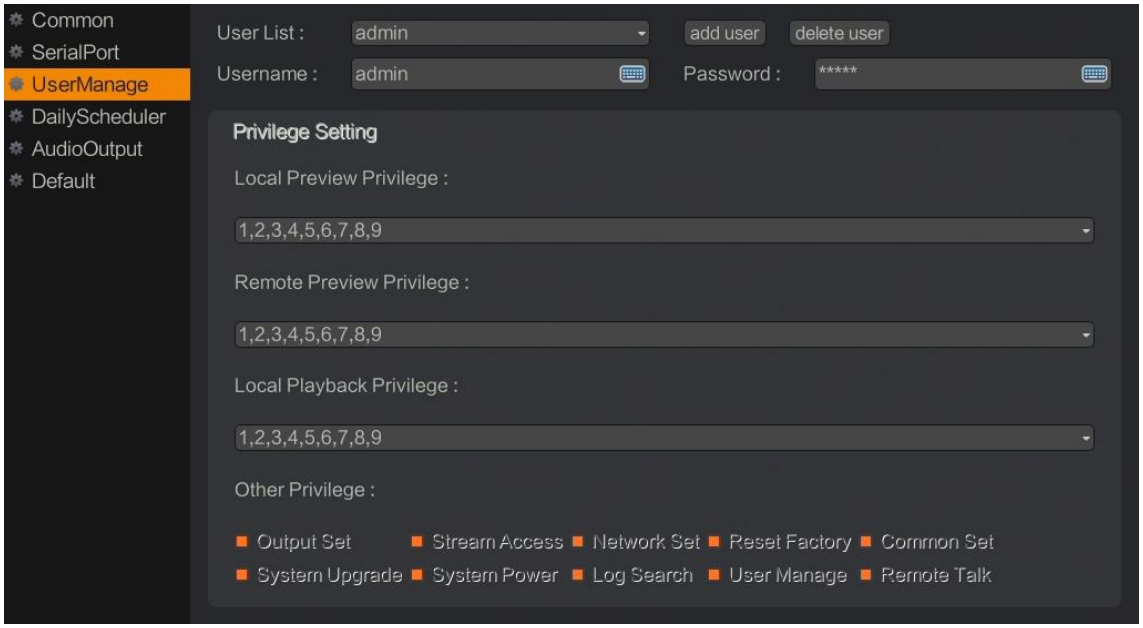
シリアルポートの設定を行います。



表示	説明
Serial Port	シリアルポートを選択します。
Baudrate	ビット転送速度を設定します。
Databits	データビットを設定します。
Parity	パリティビットを設定します。誤り検出を行います。
Stopbits	ストップビットを設定します。
Flowctrl	フロー制御を行います。

7.5.3. User Manage

ユーザアカウントの管理を行います。

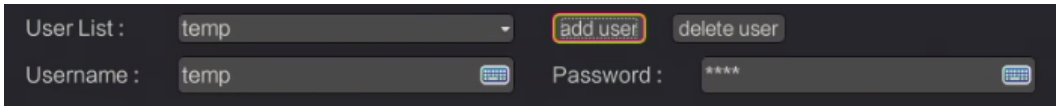


表示	説明
User List	ユーザアカウントをリスト表示します。
Username	アカウントのユーザ名の表示・変更を行います。
Password	アカウントのパスワードの表示・変更を行います。

◆ Add User

add user をクリックし、ユーザの追加を行います。

ユーザ名とパスワードをそれぞれ入力します。(デフォルト:temp)

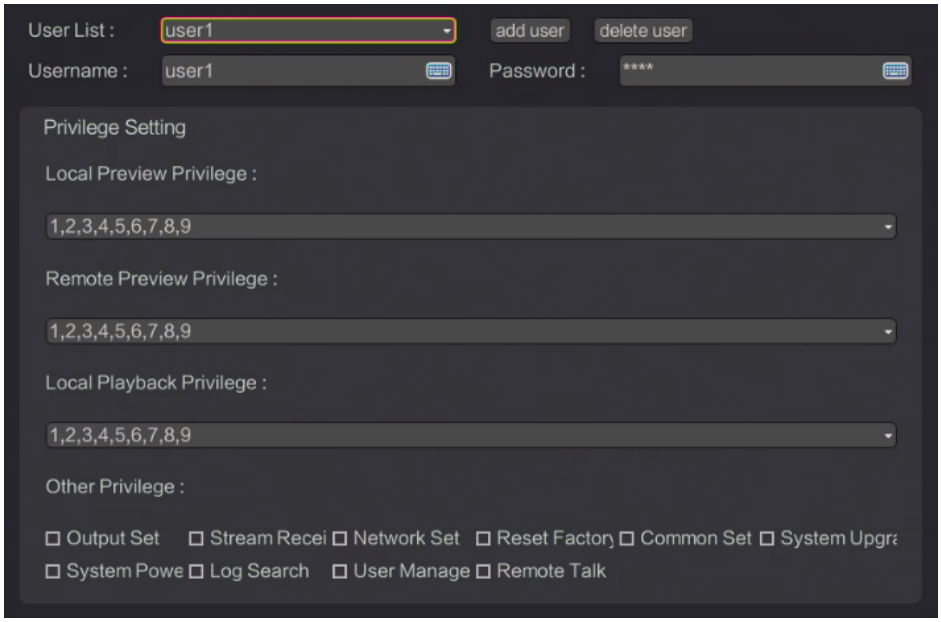


◆ Delete User

User List から削除するアカウントを選択し、delete user をクリックします。

◆ Privilege Setting

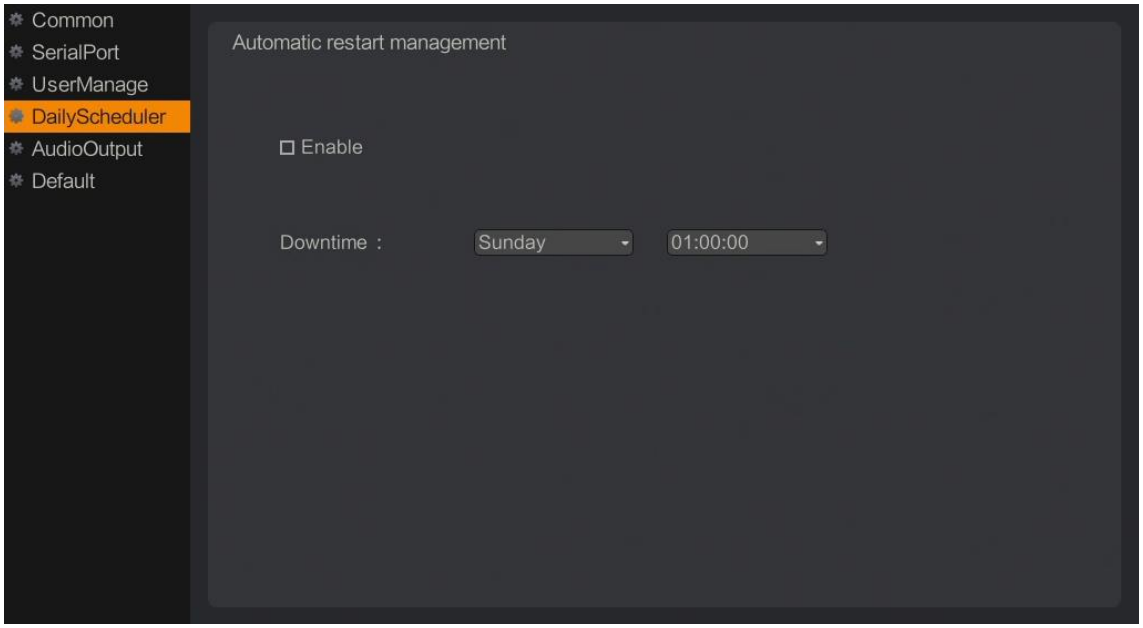
アカウントの権限を設定します。(admin は変更不可)



表示	説明
Local Preview Privilege	ローカルプレビューの権限を設定します。
Remote Preview Privilege	リモートプレビューの権限を設定します。
Local Playback Privilege	ローカルプレイバックの権限を設定します。
Other Privilege	ローカル設定の権限範囲を設定します。

7.5.4. Daily Scheduler

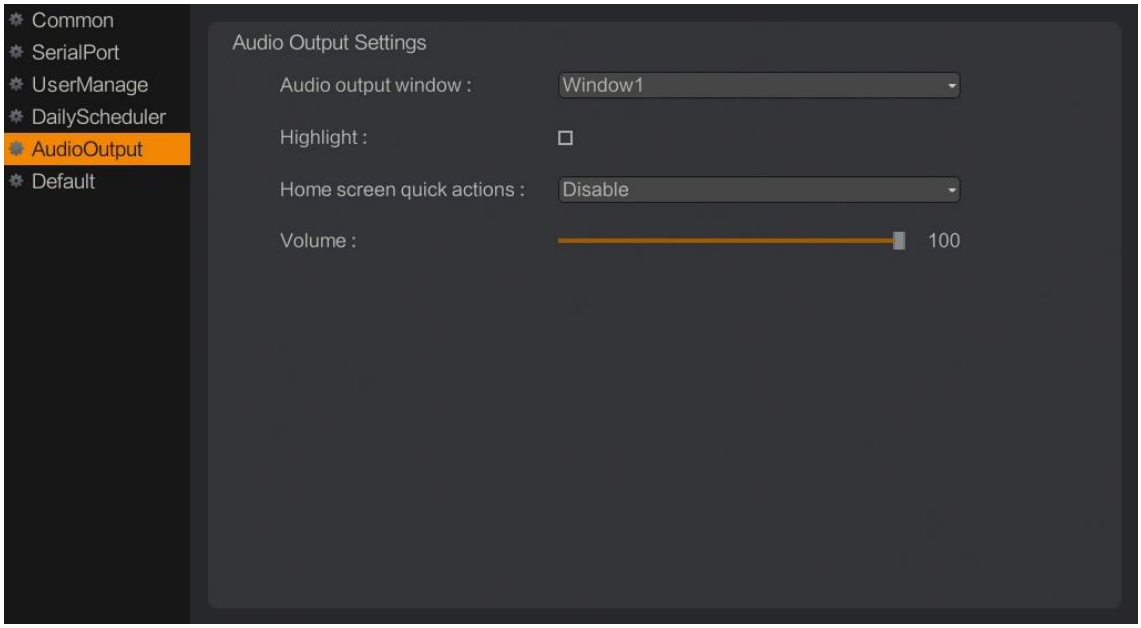
自動メンテナンスの設定を行います。指定した時刻に再起動を行います。



表示	説明
Enable	自動メンテナンスを有効にする場合はチェックを入れます。
Downtime	自動メンテナンス（再起動）を行う曜日と時間帯を選択します。

7.5.5. Audio Output Settings

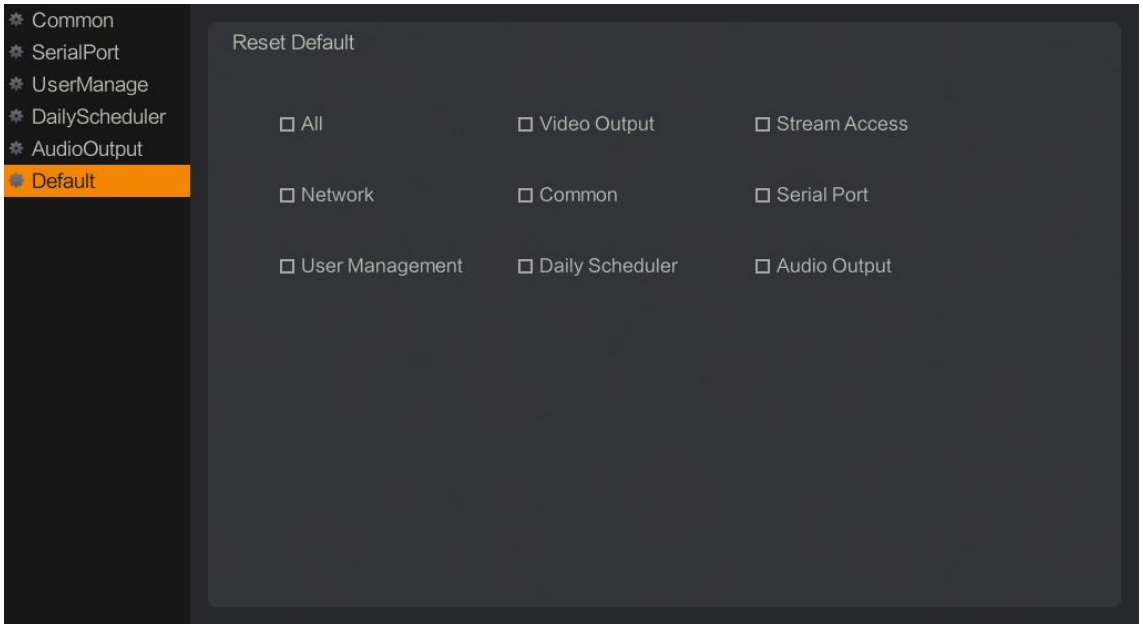
オーディオ出力の設定を行います。



表示	説明
Audio output window	オーディオ出力を行うウィンドウを選択します。 選択したウィンドウは Live 画面で緑の枠に囲まれています。
Highlight	ハイライトを有効(緑の枠を表示)にする場合はチェックを入れます。
Home screen quick actions	Live 画面でオーディオ出力の変更を行います。 Mouse click:オーディオ出力する Window をマウスでクリックします。 Double click:オーディオ出力する Window をマウスでダブルクリックします。 Key press:オーディオ出力する Window をキーボードの←→で選択し、Enter をします。 All Above:全ての方法で Window を選択できます。 Disable:変更不可にします。 ※Audio output window でのみ変更可
Volume	オーディオ出力の音量調節を行います。

7.5.6. Reset Default

初期化を行います。初期化を行う設定を選択してください。



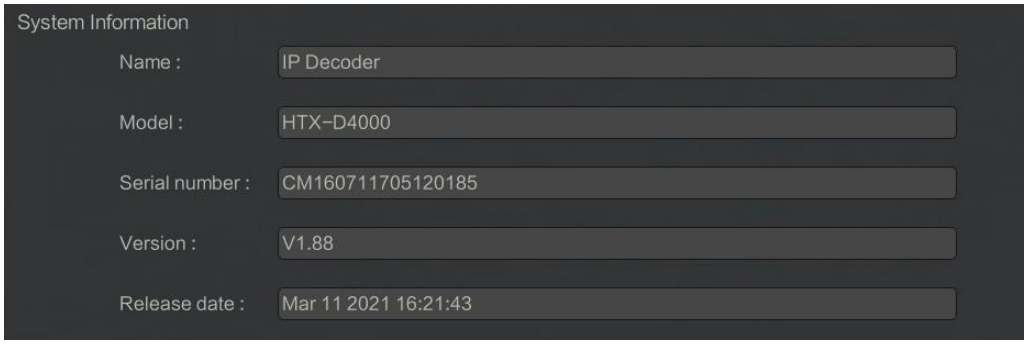
表示	説明
All	すべての設定を初期化します。 ※ Stream Receive の URL・Playlist、System Set の Common（Date Format）と Serial の設定は、初期化されません。
Video Output	ビデオ出力設定を初期化します。
Stream Access	ストリーム受信設定を初期化します。 ※ URL・Playlist の設定は、初期化されません。
Network	ネットワーク設定を初期化します。
Common	時刻や言語設定を初期化します。 Date Format の設定は、初期化されません。
Serial Port	シリアルポート設定を初期化します。
User Management	ユーザ管理設定を初期化します。
Daily Scheduler	自動メンテナンス設定を初期化します。
Audio Output	オーディオ出力設定を初期化します。

7.6. About

システム情報の表示やファームアップを行います。

7.6.1. System Information

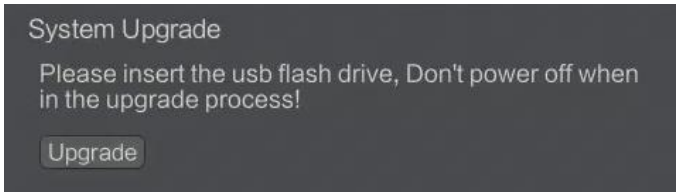
システム情報を表示します。



表示	説明
Name	デバイスの名前を表示します。
Model	デバイスの製品名を表示します。
Serial number	シリアル番号を表示します。
Version	ファームウェアバージョンを表示します。
Release date	現在のファームウェアバージョンのリリース日時を表示します。

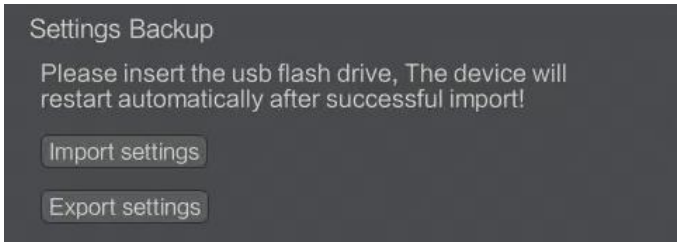
7.6.2. System Upgrade

未サポートのため、本機能はご使用になれません。



7.6.3. System Backup

未サポートのため、本機能はご使用になれません。



8. Log 設定

ログ取得の設定を行います。 ※V1.87 以降対応

8.1. ログの取得方法

ブラウザのアドレスバーに以下の URL を入力します。
ログを取得するには D2000 または D4000 の IP アドレスを指定する必要があります。
※以下の例では、デフォルト IP（192.168.80.219）を使用しています。

■ すべてのログを取得する場合

保存されているすべてのログを表示（最大1MB，上限に達すると順次上書きされる）
http://192.168.80.219/cgi-bin/getlog.cgi

■ ログ取得の開始時間のみ指定する場合

開始（2021 年 2 月 10 日 9 時）からのログを表示
http://192.168.80.219/cgi-bin/getlog.cgi?StartTime=2021-02-10%2009:00:00

■ ログ取得の終了時間のみ指定する場合

終了（2021 年 3 月 10 日 18 時）までのログを表示

■ ログ取得の開始時間と終了時間を指定する場合

開始（2021 年 2 月 10 日 9 時）から終了（2021 年 3 月 10 日 18 時）までのログを表示
http://192.168.80.219/cgi-bin/getlog.cgi?StartTime=2021-02-10%2009:00:00&EndTime=2021-03-10%2018:00:00

※ログは削除できません。1MB に達することで上書きされます。

8.2. Log の表記

各ログについて説明します。

■ [ ]内はログを取得した日時を表します。

例 : [2021-02-24 13:45:08] INFO/app system startup

■ **INFO/app ～**

Log 表示	説明
system startup	システム起動を表します。
restore factory settings	本体 RESET ボタンから初期化したことを表します。
system reboot	システムが再起動したことを表します。

■ **INFO/api POST request received from x.x.x.x, ～**

Log 表示		説明
POST request received from x.x.x.x,		x.x.x.x の PC から POST リクエストを受信
	query string : Command=Setxxx	Save ボタンを押して、xxx の設定を変更・保存 例 : xxx = Videoout = Video Out Settings
	query string : Command=Addxxx	Add ボタンを押して、xxxを追加 例 : xxx = URL = URL Settings にて URL の追加
	query string : Command=Editxxx	Edit ボタンを押して、xxx を変更 例 : xxx = URL = URL Settings にて URL の変更
	query string : Command=Deletexxx	Delete ボタンを押して、xxx を削除 例 : xxx = URL = URL Settings にて URL の削除
	query string : Command=ClearAllxxx	Clear All ボタンを押して、xxx をすべて削除 例 : xxx = URL = URL Settings にて URL を一括削除
	query string : Command=ChangePassword	User management にてユーザのパスワードを変更
	query string : Command=Reboot	Reboot ボタンを押して、再起動

■ **INFO/api GET request received from x.xx.x, ～**

Log 表示		説明
GET request received from x.x.x.x,		x.x.x.x の PC から GET リクエストを受信
	Query string : Command= RestoreDefault	Restore ボタンを押して、初期化

■ INFO/stream WIN[0-15] ～

Log 表示	説明
WIN[0]	Window1 の設定 ※WIN[0-15] = Window1～16
start rtsp streaming : xxx	RTSP ストリーミングを再生 例 : xxx = rtsp://192.168.80.218:554/stream0
start udp streaming : xxx	UDP ストリーミングを再生 例 : xxx = udp://@:6268
start srt streaming : xxx	SRT ストリーミングを再生 例 : xxx = srt://192.168.80.218:7018
start http streaming : xxx	HTTP ストリーミングを再生 例 : xxx = http://192.168.80.218:80/stream0
Stop streaming	ストリーミング停止
Streaming is connetcted	ストリーミングに接続
Streaming is disconnected	ストリーミングに未接続

■ WARN/decode WIN[0-15] ～

Log 表示	説明
WIN[0]	Window1 の設定 ※WIN[0-15] = Window1～16
Decode failed	デコード失敗

9. 製品仕様

製品名		HTX-D2000	HTX-D4000
タイプ		デコーダ	
映像	出力映像信号	HDMI（1ch）	
	出力フォーマット	HDMI、BNC コネクタ（CVBS）	
	復号化方式	H.265 H.264（HD）：ITU-T H.264（ISO/IEC14496-10） HP@L4 H.264（SD）：ITU-T H.264（ISO/IEC14496-10） HP@L3 MPEG2：MPEG-2（ISO/IEC13818-2） MP@ML	
	復号化レート	エンコーダの符号化レートに追従	
	出力解像度	1080P:1920*1080@60/50Hz; UXGA:1600*1200@60Hz; SXGA:1280*1024@60Hz; 720P:1280*720@60/50Hz; XGA:1024*768@60Hz;	4K: 3840*2160@30Hz; 1080P:1920*1080@60/50Hz; UXGA:1600*1200@60Hz; SXGA:1280*1024@60Hz; 720P:1280*720@60/50Hz; XGA:1024*768@60Hz;
	表示	1 画面表示のみ	1/2/3/4/6/8/9/10/12/13/16 分割、Picture in Picture
音声	出力音声信号	HDMI（ステレオ 1ch）	
	出力フォーマット	HDMI、ライン出力	
	復号化方式	HE-AAC、AAC-LC、G.711a/u H.264：MPEG-2 AAC（ISO/IEC13818-7） MPEG-2：MPEG-1 レイヤ 2（ISO/IEC11172-3）	
	復号化レート	エンコーダの符号化レートに追従	
システム	入力ストリーム方式	ES（Elementary Stream） TS（Transport Stream） TTS（Timestamped Transport Stream） PS（Program Stream）	
	入力インタフェース	IP	
ネットワーク	入力信号	LAN（10/100M Ethernet）	
	プロトコル	RTP、UDP/IP、TCP/IP、HTTP、HLS、RTMP、RTSP、SRT、UDP/MULTICAST	
	ネットワーク接続	10/100Base-TX (RJ45) Auto MDI/MDI-X、オートネゴシエーション	
	エラー訂正	FEQ（搭載予定）	

その他	フレームレート	エンコーダのフレームレートに追従	
	サンプリング周波数	エンコーダのサンプリング周波数に追従	
	多重化方式	H.264：MPEG-2 システム TTS（ARIB STD-B24） MPEG-2：MPEG-2 システム（ISO/IEC13818-1）PS	
	セキュリティ機能	パスワードによるユーザ制限	
	インタフェース	USB3.0 x1、USB2.0 x1、 RS232 （3pin ターミナルブロック） Reset ボタン SD カード（ファイル再生専用）	
	設定・管理機能	Web GUI、ローカル	
寸法		（W）130.4 x（H）37 x（D）94mm（突起部含まず）	
重量		230g（本体のみ）	450g（本体のみ）
電源		AC100V 50/60Hz （付属 AC アダプタ）	
最大消費電力		8W	
動作温度		−20～+55℃	
動作湿度		10～90%RH（結露なきこと）	
保存温度		−20～+55℃	
保存湿度		10～90%RH（結露なきこと）	
認定		VCCI Class A、RoHS	
製品保証期間		1 年間	
付属品		梱包物一覧を参照	

10. 困ったときには

本製品の使用中になんらかのトラブルが発生したときの対処方法について説明いたします。

本体の電源が入らない

以下の点を確認してください。

- 電源コンセントには、電源が供給されているか
- 付属の AC アダプタを使用しているか
  （付属 AC アダプタ型番：TRH25120-A-11E13）

RJ-45 ポートでリンクが確立しない

以下の点を確認してください。

- 接続先の機器の電源は、オンになっているか
- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか

映像が出力しない

以下の点を確認してください。

- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか
- 映像元のエンコーダや IP カメラ等の出力設定は正しく設定されているか
- 出力先のモニタ等の設定は正しく設定されているか
- サポートされている解像度で映像が入力されているか
- 入出力コネクタは正しく設定されているか

11. 製品保証

◆ 故障かなと思われた場合には、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。

1) 修理を依頼される前に今一度、この取扱説明書をご確認ください。
2) 本製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理させて頂きます。
3) 故障の内容により、修理ではなく同等品との交換にさせて頂く事があります。
4) 弊社への送料はお客様の負担とさせて頂きますのでご了承ください。

初期不良保証期間:

3ヶ月間（弊社での状態確認作業後、交換機器発送による対応）

製品保証期間:

《本体》**1年間**（お預かりによる修理、または交換対応）

◆ 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理とさせて頂きます。
（修理できない場合もあります）

1) 使用上の誤り、お客様による修理や改造による故障、損傷
2) 自然災害、公害、異常電圧その他外部に起因する故障、損傷
3) 本製品に水漏れ・結露などによる腐食が発見された場合

◆ 保証期間を過ぎますと有償修理となりますのでご注意ください。

◆ 一部の機器は、設定を本体内に記録する機能を有しております。これらの機器は修理時に設定を初期化しますので、お客様が行った設定内容は失われます。恐れ入りますが、修理をご依頼頂く前に、設定内容をお客様にてお控えください。

◆ 本製品に起因する損害や機会の損失については補償致しません。

◆ 修理期間中における代替品の貸し出しは、基本的に行っておりません。別途、有償サポート契約にて対応させて頂いております。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。

◆ 本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社　カスタマーサポート

受付時間：　平日（土日祝日、年末年始、当社休業日を除く）　9:00～17:00

TEL：　0570-060030

問合せフォーム：https://hytec.co.jp/contact/technical_support_form.html

Copyright © 2018

HYTEC INTER Co., Ltd.